

RIETI

独立行政法人経済産業研究所

アニュアルレポート
2020/4 - 2021/3

目 次

ごあいさつ	1
2020年度の活動概要	2
研究活動	11
研究プログラム	12
研究論文	50
研究論文の英文査読付学術誌等掲載リスト	60
発信活動	65
出版物	66
ウェブサイト	67
各種広報資料	68
シンポジウム	69
ワークショップ	79
BBL セミナー	80
外国人登壇者	84
フェローリスト	86
組織図、ほか	92

略語一覧

RIETI	: 独立行政法人経済産業研究所
METI	: 経済産業省
CRO	: チーフリサーチオフィサー
SRA	: シニアリサーチアドバイザー
PD	: プログラムディレクター
SF	: シニアフェロー(上席研究員)
F	: フェロー(研究員)
FF	: ファカルティフェロー
CF	: コンサルティングフェロー
VF	: 客員研究員
VS	: ヴィジティングスカラー
RC	: 研究コーディネーター
RAs	: リサーチアソシエイト

独立行政法人経済産業研究所について

独立行政法人経済産業研究所(Research Institute of Economy, Trade and Industry:RIETI)は、政策研究・提言を行う本格的な政策研究機関として2001年4月に設立されました。設立当初から現在までエビデンスに基づく理論的・実証的な研究を行うとともに、霞が関という立地条件を生かし政策当局者・研究者・産業界との連携によるシナジー効果を最大限に発揮しながら経済・産業・社会に関するさまざまな政策提言を行い、内外から高い評価を得ています。

RIETIは政策ニーズに見合った研究テーマの大枠を設け、その枠組みの中で各研究者が個別に自由な研究を行っています。また、これら個別の研究が有機的に関わり合うよう工夫し、シンポジウムやセミナーなどを通じて有識者や関係者の知見も取り入れています。こうして得られた研究成果を効果的・効率的に普及・提言するために、ウェブサイトや広報誌・出版物など多様なツールを積極的に活用しています。また、柔軟で学際的な研究体制の実現のために、常勤の研究員に加え、大学教授兼任のファカルティフェロー、行政機関等に属しながら研究に参加するコンサルティングフェローなど多彩な研究員が在籍しているのも特徴です。

RIETIでは、9つの研究プログラムを設定しており、それぞれのプログラムディレクターの下で複数の研究プロジェクトを実施しています。日々変化する国際情勢に対応しつつ、活力のある成熟した日本社会を構築するためには、今以上に従来の枠組みにとらわれない研究に裏打ちされた政策展開を実現することが求められています。今後とも、政策形成のプロセスにおいて、RIETIは政策当局に対して理論的裏付けと知的ネットワークを効率的かつ効果的に提供し、政策形成能力の強化と質の向上、さらには政策論議の活性化に寄与することを使命として活動してまいります。



ごあいさつ



RIETI 理事長 矢野 誠

2020年4月1日をもって、RIETIの理事長を拝命してから、1年が過ぎました。この間、新型コロナウイルスへの対策に明け暮れてきたというのが正直な印象です。昨年の報告書のご挨拶では、『新型コロナウイルスが蔓延し、まさに今日と

明日では状況がまったく異なるかもしれないという不確実な社会状況で、役職員の皆様とともに、わたしたちが今何をすればよいかという問題を考え、最善の道を選択するように努力する決意です』と書かせていただきました。

それ以来、所員の皆さんの多大な努力のおかげで、オンライン業務、在宅勤務、などを推進し、当初の目標を大幅にしのぐ成果をあげることができたと考えます。研究報告会や政策担当者向け情報発信、一般向けシンポジウム、所内会議など、さまざまなところでオンライン化を進めることができました。また、rietichannelと題し、ユーチューブを通じて、私たちの研究成果の一端を動画配信しています。

研究報告会では、新型コロナ下での経済の見通し、働き方改革、最近の経済政策にかかわるEBPM分析、といったRIETIならではのホットなテーマで最新の研究が報告されました。7月には『コロナ危機の経済学』を日経BP(小林慶一郎、森川正之編著)から出版し、コロナ下での経済を考えるベースを比較的早い時期に提供できたと考えます。

また、グローバル・インテリジェンス・シリーズとして、20数回にわたり内外の専門家をお招きし、最近の国際問題について検討する機会を作ることもできました。オンラインを活用し、多数の海外在住の識者をお招きし、さまざまな問題について、議論しました。デジタル・トランスフォーメーションについても、DXシリーズと題し、新しい産業を支える若い経営者や内外の専門家をお招きし、デジタル技術の産業化について検討してきました。

さらに、新型コロナ流行を社会科学・医学の両方の側面から検討するために、京都大学医学研究科およびフランスのパスツール研究所と共同研究を開始しました。このプロジェクトでは、コロナ流行に直面する人々の行動変容の在り方を社会科学的に調べるとともに、パスツール研究所で開発された最新の抗体検査キットを利用し、病気の流行の実態を調査し、新型コロナ流行の実態を社会科学と医学の総合的視点から解明することを目指しています。

このような活動は、どれも、文理融合、EBPMというRIETI第5期中期計画を推進するものです。また、本年度からは、新たに、研究開発法人となり、新しいタイプの社会科学の創出に向け、努力を傾注する所存です。現在の難局をみなさまとともに乗り越え、新しい社会の構築に貢献していきたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

2021年4月



RIETI 所長 森川 正之

2020年度はRIETI設立から20年目という節目の一年でした。政策形成への寄与、研究論文の質、社会的発信などの面で、内外から政策研究機関として一定の評価をいただけるようになってきました。2019年度まで副所長として長く

RIETIの運営に関わる中、創設以来の地道な積み重ねの上に現在のRIETIがあると感じておりました。したがって、活動の基本的な理念や枠組みは、今後も維持・継承していくことが望ましいと考えています。他方、経済社会情勢や政策ニーズの変化、世界的な研究の潮流などに応じて、具体的な研究テーマは柔軟に再構成していく必要があります。

実際、RIETIが第5期中期目標期間に入る直前、新型コロナの世界蔓延という深刻なショックが発生しました。RIETIの中期目標や中期計画の中には新型コロナへの言及は全くありませんでしたが、政策研究機関として迅速に取り組むべき重要課題であることは明らかでした。このため、優先度の高い研究課題としてリソースを重点配分し、結果として新型コロナの経済・社会への影響を理論的・実証的に分析し、望ましい政策対応を示唆するような論文を、この1年間に40本近く公表しました。また、関連するセミナーやコンファレンスをオンラインの形で多数開催するなど、社会への発信にも注力してまいりました。

RIETIの基本的な目標は、政策実務と学術研究を橋渡しすることを通じて、エビデンスに基づく政策形成に貢献するとともに、アカデミックな面でも新規性の高い研究成果につなげるという二兎を追うことです。新型コロナに関する研究成果の中にも、関連する政策の形成過程で参照されたものが少なからずありましたが、いくつかの論文は既に学術誌に公刊されるなど、世界の研究者コミュニティの関心に応える研究成果も現れています。

今般のコロナ危機は、依然として経済・社会に大きな影響を与え続けており、これが終息した後もマクロ経済、産業構造、企業行動、労働市場などに不可逆的な変化をもたらすでしょう。今後も想定外のショックがありえますし、それ以前に少子高齢化・人口減少、グローバル化、技術変化の下、コロナ危機以前から持ち越している政策課題が山積しています。こうした中、政策研究機関として一層の政策的・学術的貢献ができるよう、今後も尽力していきたいと考えています。

2021年4月

2020年度の活動概要

2020年度は、RIETI第5期中期計画(2020～2023年度)の初年度にあたりました。この第5期中期計画では、多様化・複雑化する経済社会の問題解決のために今後一層重要性が高まっているEBPM(Evidence-Based Policy Making(証拠に基づく政策立案))研究を推進することにより、経済産業政策の立案等に貢献することをミッションとしています。2020年度は、このミッションを念頭に置いた9つの研究プログラムを中心とする研究体制の下、活発な研究を行いました。特に、①社会科学的な要素と産業技術の融合(いわゆる「文理融合」)、②民間ビッグデータの活用及び独自のデータ構築、③EBPMに資する政策評価分析に注力しました。過去19年間の成果を発展的に継承し、引き続き「知のプラットフォーム」としての機能を高め、国際的にも一層高く評価される政策シンクタンクを目指して、国内外の民間研究機関の研究者や企業の実務者等との人材交流等を通じた連携を深めるとともに、成果の発信を活発に行いました。

以下では、2020年度のRIETIの研究・発信活動についてご紹介いたします。

(※文中肩書きは当時のもの)

1 研究活動

9つの研究プログラムに基づく研究活動及びこれらの分野にとどまらない領域や複合分野についての研究活動(「特定研究」)を行いました。

2020年度研究プログラム	プログラムディレクター	傘下の研究プロジェクト数
I マクロ経済と少子高齢化	小林 慶一郎 FF	5
II 貿易投資	富浦 英一 FF	8
III 地域経済	浜口 伸明 FF	8
IV イノベーション	長岡 貞男 FF	4
V 産業フロンティア	大橋 弘 FF	9
VI 産業・企業生産性向上	深尾 京司 FF	4
VII 人的資本	鶴 光太郎 FF	5
VIII 融合領域	矢野 誠 理事長(代行)	6
IX 政策評価	川口 大司 FF	5
SP 特定研究(プログラムに属さない)		7
研究プロジェクト数 合計		61

政策ニーズを踏まえた研究とするため、研究プロジェクトの組成段階から政策当局との意見交換を行っています。更に、政策当局と理事長、所長、副所長を含む研究者が経済産業政策にかかる論点について意見交換等を実施し、研究プロジェクトの枠を超える形で専門的な知見を提供しました。

また、研究内容の質を高めるため、研究所内のみならず国内外の専門家や政策当局を交えて議論を深めることに重点を置いています。具体的には、研究プロジェクト立ち上げ時には、ブレインストーミングワークショップ(BSWS)を開催し、研究計画案について検討を行い、最終段階では、論文素案完成時に検討会を開催し、参加者が意見交換や議論を行うこととしています。このほか、国内外の研究者間でワークショップを開催し、専門的な議論を深めています。

研究成果として、理論的、分析的、実証的な研究論文(ディス

カッション・ペーパー:DP)を139本、現在直面している様々な政策課題に強い関連性を持つタイムリーな論文(ポリシー・ディスカッション・ペーパー:PDP)を29本、計168本公表しました。うちEBPM、文理融合及び海外研究者の研究論文は58本で、EBPM、文理融合に資する研究、国外の研究者との連携とも進んでいます。また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、タイムリーに研究成果を公表できるよう、研究所内部レビューを簡素化したfast track制度を創設しました。同制度を活用して公表された27本の研究論文の一部は、白書、審議会資料等にも活用されました。

学術的成果として国際的な評価につながる査読付き英文学術誌等への掲載及び専門書籍への収録件数は、66本となり、当研究所の学術研究水準の高さが評価されました。

白書、審議会資料等における研究成果の活用件数及び政策アドバイスは284件でした。白書、審議会資料等における研究成果の活用については、『通商白書』や経済産業省産業構造審議会において、コロナ危機が日本の労働市場にもたらす影響に関する研究成果、内閣府『日本経済2020-2021』では、コロナ禍で経済、産業、社会はどう変わるのかについて危機の実態を分析し、適切な政策対応への提言を取りまとめた書籍、成長戦略会議においては、日本の在宅勤務の生産性に関する研究成果などが引用されました。また、貿易データベース(RIETI-TID)、日本産業生産性データベース(JIPデータベース)、都道府県別産業生産性データベース(R-JIPデータベース)、日本の政策不確実性指数等の当研究所が提供するデータベースが活用されました。政策アドバイスとして、政策当局からの要望に応じ、経済産業政策に関するEBPMのサーベイを15本執筆しました。

研究連携では、2018年に協定を締結して以来、東北大学と少子高齢化などの社会課題の研究で相互に連携を深めています。また、京都大学医学研究科と新型コロナウイルス流行の実態について国際共同研究を開始し、医学-社会科学データの統合解析を通じた文理融合研究を進めています。

2 国際・広報活動

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により多くの制約を受けるなかで、「新型コロナ対策」や第5期中期目標に掲げる「文理融合」や「EBPM」等に関する公開シンポジウム・セミナー等をオンラインで62回開催し、目標の5000人を超える方々に参加いただきました。後日これらの動画をご覧になった方はのべ6万人に及びます。また、シンポジウムやウェビナー、インタビュー等を動画サイトrietichannelに随時掲載し、年度当初の4倍にあたる2000人以上の方にチャンネル登録をいただいています。さらに、新型コロナ対策に関する特別コラムを編集した『コロナ危機の経済学：提言と分析』が2020年7月に緊急出版されました。

また、オンラインで海外の専門家にセミナー等への登壇を依頼し、外国人招聘者によるセミナーを目標の21回を超える27回開催しました。また、海外の有識者と共同で米国バイデン政権への提言書を作成するなどの政策提言を行うとともに、国際的な政策ポータルサイトでRIETI研究者のコラムが月間で最も多く読まれるなど海外への情報発信も活発に行いました。

1) 広報活動

さまざまな社会課題に関する公開シンポジウムやセミナー等を開催するとともに、講演内容やインタビュー等を動画で公開しました。また、研究成果やコラム等を日本語・英語・中国語のウェブサイトやFacebook、Twitterから発信するとともに、RIETI Newsletterを毎週木曜日に、広報誌「Highlight」を四半期に一度（英語は年に一度）発行しました。研究成果をまとめた書籍出版は8冊で、2020年度は新たにメディアとの関係構築のための月例メディア向け勉強会を開始しました。

①公開シンポジウムの開催

「新型コロナ対策」「EBPM」「人生100年時代」など幅広い分野の社会課題に関する公開シンポジウムを、オンラインで62回開催しました。

RIETI出版記念ウェビナー
『コロナ危機の経済学：提言と分析』シリーズ：全3回

2020年7月29日

第1回 コロナ危機の経済政策

新型感染症のパンデミックという想定外の危機に際して、

経済学の立場から何が提言できるのか。RIETIではこうした観点から、2020年2月に「新型コロナウイルス―課題と分析」と題した特設サイトをホームページ上に立ち上げ、日本での感染拡大初期から新型コロナウイルス感染症に関するコラムを多数掲載してきました。2020年7月には、コラムを執筆した経済学者が中心となり、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大と深刻な経済的影響―「コロナ危機」と政策対応についての分析と提言をまとめ、『コロナ危機の経済学：提言と分析』（小林慶一郎、森川正之編著 日経BP）として刊行いたしました。このウェビナーはその出版を記念し、全3回のシリーズで開催されたものです。

第1回は「コロナ危機の経済政策」と題し、小林慶一郎プログラムディレクターからは経済社会を止めないために今求められる対処と今後の長期的な展望について、また、佐藤主光ファカルティフェローからは経済対策について財政の視点から解説があり、コロナ危機における経済政策について議論しました。

<https://www.rieti.go.jp/jp/events/20072901/info.html>

2020年8月4日

第2回 コロナ危機と医療・創薬

第2回では「コロナ危機と医療・創薬」と題し、関沢洋一上席研究員からは新型コロナウイルス感染症への基本戦略などについて、また長岡貞男プログラムディレクターからは過去に行われた創薬の成果の活用などについての解説があり、医療・創薬での新型コロナウイルス感染症への対応策などを議論しました。

<https://www.rieti.go.jp/jp/events/20080401/info.html>

2020年8月7日

第3回 コロナ危機と労働市場、セーフティネット

第3回は、「コロナ危機と労働市場、セーフティネット」と題し、北尾早霧ファカルティフェローからはコロナ危機による格差拡大の影響などについて、また、八田達夫ファカルティフェローからはコロナ危機下におけるセーフティネットの構築などについての解説があり、どのような人々にどのような支援が必要か等についての議論を行いました。

<https://www.rieti.go.jp/jp/events/20080701/info.html>

2020年11月4日
東北大学-RIETI 共催オンラインシンポジウム

人生100年時代のサバイバル・ツール

—ニューノーマル時代における「ウルトラ高齢社会」のリスクとチャンスとは？

日本人の平均寿命は延び続けており、男性は半数以上が84歳まで、女性は半数以上が90歳まで生きられる時代になりました。人口に占める高齢者(65歳以上)の比率が7%を超えると高齢化社会、14%を超えると高齢社会、21%を超えると超高齢社会といわれますが、2018年に日本の高齢化率は28%を超え、「超(スーパー)」を超える「ウルトラ高齢社会」に世界で初めて突入したといえます。

「人生100年時代」の退職後の30~40年間には、病気やケガなどの健康リスク、「長生きリスク」ともいわれる資金リスクだけでなく、相続問題、生きがいの喪失、地域社会での孤立・孤独死など、さまざまなリスクがあります。また新型コロナウイルス感染症の拡大は人々の生活や働き方のパターンを変化させています。このようなニューノーマル時代においてはリスクとチャンスの在り方も変化していると考えられます。

このような状況の中で生き抜くには何らかの「武器」がいります。東北大学との共催で行われたこのシンポジウムでは、人文社会学の最新の知見に基づいて人々の「武器」となるサバイバル・ツールを提供するとともに、ウルトラ高齢社会を「世界一豊かな社会」にするための政策的インプリケーションについての議論を行いました。

<https://www.rieti.go.jp/jp/events/20110401/info.html>



2020年12月23日
RIETI EBPMシンポジウム

エビデンスに基づく政策立案を实践するために

EBPM(Evidence-Based Policy Making: 証拠に基づく政策立案)は、7月に閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針2020」(いわゆる骨太方針2020)にも「EBPMの仕組みと予算の重点化、複数年にわたる取組等の予算編成との結び付きを強化することにより、ワイズスペンディングを徹底する。」とあるように、いまや行政の大前提となりつつあります。RIETIでは、2017年にEBPMの研究プロジェクトを立ち上げ、政府のEBPM推進の理論的バックボーンを提供しています。

新型コロナウイルス感染症をはじめとする新たな政策課題に私たちはどう対応すればよいのでしょうか。4回目となる今回のEBPMシンポジウムでは、海外のEBPMの実践例、国内の政策のEBPMによる評価を紹介するとともに、新型コロナ対策にEBPMがどう貢献できるか、実際に現場でEBPMを導入するには何から始めればよいかなどにつき、第一線で活躍する専門家を招き議論しました。

<https://www.rieti.go.jp/jp/events/20122301/info.html>



2021年3月2日
RIETI-CEPRシンポジウム

流れを変える

—グリーン成長とデジタルトランスフォーメーション

コロナ後の世界はどう変わるのか。米国バイデン新政権も欧州委員会も、グリーン成長、脱炭素、デジタルトランスフォーメーションをコロナ禍からの復興の鍵に位置付けています。米国や欧州の政策の行方は？ 各国の産業界での取り組みは？ 日本はどう対応すべきか？ 米国、欧州、日本の有

識者、産業界とともにグリーン成長とDXの最前線を探り、ポストコロナの国際協調のあり方を模索しました。

<https://www.rieti.go.jp/jp/events/21030201/info.html>



2021年3月23日
RIETI-ANU シンポジウム

アジア太平洋デジタルガバナンスに向けて

新型コロナウイルス感染症の流行は、医療、教育、サービスなど経済のデジタル化を加速させました。イノベーションと技術の進歩が世界中で拡大するなかで、デジタル保護主義が高まっており、デジタル経済を統治するための多国間ルールが求められています。中国と米国の戦略的競争が示すように、現状はデジタルデカップリングが世界経済に分断を起こしています。オーストラリア国立大学東アジア経済研究所(ANU EABER)と共催で行ったこのシンポジウムでは、アジア太平洋の有識者がオンラインで会し、アジア太平洋地域のデジタルガバナンス構築に向けての議論を行いました。

<https://www.rieti.go.jp/jp/events/21032301/info.html>



② BBL(Brown Bag Lunch) セミナーの開催

昼食時を利用して開催するBBL セミナーをオンラインで63回実施し、新型コロナ危機、米中対立、環境とエネルギーなど、タイムリーかつ多彩なテーマを取り上げました。なかでも、日本でも加速しつつあるDX(デジタル・トランスフォーメーション)に関しては、経済産業省デジタル高度化推進室(DX推進室)と連携し、「DXシリーズ」としてデジタル時代の最先端をゆく企業経営者や技術者を講師に招き、2020年度は11回開催しました。また、新しく「グローバル・インテリジェンス・シリーズ(GIS)」を立ち上げ、日米欧アジアの第一線の有識者とともに、さまざまなグローバル・イシューについて情報を収集・議論し、政策提言へ繋げていくウェビナーを25回開催いたしました。(P.80 BBL セミナー参照)

2020年4月23日

運と偶然の経済学

一占いからパンデミックまで

植村 修一
(経済・ビジネス評論家)

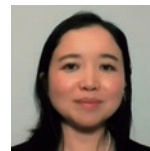


2020年5月29日

世界から見る北朝鮮

一国連による北朝鮮制裁の現状と課題、
そしてパンデミックがもたらす影響

竹内 舞子
(国連安保理北朝鮮制裁委員会専門家パネル委員)



2020年6月12日

2020年版ものづくり白書の概要： 不確実性の時代における製造業の 企業変革力

(ダイナミック・ケイパビリティ)

中野 剛志
(経済産業省製造産業局参事官(デジタルトランスフォーメーション・イノベーション担当) (併)ものづくり政策審議室長)



2020年7月10日

【DXシリーズ】 ソフトウェア時代の経営について

松本 勇気
(DMM.com CTO/日本CTO協会理事)



2020年7月17日

【DXシリーズ】
DXで大きく変わる世界における
「働く」ということ：
あなたは何のために働きますか？

田中 邦裕
(さくらインターネット株式会社代表取締役社長)



2020年7月20日

【DXシリーズ】
With コロナ時代に向けて
LINE が果たす役割

江口 清貴
(LINE 株式会社 執行役員 公共政策・CSR 担当)



2020年7月30日

【DXシリーズ】
日本の知られざる側面を
明らかにする、名刺データの価値

常楽 諭
(Sansan 株式会社取締役 CISO 兼 DSOC センター長)



2020年9月30日

【グローバル・インテリジェンス・シリーズ】
インド太平洋地域秩序の動揺と
日ASEAN 関係

大庭 三枝
(神奈川大学法学部・法学研究科教授)



2020年10月12日

【グローバル・インテリジェンス・シリーズ】
ICEFとTCFDサミット2020を
振り返って
—今後の気候変動の動きについて

水野 弘道
(経済産業省参与)

田中 伸男
(笹川平和財団顧問／元国際エネルギー機関(IEA)事務局長／タナカグローバル(株)CEO)



2020年10月26日

【グローバル・インテリジェンス・シリーズ】
アメリカの制裁外交

杉田 弘毅
(共同通信社特別編集委員)



2020年11月19日

現代湯治とヘルスツーリズム
—温泉の力でココロとカラダと
地域を元気に

早坂 信哉
(東京都市大学人間科学部教授)

星 宗兵
(栃尾又温泉自在館若旦那)



2020年11月25日

【グローバル・インテリジェンス・シリーズ】
米中対立の行方
—揺れ動くASEAN、日ASEAN協力の
将来、半導体サプライチェーンの展望



ビラハリ・カウシカン
(シンガポール国立大学中東研究所長／元シンガポール外務次官)

2020年12月10日

【グローバル・インテリジェンス・シリーズ】
相対化する知性
—人工知能が世界の見方をどう変えるのか

松尾 豊
(東京大学大学院工学系研究科 人工物工学研究センター・技術経営戦略学専攻 教授)

西山 圭太
(東京大学未来ビジョン研究センター客員教授／前・経済産業省商務情報政策局長)

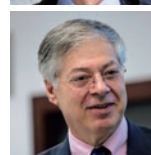


2020年12月17日

【グローバル・インテリジェンス・シリーズ】
米国を国際通商システムへ戻す
—マルチラテラリズムの視点

リチャード・ボールドウィン
(高等国際問題・開発研究所(ジュネーブ)教授／RIETI 外部諮問委員)

アンドレ・サピール
(ソルベイ・ブリュッセル経済経営学院教授／ブリュッセル研究所上席研究員)



2021年1月14日

【グローバル・インテリジェンス・シリーズ】
バイデン政権の国際経済政策の課題

アダム・S・ポーゼン
(ピーターソン国際経済研究所(PIIE)所長)



③ rietichannel による動画の配信

動画コンテンツの充実にも力を入れ、フェローや各界の有識者、日本が取り組むべき問題についての対談、経済・政治・社会問題等のホットトピックスに関する有識者やフェローへのインタビューなどを動画で紹介しました。2020年度末には、年度当初の4倍にあたる2000人以上の方にチャンネル登録をいただきました。

<https://www.youtube.com/channel/UCqPTWuiZDKGV0aaSyn0Dpzg>

④ 特別コラムの掲載

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受けて、RIETIはウェブサイトの『コラム・寄稿』のコーナー内に「特別コラム：新型コロナウイルス―課題と分析」と題した特設サイトをいち早く設け、新型コロナウイルス関連のコラムを多数掲載いたしました。2020年度に掲載された同コラムの本数は65本に上ります。また、この特別コラムが基となり、2020年7月には、『コロナ危機の経済学：提言と分析』（小林慶一郎、森川正之編著 日経BP）も出版されました。

<https://www.rieti.go.jp/jp/columns/covid-19.html>

⑤ メディア勉強会の開催

今年度より、メディアの方々との関係構築のため、月1回程度の「メディア勉強会」を開催しました。有力講師によるホットイシューについての講演を行い、論説委員や解説委員など報道各社の幹部に多数参加いただいています。また、2021年1月には、RIETIと京都大学の共同文理融合研究につき、共同記者説明会を開催しました。

4月24日

中島 厚志

(RIETIコンサルティングフェロー／新潟県立大学 教授)

[回復に時間がかかるコロナショック](#)

6月23日

小林 慶一郎

(RIETIプログラムディレクター／東京財団政策研究所 研究主幹)

[コロナ危機の経済政策](#)

[―積極的感染防止戦略で経済再生を](#)

7月8日

井上 誠一郎 (RIETI 上席研究員)

[日本の所得格差の動向と政策対応のあり方について](#)

8月25日

藤 和彦 (RIETI 上席研究員)

[多死社会とQOD\(死の質\)](#)

[―with コロナ時代の介護産業とは](#)

10月13日

渡辺 哲也 (RIETI 副所長)

[通商交渉のプロフェッショナルが語る国際協議の舞台裏](#)

10月19日

成田 悠輔 (RIETI 客員研究員／イエール大学 助教授)

[米国大統領選：シルバーデモクラシーから無意識民主主義へ](#)

11月6日

佐藤 主光

(RIETI ファカルティフェロー／一橋大学経済学研究科国際・公共政策大学院 教授)

[令和3年度予算を読む：失われた財政規律？](#)

11月10日

尾野 嘉邦

(RIETI ファカルティフェロー／早稲田大学政治経済学術院 教授)

[なぜ日本において女性政治家が少ないのだろうか？](#)

[―最新の研究成果から考える―](#)

12月4日

戸堂 康之

(RIETI ファカルティフェロー／早稲田大学政治経済学術院経済学研究科 教授)

[これからのグローバル化のあり方](#)

[―コロナ禍や米中分断の中で日本はどうすべきか？―](#)

12月15日

成田 悠輔 (RIETI 客員研究員／イエール大学 助教授)

[エビデンスに基づく政策の生と死](#)

[―新型コロナウイルスについて思うこと](#)

1月6日

京都大学・RIETI 共催

[RIETIと京都大学医学研究科が新型コロナについて](#)

[国際共同研究を開始](#)

[～世界初の医学と社会科学の融合型大規模疫学研究～](#)

2021年1月6日

共同記者説明会

[RIETIと京都大学医学研究科が](#)

[新型コロナについて国際共同研究を開始](#)

[～世界初の医学と社会科学の融合型大規模疫学研究～](#)

新型コロナウイルス感染症の感染状況については、国内外で新規陽性者数の増加傾向が顕著になっています。そうした中で、感染拡大経路を把握する上でも、経済活動が可能な無症状者（不顕性感染者）が重要な鍵を握っています。このため、RIETIは、京都大学医学研究科と連携し、フランス・パスツール研究所が開発した抗体検査キットを使い、地域住民と医療従事者を対象に国際共同研究を行うこととし、開始にあたって2021年1月6日に共同記者説明会を開催しました。日本経済新聞をはじめ全国39紙とウェブニュースに掲載され、TVのニュースでも放送されました。

⑥ウェブサイト・Facebook・Twitterを通じた情報発信

RIETIのウェブサイトは、日本語、英語、中国語の3カ国語で構成されており、スマートフォン等の携帯情報端末からのアクセスにも対応したデザインになっています。シンポジウム等のご案内、新しく発表された研究論文やノンテクニカルサマリー、フェローのコラム、世界の有力な研究者によるコラム「世界の視点から」など、RIETIの活動の最新情報を逐次掲載しています。

2020年度に読者の関心が高かったテーマとしては、COVID-19、マクロ経済、EBPM、イノベーションなどが挙げられます。さらに情報発信ツールの多様化に対応し研究成果の積極的な発信を行うため、ニュースレター（日本語は毎週木曜日、英語は毎月1回）、Facebookによるコンテンツ配信や、指定した政策カテゴリーごとに新着情報を短文メールでお届けする「新着情報配信サービス」など、タイムリーな情報提供サービスを行っています。（P.67ウェブサイト参照）



ウェブサイト <https://www.rieti.go.jp/jp/>



Facebook <https://www.facebook.com/Japan.RIETI>



Twitter <https://twitter.com/RIETIjp>

⑦広報誌「RIETI Highlight」の発行

RIETIの主だった活動を紹介する広報誌「RIETI Highlight」を季刊で発行しています。毎号、時宜を得たテーマを「特集」として紹介しており、2020年度は、「新型コロナウイルスの経済分析」、「国際社会の変容と日本の在り方」、「DXが創る新しい社会」、「文理融合研究とEBPM研究」などを取り上げました。また、特別号（英語版）を1回発行し、特に代表的なプロジェクトや研究成果、内外の著名な研究者が登壇したシンポジウムやセミナーを取り上げ2020年度のRIETIの活動を紹介しました。（P.68各種広報資料参照）

季刊号（日本語版）

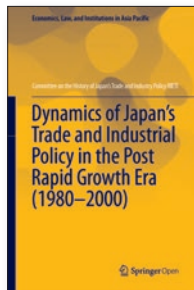


特別号（英語版）



⑧ 研究書籍の出版

2020年度は、RIETIの研究成果のとりまとめとして8冊の書籍が刊行されました。(P.66 出版物参照)

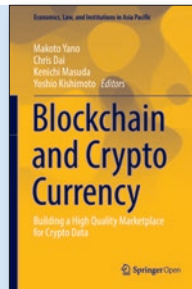


Dynamics of Japan's Trade and Industrial Policy in the Post Rapid Growth Era (1980-2000)

Written by Committee on the History of Japan's Trade and Industry Policy RIETI

Blockchain and Crypto Currency

Edited by YANO Makoto (Chairman), Chris DAI, MASUDA Kenichi, KISHIMOTO Yoshio

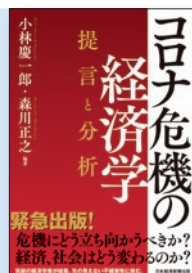


人は生まれ変わる 一縄文の心で アフター・コロナを生きる

藤 和彦(SF) 著

コロナ危機の経済学: 提言と分析

小林 慶一郎(FF)、
森川 正之(所長) 編著

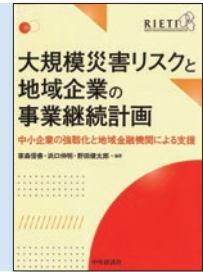


マクロ経済学の再構築 ケインズとシュンペーター

吉川 洋(FF) 著

大規模災害リスクと 地域企業の事業継続計画 —中小企業の強靱化と 地域金融機関による支援

家森 信善(FF)、
浜口 伸明(FF)、
野田 健太郎 編著



なぜ「よそ者」とつながることが 最強なのか?

生存戦略としての
ネットワーク経済学入門

戸堂 康之(FF) 著

AIは社会を豊かにするのか 人工知能の経済学Ⅱ

馬奈木 俊介(FF) 編著



2) 国際活動

RIETIは、海外における大学・研究機関の研究者との連携により、研究ネットワークの拡大、研究体制の強化を行っています。

海外の研究機関との交流としては、2007年より、世界トップレベルの経済シンクタンクCentre for Economic Policy Research (CEPR)との交流を続けており、2021年3月にはRIETI-CEPRシンポジウム「流れを変えるーグリーン成長とデジタルトランスフォーメーション」を開催しました。また、2012年からは、RIETIのコラム等をCEPRが運営している政策ポータルサイトであるVoxEU.orgに掲載するとともに、保護主義や経済の不確実性などタイムリーなVoxEU.orgのコラムをRIETIウェブサイトに掲載するなど、情報発信の連携も行っています。

また、2021年3月には、オーストラリア国立大学(ANU)と共催で、アジア太平洋地域のデジタルガバナンスを議論するシンポジウムを開催しました。

2020年8月31日

RIETI国際ウェビナー

World Economies Surviving and Thriving through COVID-19 and beyond

コロナ禍により世界はどう変わるのか。各国はどのように対応しており、今後グローバリゼーションはどの方向に進むのか。米国ハーバード大学のデールW. ジョルゲンソン教授、欧州高等国際問題・開発研究所(ジュネーブ)のリチャード・ボールドウィン教授をお迎えし、日本の著名な研究者とともに、それぞれの視点からこの問題を考察し、議論を行いました。

<https://www.rieti.go.jp/jp/events/20083101/info.html>



2021年3月2日

RIETI-CEPRシンポジウム(前掲)

流れを変える
ーグリーン成長と
デジタルトランスフォーメーション

2021年3月23日

RIETI-ANUシンポジウム(前掲)

アジア太平洋デジタルガバナンスに向けて

2020年11月5日

2020 RIETI-KIET-TIER ワークショップ

Industrial Policy Directions and Challenges in the Post Covid-19 Era

韓国を代表するシンクタンクである韓国産業研究院(KIET)と台湾を代表するシンクタンクである台湾経済研究院(TIER)とは長年研究協力関係にあり、定期的に共催でワークショップを実施しています。2020年度はオンラインでの開催になりましたが、ポストコロナ時代における産業政策のあり方について、それぞれの視点からプレゼンテーションを行い、議論を交わしました。

<https://www.rieti.go.jp/en/events/20110501/info.html>



MOU 締結一覧

TIER(台湾)／KIET(韓国)

(2010年締結)

ワークショップの共同開催。定期的に意見交換会の開催

CFR(米国)

(2011年締結)

International Affairs Fellowの受け入れ

CEPR(欧州)

(2014年締結)

ワークショップ、シンポジウムの共同開催。欧州シンクタンクと共同運営する政策ポータルにコラムを相互掲載

IZA(ドイツ)

(2015年締結)

ワークショップの共同開催、ウェブコンテンツの相互掲載

中国社会科学院日本研究所(中国)

(2019年締結)

セミナーの共同開催。学術情報や資料の共有

モンゴル国家開発庁

(2019年締結)

両機関の研究協力

研究活動

研究プログラム

研究プロジェクトリスト

- I マクロ経済と少子高齢化
- II 貿易投資
- III 地域経済
- IV イノベーション
- V 産業フロンティア
- VI 産業・企業生産性向上
- VII 人的資本
- VIII 融合領域
- IX 政策評価
- SP 特定研究

研究論文

ディスカッション・ペーパー(DP)

ポリシー・ディスカッション・ペーパー(PDP)

研究論文の英文査読付学術誌等掲載リスト

研究プロジェクトリスト

プログラムⅠ マクロ経済と少子高齢化

プロジェクトタイトル	プロジェクトリーダー	掲載頁
I-1 経済成長に向けた総合的分析: マクロ経済政策と政治思想的アプローチ	小林 慶一郎 FF	14
I-2 少子高齢化における個人のライフサイクル行動とマクロ経済分析: 財政・社会保障政策の影響	北尾 早霧 FF	14
I-3 為替レートと国際通貨	小川 英治 FF	15
I-4 自動化(robotization)が労働市場およびマクロ経済に与える影響について	藤原 一平 FF	15
I-5 East Asian Production Networks, Trade, Exchange Rates, and Global Imbalances	THORBECKE, Willem SF	15

プログラムⅡ 貿易投資

プロジェクトタイトル	プロジェクトリーダー	掲載頁
II-1 グローバル化、デジタル化、パンデミック下における企業活動に関する実証分析	富浦 英一 FF	17
II-2 海外市場の不確実性と構造変化が日本企業に与える影響に関する研究	張 紅詠 SF	17
II-3 現代国際通商・投資システムの総合的研究(第V期)	川瀬 剛志 FF	18
II-4 グローバリゼーションと日本経済: 企業の対応と世界貿易ガバナンス	浦田 秀次郎 FF	18
II-5 グローバル経済が直面する政策課題の分析	石川 城太 FF	18
II-6 経済・社会ネットワークとグローバル化の関係に関する研究	戸堂 康之 FF	19
II-7 直接投資の効果と阻害要因、および政策変化の影響に関する研究	神事 直人 FF	19
II-8 グローバル・サプライチェーンの危機と課題に関する実証研究	張 紅詠 SF	19

プログラムⅢ 地域経済

プロジェクトタイトル	プロジェクトリーダー	掲載頁
III-1 アフターコロナの地域経済政策	浜口 伸明 FF	21
III-2 組織間のネットワークダイナミクスと企業のライフサイクル	齊藤 有希子 SF	21
III-3 経済集積を基本単位とする地域経済分析: 経済集積の空間パターンと要因分析手法のための実証枠組の構築	森 知也 FF	22
III-4 都市・地域の経済活動に関する一連の空間経済分析	田淵 隆俊 FF	22
III-5 ポストコロナの地域経済と地域金融の役割	家森 信善 FF	23
III-6 地方創生の検証とコロナ禍後の地域経済、都市経済	中村 良平 FF	23
III-7 消費者としての都市の魅力と都市政策	中島 賢太郎 FF	23
III-8 地理空間、企業間ネットワークと経済社会の構造変化	齊藤 有希子 SF	24

プログラムⅣ イノベーション

プロジェクトタイトル	プロジェクトリーダー	掲載頁
IV-1 イノベーション能力の構築とインセンティブ設計: マイクロデータからの証拠	長岡 貞男 FF	25
IV-2 データとAI活用促進をグローバルに展開するための制度とマネジメントに関する研究ーグローバルデータサプライチェーンの確立に向けて	渡部 俊也 FF	25
IV-3 デジタル化とイノベーションエコシステムに関する実証研究	元橋 一之 FF	26
IV-4 アントレプレヌール・エコシステムの形成	本庄 裕司 FF	26

プログラムⅤ 産業フロンティア

プロジェクトタイトル	プロジェクトリーダー	掲載頁
V-1 産業組織に関する基盤的政策研究	大橋 弘 FF	28
V-2 経済ネットワークに基づいた経済と金融のダイナミクス解明	青山 秀明 FF	28
V-3 2020年後における電力市場設計の課題	八田 達夫 FF	29
V-4 人口減少社会における経済成長・景気変動	吉川 洋 FF	29
V-5 企業金融・企業行動ダイナミクス研究会	植杉 威一郎 FF	29

V-6	人工知能のより望ましい社会受容のための制度設計	馬奈木 俊介 FF	29
V-7	COVID-19 禍のものとマクロ経済：その実証的分析と復興への道程	青山 秀明 FF	30
V-8	グローバル化・イノベーションと競争政策	川濱 昇 FF	30
V-9	ビッグデータを活用した新指標開発と経済分析：サービス産業を中心に	小西 葉子 SF	30

プログラムVI 産業・企業生産性向上

プロジェクトタイトル	プロジェクトリーダー	掲載頁
VI-1 東アジア産業生産性	深尾 京司 FF	32
VI-2 地域別・産業別データベースの拡充と分析－地域間の分業と生産性	徳井 丞次 FF	33
VI-3 企業成長のエンジン：因果推論による検討	細野 薫 FF	33
VI-4 コロナ危機後の資本蓄積と生産性向上	宮川 努 FF	33

プログラムVII 人的資本

プロジェクトタイトル	プロジェクトリーダー	掲載頁
VII-1 AI時代の雇用・教育改革	鶴 光太郎 FF	35
VII-2 人事施策の生産性効果と雇用システムの変容	大湾 秀雄 FF	35
VII-3 日本の経済成長と生産性向上のための基礎的研究	西村 和雄 FF	36
VII-4 働き方改革と健康経営に関する研究	黒田 祥子 FF	36
VII-5 人手不足社会における外国人雇用と技術革新に関する課題の実証研究	劉 洋 F	36

プログラムVIII 融合領域

プロジェクトタイトル	プロジェクトリーダー	掲載頁
VIII-1 人々の政治行動に関する実証研究 －経済産業面での政策的課題に対するエビデンスベースの処方箋の提示を目指して	尾野 嘉邦 FF	38
VIII-2 企業統治分析のフロンティア	宮島 英昭 FF	38
VIII-3 市場高質化による自己増殖型変化への対応の文理融合研究	古川 雄一 FF	39
VIII-4 文理融合による新しい生命・社会科学構築にむけた実験的試み	広田 茂 FF	39
VIII-5 新型コロナウイルスの登場後の医療のあり方を探索するための基礎的研究	関沢 洋一 SF	40
VIII-6 先端技術と民主主義：技術の進展と人間社会の共生を目指して	尾野 嘉邦 FF	40

プログラムIX 政策評価

プロジェクトタイトル	プロジェクトリーダー	掲載頁
IX-1 日本の労働市場に関する実証研究	川口 大司 FF	41
IX-2 総合的EBPM研究	関沢 洋一 SF	41
IX-3 日本におけるエビデンスに基づく政策形成の定着	山口 一男 VF	42
IX-4 これからの法人に対する課税の方向性	佐藤 主光 FF	42
IX-5 大規模行政データを活用した教育政策効果のミクロ実証分析	田中 隆一 FF	42

スペシャルプロジェクトSP 特定研究

プロジェクトタイトル	プロジェクトリーダー	掲載頁
SP-1 気候変動枠組条約下での温室効果ガス削減事業を巡る国際動向調査	戒能 一成 F	44
SP-2 RIETIデータ整備・活用	関口 陽一 SF	44
SP-3 産業政策の歴史的評価	岡崎 哲二 FF	44
SP-4 新技術と経済成長・産業構造に関する研究	楡井 誠 FF	45
SP-5 産業再生と金融の役割に関する政策史研究	武田 晴人 FF	45
SP-6 日本の政策不確実性に関する実証研究	伊藤 新 F	45
SP-7 グローバル・インテリジェンス・プロジェクト(国際秩序の変容と日本の中長期的競争力に関する研究)	渡辺 哲也 副所長	46

マクロ経済と少子高齢化

プログラムディレクター 小林 慶一郎



長期的な成長の持続が世界経済の共通の課題となる中、我が国は他国に先駆けて急激な少子高齢化に直面している。我が国の経済活力を維持し、今後の世界経済の発展に貢献する政策提言に資する研究を展開する。具体的には、アジア地域の産業間・産業内サプライチェーンのあり方、国際金融と世界経済動向、長期経済停滞のメカニズムなどを分析する。また、包括的高齢者パネルデータの分析、社会保障と税財政の一体改革の方向性、コロナショックによる経済変動と産業構造変化へ向けての政策提言などに関する多面的かつ統合的な研究を行う。

研究プロジェクト紹介

I-1)

経済成長に向けた総合的分析： マクロ経済政策と政治思想的アプローチ

プロジェクトリーダー：小林 慶一郎 FF

プロジェクト期間：2020年4月1日～2022年3月31日

＜プロジェクト概要＞

日本の経済成長を高めるための成長戦略(アベノミクスの第三の矢)に関連する諸テーマについて、マクロ経済政策と政治思想のそれぞれの面から総合的に研究を進める。

マクロでは、欧米において急速に高まる長期停滞論(Secular stagnation hypothesis)をマクロ経済理論的手法により分析し、我が国及び欧米諸国の経済成長の長期的な将来経路についての含意を探る。

政治思想については、世代間を超える時間軸での政治的意思決定を政治学のフレームワークで考察し、我が国発の構想であるフューチャーデザインに関する議論を深め、将来世代の利益を踏まえた意思決定や政策立案の意義や可能性を検証する。

コーポレートガバナンスについては、マルチステークホルダー型資本主義にふさわしいガバナンス構造を探るため、従業員の持ち株の持つガバナンス上の含意を中心に検討する。

＜主な研究成果＞

ディスカッション・ペーパー

- What Do People Say When They become "Future People"?
- Positioning Imaginary Future Generations (IFGs) in General Rules for Good Decision Making (HIROMITSU, Toshiaki; KITAKAJI, Yoko; HARA, Keishiro; SAIJO, Tatsuyoshi) [DP 20-E-076](#)

I-2)

少子高齢化における 個人のライフサイクル行動とマクロ経済分析： 財政・社会保障政策の影響

プロジェクトリーダー：北尾 早霧 FF

プロジェクト期間：2018年8月13日～2020年7月31日

＜プロジェクト概要＞

今後数十年にわたり急速な高齢化が進行する日本において、中長期的な人口構造の変化・財政収支の推計を踏まえた経済分析と、それに基づいた政策議論が欠かせない。政策の違いによって、異なる年齢・社会経済層の家計がそれぞれどのような影響を受けるか、さらに現行・将来世代間で生じるトレードオフを理解することが、政策議論における鍵となる。本プロジェクトでは、ライフサイクルにおけるミクロ個人の意思決定をベースとしたマクロ経済モデルを構築し、少子高齢化の進む経済における制度改革による個人行動の変化を数量分析する。ミクロデータや制度の詳細をモデルに組み込むことにより、政策の違いによるマクロ経済および個人の厚生への影響をより精緻に分析することを目標とする。

＜主な研究成果＞

ディスカッション・ペーパー

- Welfare Effects of Polarization: Occupational Mobility over the Life-cycle (KIKUCHI, Shinnosuke; KITAO, Sagiri) [DP 20-E-043](#)

I-3)

為替レートと国際通貨

プロジェクトリーダー:小川 英治 FF

プロジェクト期間:2019年10月1日～2021年9月30日

<プロジェクト概要>

当研究プロジェクトでは、平成29年7月～令和元年6月設置の「為替レートと国際通貨」研究会の流れを踏まえながら、更なる発展的研究の遂行を目指す。具体的には「為替相場と通貨制度の分析」、「決済通貨と為替パススルーの分析」、「経常収支・金融収支と貿易構造のマクロ的分析」の3つのテーマを設置し、各テーマにおける研究を深化させることで、経済産業政策に対する多面的な政策インプリケーションを導くことを目的とする。また、AMUとAMU乖離指標、および日本を含む世界25カ国の産業別実質実効為替レートのデータの公開、RIETI Discussion Paperの出版、査読付き学術誌への論文掲載、国際ワークショップの開催、国内外での学会報告、という形で研究成果の対外的な発信にも努める。

<主な研究成果>

ディスカッション・ペーパー

- Heterogenous Job Separations and the Balassa-Samuelson Effect (GASTON, Noel; YOSHIMI, Taiyo) [DP 20-E-032](#)
- New Assessment of Economic Integration in East Asia: Application of Industry-Specific G-PPP Model (KAWASAKI, Kentaro; SATO, Kiyotaka) [DP 20-E-091](#)
- The Dollar, the Yen, or the RMB? A Survey Data Analysis of Invoicing Currencies among Japanese Overseas Subsidiaries (ITO, Takatoshi; KOIBUCHI, Satoshi; SATO, Kiyotaka; SHIMIZU, Junko; YOSHIMI, Taiyo) [DP 21-E-016](#)
- Macroeconomic Effects of Global Policy and Financial Risks (OGAWA, Eiji; LUO, Pengfei) [DP 21-E-020](#)

RIETI-IWEP-CESSA Joint-Workshop (Online)

"Exchange Rate and International Currency"(2020/12/6) [P.79参照](#)

I-4)

自動化(robotization)が労働市場およびマクロ経済に与える影響について

プロジェクトリーダー:藤原 一平 FF

プロジェクト期間:2019年12月16日～2021年11月30日

<プロジェクト概要>

自動化(すなわち、ロボット導入)が、「労働を人から奪うことになるのか?」といった懸念が非常に強まっている。こうした懸念は決して新しいものではなく、少なくとも200年程度前より、「機械化が労働を奪うのではないか」といった指摘を

みつけることができる。しかし、近年の、機械学習、人工知能の著しい発展を受けて、「今回こそは過去とは異なる(This time is different.)」との見方を提示する向きが強い。こうした懸念を受けて、様々な仮定を置き、理論モデルを用いて、将来についてのシナリオ(シミュレーション結果)を提示する理論的研究は数多いが、データを用いて、自動化が、これまで労働市場にどのような影響を与えてきたかを実証分析するものは少ない。さらに、実証分析の結果は区々となっている。本プロジェクトでは、新たなデータ、分析手法を用いて、自動化がこれまでに労働市場、マクロ経済に与えてきた影響を明らかにする。

I-5)

East Asian Production Networks, Trade, Exchange Rates, and Global Imbalances

プロジェクトリーダー:THORBECKE, Willem SF

プロジェクト期間:2021年1月18日～2023年6月30日

<プロジェクト概要>

新型コロナウイルス感染症の世界的流行が世界中で猛威を振っている。痛ましい人的被害が出ていることはもちろん、深刻な経済的混乱が発生している。本研究プロジェクトの前半では、この危機が世界各地の経済へ与えている影響の様子とその原因に関してタイムリーな情報を収集し、適切な政策対応の提案を試みる。各国に関するタイムリーかつ一貫性のあるデータの情報源として、業種別株価がある。業種別株価は毎日更新され、各業種の状況に関する投資家の予測に関して、最新の情報を提供している。株価変動は、マクロ経済要因に起因する変化と、業種に固有の要因に起因する変化とに分割できる。パンデミックに際して、経済全体の減衰といったマクロ経済要因が多く業種に打撃を与えた。また、その他の業種でも、人的交流の減少が発生するといった、業種に固有の影響を受けている。本研究では、株式のリターンデータを使用して、日本を始めとする各国の各業種がパンデミック期に受けている影響の様子とその原因の把握を試みる。同データを補強するためにその他のデータも使用する。例えば、危機以前からの輸出業務を推定した上で、説明変数の実績値を使用して、パンデミックを原因とした輸出の減少幅を測定する。そして、分析結果を用いて、経済回復を促進するための政策措置を提言する。

本研究ではまた、長期的な問題も取り扱う。不安定な為替レートが出現する危険が、研究者たちによって指摘されている。本研究では、為替レートが日本やヨーロッパ他各国の企業の価格動向、収益、輸出にどのような影響を与えるかについて

調査する。これを行うために、本研究ではパススルー方程式、為替レートエクスポージャー方程式および輸出方程式といった手法を用いる。その上で、為替レートの不安定性から企業が自らを守るための方法を検討する。

最後に、世界経済の不均衡は、保護主義の急激な台頭を引き起こした。本プロジェクトでは、これらの不均衡を分析し、貿易保護以外の方法でこの問題に対処する方法を提案する。

本研究では、実証的な証拠を慎重に取り扱うことによって、新型コロナウイルス感染症による日本および各国経済への影響の様子、為替レートによる貿易への影響の様子、貿易不均衡が保護主義圧力の恒常化・醸成を招いている様子、製品の複雑性が経済のショックへのエクスポージャーに与える影響の様子などを分析する。分析結果を通して、回復、ショックへの耐性、継続的な成長を促すための政策対応を解明できることが期待される。

プログラムIの研究成果で2020年度の 研究プロジェクトに属さないもの(その他)

<2019年度以前の研究プロジェクトに属するもの>

エビデンスに基づく医療に立脚した 医療費適正化策や健康経営のあり方の 探求

プロジェクトリーダー: 縄田 和満 FF

プロジェクト期間: 2017年8月7日～2020年1月31日

ディスカッション・ペーパー

- 不眠を対象としたインターネット認知行動療法と「3つの良いこと」エクササイズの有効性の検証（3群ランダム化比較試験）（佐藤 大介、関沢 洋一、須藤 千尋、平野 好幸、大川 翔、廣瀬 素久、竹村 亮、清水 栄司）

DP 20-J-019

- メタボ健診の質問票に記載された生活習慣の改善は体重・血圧・悪玉コレステロールの数値の改善にどの程度結びついているか？（関沢 洋一、木村 もりよ、縄田 和満） DP 20-J-030

- アロマセラピーは、健常高齢者の認知機能改善に効果があるか？ーランダム化比較試験による検証ー（宗 未来、小杉 良子、新生 暁子、小田木 友依、腰 みさき、橋本 空、関沢 洋一、斎藤 文恵、小西 海香、森 恵莉、船山 道隆、田淵 肇、三村 将） DP 21-J-003



経済産業政策の立案には内外の経済に関する深い理解が不可欠であるが、グローバル化の進展により国際経済に関する研究が一層重要となっている。特に、世界的な不確実性の高まりの中で、政策的関心に応えるとともに、長期的趨勢の把握が求められる。そこで、国際貿易、海外直接投資、その他の実体面における様々な国際経済活動について、政府統計の個票や独自調査に基づくミクロデータを含む各種データを用いて計量実証分析を行うとともに、経済学のみならず法学の観点から我が国の対外経済政策、諸外国の貿易政策、国際通商ルール、企業のグローバル展開等に関する研究を行う。

研究プロジェクト紹介

II-1)

グローバル化、デジタル化、 パンデミック下における 企業活動に関する実証分析

プロジェクトリーダー: 富浦 英一 FF

プロジェクト期間: 2020年9月14日～2022年8月31日

<プロジェクト概要>

世界経済を巡っては、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大(パンデミック)により混迷が深まっている。そこで、パンデミックにおけるわが国企業の対応に、グローバル化やデジタル化がどう関係したか、企業ミクロデータを用いて分析する。また、パンデミックがわが国貿易に与えた影響に関するビッグデータを用いた分析も検討する。

併せて、①ビッグデータやAIの活用拡大に伴って一層拡大すると見込まれ、パンデミックにより人の移動が制限され重要性がさらに高まっている越境デジタル・データ移転と、②グローバル化に大きな位置を占めており危機に対する対応でも特徴を有すると考えられる企業内貿易についても、企業ミクロデータを用いた実証分析を深める。

II-2)

海外市場の不確実性と構造変化が 日本企業に与える影響に関する研究

プロジェクトリーダー: 張 紅詠 SF

プロジェクト期間: 2018年11月5日～2020年10月31日

<プロジェクト概要>

本研究プロジェクトは、海外市場の不確実性と構造変化に焦点をあて、(i) 米中貿易摩擦、保護主義の台頭および増大する世界経済の不確実性が貿易投資、日本企業に与える影響、(ii) マクロレベル・ミクロレベルの不確実性と企業行動(設備投資・雇用・輸出・海外生産)との関係、(iii) 中長期的な視点から見た主要国(米国・中国・日本など)における構造変化と貿易自由化が労働市場に与える影響に関する分析を課題として取り上げ、理論的・実証的研究を行う。これらの分析をもとに、経済政策・通商政策の形成に必要なエビデンスを提供する。

<主な研究成果>

ディスカッション・ペーパー

- Moving Out of China? Evidence from Japanese Multinational Firms (LUO, Changyuan; SI, Chunxiao; ZHANG, Hongyong) DP 20-E-077
- Information Acquisition and Price Setting under Uncertainty: New Survey Evidence (CHEN, Cheng; SENG, Tatsuro; SUN, Chang; ZHANG, Hongyong) DP 20-E-078
- Measuring Business-Level Expectations and Uncertainty: Survey Evidence and the COVID-19 Pandemic (CHEN, Cheng; SENG, Tatsuro; ZHANG, Hongyong) DP 20-E-081

II-3)

現代国際通商・投資システムの 総合的研究(第V期)

プロジェクトリーダー:川瀬 剛志 FF

プロジェクト期間:2020年5月1日~2022年4月30日

<プロジェクト概要>

経済産業政策の重点事項を踏まえ、今期プロジェクトは、昨年に引き続き、以下の課題に取り組む。

1. デジタル貿易の多国間ルール形成:地域経済統合(FTA/EPA)における先進的なルール、WTOデジタル貿易交渉、DFFTの個別論点(特にプライバシー、サイバーセキュリティ)、その他関係論点(多国間デジタル課税ルール、デジタルプラットフォーム規制など)など
2. 公的支援の競争中立性をめぐる国際経済法:三極貿易大臣会合による産業補助金規制案、「中国製造2025」関連の公的支援の市場歪曲とWTO協定整合性、分野別研究(航空機、造船、半導体)
3. WTO判例・紛争解決手続研究:最近のパネル・上級委員会報告の検討、上級委員会危機

<主な研究成果>

ディスカッション・ペーパー

- 中国鉄鋼業における過剰能力削減政策:調整プロセスとしての評価(川端 望、銀 迪) DP 20-J-038

ポリシー・ディスカッション・ペーパー

- 【WTOパネル・上級委員会報告書解説③】中国一農業生産者に対する国内助成(DS511)一国内助成(市場価格支持)の算定方法一(関根 豪政) PDP 20-P-024
- 【WTOパネル・上級委員会報告書解説④】中国一ある種の農産物に関する関税割当(DS517)一中国の加入に関する作業部会報告書の解釈および米中合意との関係一(平見 健太) PDP 20-P-025
- 【WTOパネル・上級委員会報告書解説⑤】韓国一放射性核種事件(DS495)一放射能汚染を理由とした通商規制に関するSPS協定上の争点一(邵 洪範) PDP 20-P-030

II-4)

グローバリゼーションと日本経済: 企業の対応と世界貿易ガバナンス

プロジェクトリーダー:浦田 秀次郎 FF

プロジェクト期間:2020年5月11日~2022年4月30日

<プロジェクト概要>

近年、世界で保護主義が台頭している。その背景には、貿易自由化や技術進歩などにより、モノ、カネ、ヒトが活発に国境

を移動することで、急速に進展しているグローバリゼーションによって被害を受けた人々による反グローバリズムが存在する。グローバリゼーションが高成長をもたらしたことは、第二次大戦後の世界経済の高成長によって確認できる。グローバリゼーションは中長期的かつマクロ経済的という観点からみれば、経済成長という形のメリットをもたらすが、短期的かつミクロ経済的という観点からは被害を発生させる可能性もある。このような認識に基づいて、本研究ではグローバリゼーション(特に貿易の拡大)の経済的影響について日本を対象として定量的分析を行うと共に、グローバリゼーションを支える世界貿易制度の現状と問題点を分析することで、日本政府による貿易政策の立案に貢献することを目的とする。

II-5)

グローバル経済が直面する政策課題の分析

プロジェクトリーダー:石川 城太 FF

プロジェクト期間:2020年6月1日~2022年5月31日

<プロジェクト概要>

経済のグローバル化は、目覚ましい勢いで進展し、様々な恩恵を我々にもたらした。しかし、グローバル経済は、さまざまな課題にも直面している。本研究プロジェクトでは、そのような課題の中から、経済政策上重要と思われる以下の5つを取り上げ、国際経済学の主に理論的観点から考察を行い、政策立案と政策運営のための示唆を得ることを目的とする。①、④、及び⑤はRIETIの中期目標に具体的に述べられている「エネルギー・環境問題」や「少子高齢化に伴う人口減の深刻化」に直接的に取り組む研究である。②と③は、中期目標のキーワードとなっている「Society5.0」実現のためのデジタルトランスフォーメーションにおいて鍵となる無形資産や経済のデジタル化に密接に関連した研究である。

- ①地球温暖化をはじめとする環境問題
- ②移転価格を用いた多国籍企業の租税回避問題
- ③デジタル経済における貿易政策
- ④貿易にかかわる不確実性の増大
- ⑤グローバル化に伴う労働市場への影響

<主な研究成果>

ディスカッション・ペーパー

- Emissions Trading and International Trade (ISHIKAWA, Jota; KIYONO, Kazuharu; YOMOGIDA, Morihiro) DP 20-E-080

II-6)

経済・社会ネットワークと グローバル化に関する研究

プロジェクトリーダー: 戸堂 康之 FF

プロジェクト期間: 2020年8月17日～2022年7月31日

<プロジェクト概要>

近年、世界各国で保護主義が台頭している。その理由の1つは、グローバルな経済ネットワークを通じて経済ショックが流入するためにグローバル化に対する反発が強まっていること、また人間が持つ本質的な閉鎖性によって反グローバル化が強化されていることである。本研究は、(1)国内外に広がる企業ネットワークを通じて、経済ショックはどのように波及するか、またどのような政策的介入によって負のショックの波及が緩和されるか、(2)外部からの介入によって地域を越えた社会交流が起きることで、人間の持つ本質的な閉鎖性は軽減されるのか、について実証的に検証することで、保護主義の台頭に対して政策的な提言を行う。

<主な研究成果>

ディスカッション・ペーパー

- Do Economic Effects of the Anti-COVID-19 Lockdowns in Different Regions Interact through Supply Chains? (INOUE, Hiroyasu; MURASE, Yohsuke; TODO, Yasuyuki) DP 21-E-001

出版物

『なぜ「よそ者」とつながることが最強なのか: 生存戦略としてのネットワーク経済学入門』

(戸堂 康之 著)

プレジデント社、2020年12月

P.66参照

II-7)

直接投資の効果と阻害要因、 および政策変化の影響に関する研究

プロジェクトリーダー: 神事 直人 FF

プロジェクト期間: 2020年11月2日～2023年4月30日

(上記プロジェクト期間のうち、研究活動期間は 2020年11月2日～2022年10月31日とし、データ利用報告期間は 2022年11月1日～2023年4月30日とする)

<プロジェクト概要>

本プロジェクトは、対日直接投資(FDI)が国内経済にもたらす効果とその阻害要因を中心に、政策変化や企業の金融制約等の要因がFDIや多国籍企業の活動に及ぼす影響について分析を行う。具体的には、(1)対日FDIの効果と阻害要因に関

する研究、(2)対内FDIと労働市場環境・外資賃金プレミアムに関する研究、(3)金融制約がFDIの所有構造に与える効果に関する研究、(4)政策変化が対内FDIや多国籍企業の活動に及ぼす影響に関する研究、の4テーマを設定して研究を進める。各テーマには、さらにいくつかのサブテーマを設定して、分析の焦点を絞り込む。FDIの研究に対して学術的な貢献をするとともに、日本の対内FDI拡大に資する政策的含意を得ることを目指す。

II-8)

グローバル・サプライチェーンの危機と 課題に関する実証研究

プロジェクトリーダー: 張 紅詠 SF

プロジェクト期間: 2021年2月15日～2023年7月31日

(上記プロジェクト期間のうち、研究活動期間は 2021年2月15日～2023年1月31日とし、データ利用報告期間は 2023年2月1日～2023年7月31日とする)

<プロジェクト概要>

本研究は、大規模のミクロデータを用いた実証分析から、新型コロナウイルスの世界的感染拡大(パンデミック)、貿易摩擦、英国のEU離脱(Brexit)といった外生的なショックと不確実性の増大が、貿易投資とサプライチェーンに与える影響を分析する。それらのショックがグローバルなサプライチェーンと企業間取引関係を通してどのように波及・増幅し、経済全体にも影響しているのかを明らかにすることで、グローバル・サプライチェーンの危機と課題への理解を進める。特に、企業間取引関係のデータと国内外における日本企業の事業活動を調査している政府統計の調査票情報を用いて、企業毎にサプライチェーンにおいての上流度を計測すると同時に、企業の主観的不確実性指標を構築し、外生的なショック・不確実性の増大とサプライチェーンとの関係を実証的に明らかにする。さらに、サプライチェーンの実像・形成と貿易投資の影響、多国籍企業と構造変化についても取り上げて分析する予定。本研究から得られたエビデンスに基づいてグローバル・サプライチェーンの形成・再編・強化に関する政策的インプリケーションを提供する。

プログラムIIの研究成果で2020年度の 研究プロジェクトに属さないもの(その他)

<2019年度以前の研究プロジェクトに属するもの>

デジタル経済における企業の グローバル行動に関する実証分析

プロジェクトリーダー: 富浦 英一 FF

プロジェクト期間: 2017年5月22日～2020年
3月31日

ディスカッション・ペーパー

- Productivity of Offshore Affiliates and Distance from Headquarters: Evidence from Affiliate-Level Data of Japanese Multinationals (LU, Yi; TOMIURA, Eiichi; ZHU, Lianming) [DP 20-E-047](#)
- Characteristics of Firms Transmitting Data Across Borders: Evidence from Japanese Firm-level Data (TOMIURA, Eiichi; ITO, Banri; KANG, Byeongwoo) [DP 20-E-048](#)

ポリシー・ディスカッション・ペーパー

- 日本の製造業のサービス化（伊藤 恵子、乾 友彦、鄧 希煒、古沢 泰治） [PDP 20-P-027](#)

オフショアリングの分析

プロジェクトリーダー: 石川 城太 FF

プロジェクト期間: 2017年11月1日～2019年
10月31日

ディスカッション・ペーパー

- Transfer Pricing Regulation and Tax Competition (CHOI, Jay Pil; FURUSAWA, Taiji; ISHIKAWA, Jota) [DP 20-E-035](#)

現代国際通商・投資システムの総合的研究 (第IV期)

プロジェクトリーダー: 川瀬 剛志 FF

プロジェクト期間: 2017年12月18日～2019年
11月30日

ディスカッション・ペーパー

- 中国における電子商取引分野に関する法規制—独占禁止法、反不正当竞争法及び電子商取引法を中心に—（川島 富士雄） [DP 20-J-022](#)

直接投資および投資に伴う貿易に関する 研究

プロジェクトリーダー: 神事 直人 FF

プロジェクト期間: 2018年4月2日～2020年
3月31日

ディスカッション・ペーパー

- Labor Market Flexibility and Inward Foreign Direct Investment (KAMATA, Isao) [DP 20-E-057](#)



地域ごとの異質性を考慮して「場」あるいは「地域」の特徴に基づいて実施する政策(place-based policies:PBP)を体系化する。イノベーションと国際競争で先導的役割が期待される大都市では、集積の経済的メリットを活用しつつ、混雑から生じる弊害を抑制するような、インフラや、経済主体への支援を明らかにする。地方では各地域に固有な地域資源を革新的かつ持続可能な形で利用して高い付加価値を生む生産活動を行っていく構造転換を促すネットワーク、コミュニティ、制度設計のあり方を明らかにする。大都市と地方のバランスの最適化を図る政策についても研究を進める。

研究プロジェクト紹介

III-1)

アフターコロナの地域経済政策

プロジェクトリーダー:浜口 伸明 FF

プロジェクト期間:2021年1月4日~2023年6月30日

(上記プロジェクト期間のうち、研究活動期間は2021年1月4日~2022年12月31日とし、データ利用報告期間は2023年1月1日~2023年6月30日とする)

<プロジェクト概要>

新型コロナウイルス感染拡大の影響は地域経済が抱える課題を改めて浮き彫りにした。第一に、ビジネスモデルと行政をIT技術を利用して変革する、いわゆるデジタル・トランスフォーメーションにより企業の生産性向上と社会課題の解決を目指す世界的潮流になった動きが、地方では特に遅れていることである。第二に、東京一極集中が感染拡大の抑制を困難にしたということである。第三に、地方では先端的なスタートアップ企業の創出の力が弱いことである。第四に、インバウンド観光により地方でも観光客の入込人数が増えたが地域所得への還元が小さいことである。本研究では、デジタル化、テレワークの浸透に伴う人口動態、スタートアップ・エコシステムの形成、観光業の高付加価値化について、現状分析と政策研究を行う。

III-2)

組織間のネットワークダイナミクスと企業のライフサイクル

プロジェクトリーダー:齊藤 有希子 SF

プロジェクト期間:2018年6月11日~2020年6月30日

<プロジェクト概要>

本研究プロジェクトは、日本の企業の競争力の源泉として、組織間の強いつながりによる効果(『つながり力』)に焦点を当て、組織間ネットワークのダイナミクスを研究する。組織間のつながりとして、企業間の取引ネットワークや知識波及に関するネットワークがあり、それらのネットワークの構築のコストとして地理的な障壁などさまざまなコストがある。それらのコストがどのように働くのかを詳細に分析することにより、ネットワークのダイナミクスと企業のパフォーマンスとの関係を明らかにする。また、企業間のつながりにより、個々の企業のショックがマクロ経済の変動や成長にもつながるが、ネットワークのダイナミクスはショックの吸収機能としても増幅機能としても働き得る。異なるショックに対して、どのようにネットワークが反応するのか、他の生産要素である雇用がどのように変化するのかを分析することにより、ショックの波及メカニズムを明らかにする。さらに、企業ダイナミクスの構造変化を考慮し、企業のライフサイクルにおける企業間ネットワークの役割、企業成長の履歴効果、経済活動の立地パターンの決定要因について分析する。

<主な研究成果>

ディスカッション・ペーパー

- Robots and Employment: Evidence from Japan, 1978-2017 (ADACHI, Daisuke; KAWAGUCHI, Daiji; SAITO, Yukiko) **DP 20-E-051**
- China's Impact on Regional Employment: Propagation through Supply Chains and Co-agglomeration Pattern (SAITO, Yukiko; KAINUMA, Shuhei; FABINGER, Michal) **DP 20-E-054**
- Why Do Japanese MNEs Enter and Exit Foreign Markets? (DESEATNICOV, Ivan; FUJII, Daisuke; KUCHERYAVYY, Konstantin; SAITO, Yukiko) **DP 20-E-055**
- Intermediaries in Transaction Networks: Location of Wholesalers' Headquarters and Other Establishments (ITO, Tadashi; OKAMOTO, Chigusa; SAITO, Yukiko) **DP 20-E-056**

ポリシー・ディスカッション・ペーパー

- 戦前期日本のイノベーション活動：特許情報の電子化によるアプローチ（井上 寛康、岡崎 哲二、齊藤 有希子、中島 賢太郎） **PDP 20-P-012**
- 直接投資における参入形態とその国際比較（齊藤 有希子、高山 遥） **PDP 20-P-017**

Ⅲ-3)

経済集積を基本単位とする 地域経済分析経済集積の空間パターンと 要因分析手法のための実証枠組の構築

プロジェクトリーダー: 森 知也 FF

プロジェクト期間: 2019年1月7日～2021年6月30日

<プロジェクト概要>

本研究は、都市集積が一般的な立地形態である先進経済を対象として、多産業・多地域経済集積モデルに依拠した、人口・産業集積及び地域間貿易構造変化を定量的に評価する誘導系回帰モデル及び構造モデルを用いた実証分析枠組を構築し、主として日本のデータに適用してその実用性を検証する。前者では、高速道路・新幹線網等輸送網整備の効果に焦点を当て、都市・産業集積・地域経済圏単位の反応について、日本のデータを用いた定量的評価を行うとともに、地域間貿易構造の分析では、従来ブラックボックスとしてのみ考慮されてきた、歴史的・文化的要因を背景に蓄積された地域間の嗜好差に起因する貿易要因を、家計の消費パターンと方言データを用いて明示的に定量化し、包括的な回帰分析の枠組を構築する。後者では、集団ゲーム・オペレーションズ・リサーチの最近の成果を取り入れた多次元非線形システムの系統的な均衡選択手法を開発し、モンテカルロ・シミュレーションにより経済の安定均衡の定性的な性質を特徴づける。特に、現実の都市の人口規模・空間分布及び産業構造の定性的な性質が、多産業・多地域集積経済モデルから再現される。

Ⅲ-4)

都市・地域の経済活動に関する 一連の空間経済分析

プロジェクトリーダー: 田渕 隆俊 FF

プロジェクト期間: 2019年11月5日～2021年10月31日

<プロジェクト概要>

都市・地域の経済は、特に国際貿易や労働市場と密接にかかわっている。グローバル化や少子高齢化が進行する状況のもとで、都市・地域の経済が持続的に発展するための要因を多角的に分析する。また、さまざまな所得階層や文化習慣の異なる人種が空間的にどのように混合もしくは分離して立地するかについて、空間経済学的アプローチを駆使して分析することによって、都市間および都市内部のさまざまなレベルにおいて経済格差が発生する要因を明らかにする。都市経済に関連する経済地理学、貿易論、交通経済学、労働経済学、開発経済学における研究成果と融合することによって、厚生経済学のおよび社会的に望ましい都市地域政策を導き出す。

<主な研究成果>

ディスカッション・ペーパー

- Do People Accept Different Cultures? (NAKAGAWA, Mariko; SATO, Yasuhiro; TABUCHI, Takatoshi; YAMAMOTO, Kazuhiro) **DP 20-E-090**
- High-speed Rail and the Spatial Distribution of Economic Activity: Evidence from Japan's Shinkansen (HAYAKAWA, Kazunobu; KOSTER, Hans R.A.; TABUCHI, Takatoshi; THISSE, Jacques-François) **DP 21-E-003**

Ⅲ-5)

ポストコロナの地域経済と地域金融の役割

プロジェクトリーダー: 家森 信善 FF

プロジェクト期間: 2020年9月14日～2022年8月31日

<プロジェクト概要>

本研究プロジェクトは、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の影響を把握し、そうした混乱の中から地方創生を実現するために地域金融に何ができるかを考える。第一に、COVID-19対応で講じられているさまざまな政策の利用状況や、地域金融機関などの支援提供の状況を明らかにするために、企業アンケート調査を実施する。第二に、人口減少社会の中で地域金融機関に求められる支援活動(たとえば、人材紹介業や創業支援)や、経営体としての対応策(経営統合など)について、これまでに実施されたRIETIの調査結果やわれわれの調査結果などを活用して分析を行う。第三に、外部ショックに対する地域経済のレジリエンスや地域企業の対応についての政府統計を活用した分析を行う。

Ⅲ-6)

地方創生の検証と

コロナ禍後の地域経済、都市経済

プロジェクトリーダー: 中村 良平 FF

プロジェクト期間: 2020年10月1日～2022年9月30日

<プロジェクト概要>

今回のコロナ禍と地域経済の今後のあり方を考える。コロナ後も一定の社会的距離の維持と在宅勤務の進展、大都市圏のリスクによる地方移住の進展などを前提、予見として、第二期の地方創生を現実のあるものにする方策を考える。具体的には、以下のテーマを考えている。

- (1) 地方創生の検証と地域間マネーフロー推計に基づく地域の稼ぐ力の再考(ネットワークとマネー循環、工場誘致の有効性)、コロナ禍を考慮した第二期の展望
- (2) e-コマースの進展による地域の消費構造変容とその地域経済への影響分析(消費漏出への取り組み)
- (3) 地方企業経営者と企業パフォーマンスおよび若年経営者の流入と地方創生
- (4) 製品のユニーク性、高品質性と地方経済の活性化
- (5) 複数均衡の存在と都市進化の空間構造シミュレーション(コロナ後の東京と地方の均衡関係)

Ⅲ-7)

消費者としての都市の魅力と都市政策

プロジェクトリーダー: 中島 賢太郎 FF

プロジェクト期間: 2020年10月1日～2022年9月30日

<プロジェクト概要>

都市のメリットについて、既存の都市経済学、特に実証研究においては生産面のメリットとしての集積の経済の研究に重きが置かれてきた。一方で、都市はその住人に対し、生産活動(就労)機会の提供のみならず、多様な消費やアメニティへのアクセスを提供している。しかし、都市住人の社会・経済活動に関する包括的なデータの欠落から、生産・就労以外の都市のメリットに関する実証的な分析は進んでいない。本研究プロジェクトでは、これまで欠落していた都市住人の消費やアメニティへのアクセスがもたらす都市集積のメリットについて実証的に検証することを目的とする。本プロジェクトでは具体的に2つの研究を進める。1つめは携帯電話に搭載されたGPSによる位置情報による都市住人の移動データを用いた分析である。これまでデータの欠落によって困難であった、都市住人の通勤以外の移動行動を把握することで、ショッピング等、都市内の人々の多様な移動行動需要を実証的に把握・モデル化し、都市政策(交通インフラ、ゾーニング等)の経済厚生評価を行う。2つめはこのような都市集積の活用のための土地利用規制のあり方についての研究である。土地利用規制は都市の混雑緩和のために導入されているが、それは集積の経済を損なうという効果ももたらす。最適な土地利用規制の設計のためには、規制の費用と便益の正確な測定が必要である。本研究では、土地利用規制の費用についての推定を行う。

III-8)

地理空間、企業間ネットワークと 経済社会の構造変化

プロジェクトリーダー: 齊藤 有希子 SF

プロジェクト期間: 2020年11月2日～2023年4月30日

(上記プロジェクト期間のうち、研究活動期間は 2020年11月2日～2022年10月31日とし、データ利用報告期間は 2022年11月1日～2023年4月30日とする)

<プロジェクト概要>

企業の生産活動は複雑な企業間のネットワークの上になりたっており、より良いネットワークの構築は企業成長の鍵となる。しかし、超高齢化社会において、日本全体の企業数は減少し、国内の企業間ネットワークは縮小しており、地方において顕著である。また、企業の新陳代謝において、代表者の高齢化による自主的な退出の比率が倒産による退出の比率を大きく上回ってきており、自主的な退出の連鎖を考慮した上で、マクロの生産性を向上すべく企業のセレクトのメカニズムを検討する必要がある。コロナショックを受け、企業の自主退出はさらに加速している。さらに、コロナショックはネットワークの構築および人の移動をとまなう地理的な要因に大きな変化をもたらすと考えられる。本研究プロジェクトでは、少子高齢化や地域の問題、ウィズコロナ、アフターコロナのマクロの構造変化を考慮した上で、企業間のネットワークがどのように活用されるべきであるのかについて、政策的な示唆を得ることを目的とし、企業間の取引ネットワークや知識生産活動のネットワークと企業のパフォーマンスの関係について、特に地理的な要因に焦点を当てて分析をする。

プログラムIIIの研究成果で2020年度の 研究プロジェクトに属さないもの(その他)

<プロジェクトに属さない独立したもの>

ディスカッション・ペーパー

- A Structural Estimation of the Disutility of Commuting (KONDO, Keisuke) DP 20-E-031

<2019年度以前の研究プロジェクトに属するもの>

コンパクトシティに関する実証研究

プロジェクトリーダー: 近藤 恵介 SF

プロジェクト期間: 2017年9月19日～2019年8月31日

ディスカッション・ペーパー

- Heterogeneous Treatment Effects of Place-based Policies: Which Cities Should be Targeted? (FUJISHIMA, Shota; HOSHINO, Tadao; SUGAWARA, Shinya) DP 20-E-036
- The Revitalization of Shrinking Cities: Lessons from the Japanese Service Sector (KONDO, Keisuke; OKUBO, Toshihiro) DP 20-E-050
- The Impact of Market Size on Firm Selection (KONDO, Keisuke; OKUBO, Toshihiro) DP 20-E-053

人口減少下における地域経済の 安定的発展の研究

プロジェクトリーダー: 浜口 伸明 FF

プロジェクト期間: 2018年1月15日～2019年12月31日

ディスカッション・ペーパー

- インバウンド台頭期における九州の産業集積のマーケットポテンシャルが企業活動と港湾の利活用に与える影響に関するパネルデータ分析 (亀山 嘉大) DP 20-J-027
- 九州における旅館・ホテルの費用効率性: 電子商取引もしくは個別事業との関連 (後閑 利隆) DP 20-J-031
- 地域の比較優位と企業の輸出行動 (早川 和伸、松浦 寿幸) DP 20-J-036

出版物

『大規模災害リスクと地域企業の事業継続計画—中小企業の強靱化と地域金融機関による支援』
(家森 信善、浜口 伸明、野田 健太郎 編著)
中央経済社、2020年9月

P.66 参照

地域経済と地域連携の核としての地域 金融機関の役割

プロジェクトリーダー: 家森 信善 FF

プロジェクト期間: 2018年1月15日～2019年12月31日

出版物

『大規模災害リスクと地域企業の事業継続計画—中小企業の強靱化と地域金融機関による支援』
(家森 信善、浜口 伸明、野田 健太郎 編著)
中央経済社、2020年9月

P.66 参照



新たな知識の創造とその経済的あるいは非経済的な問題解決への活用が、第四次産業革命を含めたイノベーションの根幹である。その過程を把握できるオリジナルなデータの開発を行い、それによる国際水準の研究、ならびにイノベーション加速化のための政策形成に貢献する分析を行う。具体的には、産業のイノベーション能力、政府の研究開発支援政策、垂直分業などイノベーションを促進する産業組織の構築メカニズム、知的財産制度や技術標準制度のあり方、産学連携などを分析する。イノベーション・パフォーマンスの国際比較を含めて、国際的な視野に立った研究を行う。

研究プロジェクト紹介

IV-1)

イノベーション能力の構築と インセンティブ設計： マイクロデータからの証拠

プロジェクトリーダー：長岡 貞男 FF

プロジェクト期間：2020年7月20日～2022年6月30日

<プロジェクト概要>

日本産業がイノベーションを持続的に実現していく能力を高めていくことが、経済成長率を長期的に高め、また地球環境問題など社会的な課題の解決へ貢献していく上で重要である。本プロジェクトでは、イノベーションへの能力とインセンティブにフォーカスした研究を行う。具体的には(1)サイエンスの活用能力、(2)グローバルな競争と世界の知識と人材の活用、(3)「第4次産業革命」の広がりとそのダイナミクスおよび(4)研究開発の効果の適切な把握：不確実性、革新性及びスピルオーバー、(5)研究開発支援政策および(6)サイエンスからの発明の商業化と知的財産制度の研究を行う。

IV-2)

データとAI利活用促進を グローバルに展開するための制度と マネジメントに関する研究 ーグローバルデータサプライチェーンの 確立に向けて

プロジェクトリーダー：渡部 俊也 FF

プロジェクト期間：2019年3月18日～2021年2月28日

<プロジェクト概要>

本プロジェクトでは、国内および国境を越えたデータ活用についてその実態と、データ提供者の意思決定に関して以下に説明する3つの課題に取り組む。

第一の課題は国境を越えたデータ移転規制である。海外機関と連携したデータ利活用とその契約については、データローカライゼーションや移転規制がデータ利活用を阻害することが懸念されている。この点を踏まえ、国境を越えた企業のデータサプライチェーンを確立するための基礎的知見を得ることを目的として、以下の調査を実施する。

1. 海外機関や海外のデータ利活用についての実態を把握する

また改正不正競争防止法によって保護されるようになる限定提供データ制度については、今後データ利活用に利用されることが期待される。この点について活用実態を把握することを試みる。各国による規制の影響などについても考慮する。

2. 不正競争防止法改正がデータ提供者の意思決定に与える影響の調査

さらに今回経産省によって策定されたAIデータ契約ガイ

ドラインに関して、企業等がどの程度対応できているかを調査する。

3. AIデータ契約ガイドラインの主要論点について、実態面でどのように対応しているのか、ガイドラインの効果などについて調査する

これらの目的を達成するための質問票調査、ヒアリング調査と、国際共同調査、および国際データ契約ガイドラインの検討を行う。

<主な研究成果>

ディスカッション・ペーパー

- 企業において発生するデータの管理と活用－質問票調査による実態把握（渡部 俊也、平井 祐理、吉岡（小林） 徹、金間 大介、立本 博文、古谷 真帆、永沼 麻奈香） DP 21-J-017

IV-3)

デジタル化とイノベーションエコシステムに関する実証研究

プロジェクトリーダー:元橋 一之 FF

プロジェクト期間:2019年6月3日～2021年3月31日

<プロジェクト概要>

ビッグデータやAIの活用、IoTの進展などの経済活動のデジタル化は企業や産業のイノベーションに大きな影響を及ぼしている。オープンイノベーションの形態についても、1対1の技術のやり取りからベンチャー企業や大学なども巻き込んだ多様なプレイヤーによるエコシステムの形成が重要になっている。ここでは、イノベーションエコシステムの形成、発展、衰退といったダイナミクスについて全体的なアプローチで実証研究を行う。その結果を用いて産学連携、ベンチャー振興、地域クラスター政策など、エコシステムの個々のパーツに対する政策の整合性について、日本のイノベーションシステムの特徴を踏まえた評価を行う。

<主な研究成果>

ディスカッション・ペーパー

- Technological Competitiveness of China's Internet Platforms: Comparison of Google and Baidu Using Patent Text Information (MOTOHASHI, Kazuyuki; ZHU, Chen) DP 20-E-045
- Incentive or Disincentive for Disclosure of Research Data? A Large-Scale Empirical Analysis and Implications for Open Science Policy (KWON, Seokbeom; MOTOHASHI, Kazuyuki) DP 20-E-058
- Local Industry Influence on Commercialization of University Research by University Startups (KANG, Byeongwoo; MOTOHASHI, Kazuyuki) DP 20-E-086
- New Indicator of Science and Technology Inter-Relationship by Using Text Information of Research Articles and Patents in Japan (MOTOHASHI, Kazuyuki; KOSHIBA, Hitoshi; IKEUCHI, Kenta)

DP 21-E-025

- Chasing Two Hares at Once? Effect of Joint Institutional Change for Promoting Commercial Use of University Knowledge and Scientific Research (KWON, Seokbeom; MOTOHASHI, Kazuyuki; IKEUCHI, Kenta) DP 21-E-026
- Leveraging Standard Essential Patents for Capturing Innovation Rents: The Strategic Disclosure of License Rules (HUO, Dong; DANG, Jianwei; MOTOHASHI, Kazuyuki) DP 21-E-028

ポリシー・ディスカッション・ペーパー

- デジタルプラットフォームの進展と産業競争力への影響（元橋 一之） PDP 20-P-029
- Progress of Digital Platforms and their Impact on Japan's Industrial Competitiveness (MOTOHASHI, Kazuyuki) PDP 21-P-001

IV-4)

アントレプレヌール・エコシステムの形成

プロジェクトリーダー:本庄 裕司 FF

プロジェクト期間:2020年7月6日～2022年6月30日

<プロジェクト概要>

近年、アントレプレナーシップ・中小企業分野では、「アントレプレヌール・エコシステム」あるいは「スタートアップ・エコシステム」を形成し、エコシステムを通じたアントレプレナーシップやイノベーションの促進に注目が集まっている。アントレプレヌール・エコシステムでは、国あるいは地域におけるアクターや要素の結び付きを通じて効果的なアントレプレナーシップを生み出すと期待されている。具体的には、(潜在的な)アントレプレナー、エンジェル投資家、VC、大学研究者といった多様な個人・組織間の結び付きを促進し、国あるいは地域における人材、資金、技術といった(生産)要素の関係と循環を通じたアントレプレナーシップの育成をめざす。いいかえれば、アントレプレヌール・エコシステムは、個人や組織がそれぞれ得意分野で能力を発揮できる分業にもとづいた相互補完を行う意味において、多様化する社会に見合ったシステムといえる。こうした考えは、効率的な技術シーズの事業化にとって有益といえる。加えて、本研究では、アントレプレヌール・エコシステムで注目されている組織間の結び付きにとどまらず、時系列の視点から、創業から成長までの各ステージでの分業にも注目する。成長ステージにともなう所有や経営の変更(交代)や分業の効果に対する知見を提示したうえで、イノベーションを促進するためのアントレプレヌール・エコシステムの形成メカニズムを検証していく。

プログラムⅣの研究成果で2020年度の 研究プロジェクトに属さないもの(その他)

＜2019年度以前の研究プロジェクトに属するもの＞

イノベーション政策のフロンティア： マイクロデータからのエビデンス

プロジェクトリーダー：長岡 貞男 FF

プロジェクト期間：2017年10月10日～2019年
9月30日

ディスカッション・ペーパー

- Heterogenous Impacts of National Research Grants on Academic Productivity (ONISHI, Koichiro; OWAN, Hideo)
DP 20-E-052



デジタル技術が社会実装され、デジタル空間とリアル空間との融合が現実のものとなりつつある中で、技術的進展を効果的に取り込むために、わが国における経済社会システムを再設計し、新たな産業フロンティアを創出することが求められている。データを中核にして、様々な経済活動が融合しつつある時代を迎え、従来型の個別産業の政策に加えて、産業横断的な政策を視野に入れて、わが国経済が直面する課題を乗り越えるための政策のあり方などについて研究を行う。

研究プロジェクト紹介

V-1)

産業組織に関する基盤的政策研究

プロジェクトリーダー:大橋 弘 FF

プロジェクト期間:2020年10月19日~2022年9月30日

<プロジェクト概要>

5G等の通信技術の高度化に加えて、新型コロナウイルス感染拡大への対応の中で、ICT(情報通信技術)を使った経済活動のグローバル化が大きく進展している。国内での人口減少に加えて、新たな供給制約は、わが国の経済成長を考える上でも、大きな足かせになる。他方で、これまでの均一的といわれた社会価値観が大きく揺らぐ中で、個の多様性を軸にした新たな方向性を模索する時代に入っている。本研究プロジェクトでは、こうした社会経済的な背景を踏まえて、個別具体的な産業・市場に焦点をあてて、考察を深めることにする。

V-2)

経済ネットワークに基づいた 経済と金融のダイナミクス解明

プロジェクトリーダー:青山 秀明 FF

プロジェクト期間:2018年7月2日~2020年6月30日

<プロジェクト概要>

本プロジェクトでは、日本独自の企業取引ネットワークデータを中心とする経済・金融ネットワークを基盤として、マクロ経済のダイナミクスについて新たな知見を得ることを目的とする。景気変動、大規模震災や外的要因などによる各種経済危機、連鎖倒産などはいずれも各種の経済エージェント、すなわち、企業、金融機関、政府、さらに広い意味では国債、金融市場の各種時系列などが互いに影響をおよぼしあって発生している。その影響関係はネットワークを形作り、その上でダイナミクスが発生する。本プロジェクトでは各種ビッグデータを使い、そのネットワーク・ダイナミクスに迫る。

<主な研究成果>

ディスカッション・ペーパー

- The Propagation of Economic Impacts through Supply Chains: The Case of a Mega-city Lockdown to Prevent the Spread of COVID-19 (INOUE, Hiroyasu; TODO, Yasuyuki) **DP 20-E-037**
- Supply-Chain Network Analysis of Kyoto's Traditional Craft Industry (SATO, Daisuke; IKEDA, Yuichi; KAWAI, Shuichi; SCHICH, Maxmilian) **DP 20-E-044**
- Macroscopic Structure and Evolution in the Japanese Production Network (GOTO, Hiromitsu; SOUMA, Wataru) **DP 20-E-049**
- Constructing the Customer Journey Map of Competitive Brands: A Complex Time-series Analysis (MIZUNO, Makoto; AOYAMA, Hideaki; FUJIWARA, Yoshi) **DP 20-E-070**

出版物

『マクロ経済学の再構築 ケインズとシュンペーター』
(吉川 洋 著)
岩波書店、2020年8月

P.66 参照

V-3)

2020年後における電力市場設計の課題

プロジェクトリーダー: 八田 達夫 FF

プロジェクト期間: 2018年10月15日～2020年9月30日

<プロジェクト概要>

我が国では2020年の発送電分離を目指して、電力システム改革が行われつつある。しかし、この課題を通じて、2020年以降のさらなるシステム改革の課題が明らかになり始めた。中でも、調整電力市場、コネクタマネージメント、先物市場の設計等が重要である。

これらの課題研究のために、本研究では工学研究者と経済学研究者が共同研究を行うと共に、欧州の経験を調査し、その成果を最終的には制度改革に資する学術論文および書物として出版することを目的とする。

<主な研究成果>

ディスカッション・ペーパー

- 日本卸電力取引所の前日価格の低下要因に関する分析：再生エネルギー普及とコロナ禍による需要減少を中心として（池田 真介） DP 20-J-040

ポリシー・ディスカッション・ペーパー

- 混雑管理：日本の改革への欧州の経験からの示唆（八田 達夫） PDP 20-P-028

V-4)

人口減少社会における経済成長・景気変動

プロジェクトリーダー: 吉川 洋 FF

プロジェクト期間: 2019年8月5日～2021年7月31日

<プロジェクト概要>

深刻な人口減少が、経済にもたらす影響を明らかにする。人口減少は、高齢化を伴っており、さまざまな経路を通じて経済成長・景気変動に影響を与えると考えられる。このインパクトを、理論・実証の両面、およびマクロ・ミクロの両面から分析する。経済成長理論・ネットワーク理論・個別経済主体に関するミクロ理論などを理論的枠組みとし、労働市場の需給、資産価格形成、家計の消費行動などを分析の対象とする。こうした、多面的な分析により人口減少が日本経済に与える影響を包括

的に明らかにすることを目指す。

<主な研究成果>

ディスカッション・ペーパー

- Winners, Losers, and Near-Rationality: Heterogeneity in the MPC out of a Large Stimulus Tax Rebate (LAPOINT, Cameron; UNAYAMA, Takashi) DP 20-E-067

出版物

『マクロ経済学の再構築 ケインズとシュンペーター』
(吉川 洋 著)
岩波書店、2020年8月

P.66 参照

V-5)

企業金融・企業行動ダイナミクス研究会

プロジェクトリーダー: 植杉 威一郎 FF

プロジェクト期間: 2019年11月11日～2021年10月31日

<プロジェクト概要>

本プロジェクトでは、企業の資金調達や企業行動について、政策的な関心に対応する研究課題を設定し、主にデータを用いた実証分析を通じて成果を挙げる。具体的には、①政府による貸出市場への関与の効果、②企業の参入・退出と金融の果たす役割、③日本における金融仲介や企業間取引ネットワークの機能、④経済政策の不確実性が企業・銀行行動に及ぼす影響を分析対象とする。

<主な研究成果>

ディスカッション・ペーパー

- 責任共有制度のもとでの金融機関の信用保証利用態度—地域金融機関支店長アンケートに基づく分析—（家森 信善） DP 20-J-020
- Differences in the Usage of Credit Guarantees Across Banks (TANG, Xiuwei; UCHIDA, Hirofumi) DP 20-E-029
- Listing Advantages Around the World (UEDA, Kenichi; SHARMA, Somnath) DP 20-E-060

V-6)

人工知能のより望ましい社会受容のための制度設計

プロジェクトリーダー: 馬奈木 俊介 FF

プロジェクト期間: 2020年9月7日～2022年8月31日

<プロジェクト概要>

人工知能技術が現実社会に普及する中で、各国政府におけるAIの普及に対して、人々の生活を豊かにする技術受容をい

かに行うか本格的な議論がこの数年で開始されている。実際に、人間社会を豊かにするためのAI技術の在り方について、各国や関係団体が指針を示している。しかしながら、人間的な価値判断の側面を考慮したうえで、具体的に特定のAIに関連する技術利用の在り方や、問題に対する対処について、経済学及び社会科学などからのエビデンスに基づいた政策立案はなされていない。そこで、本研究課題では、AIの普及に際して、人間的な側面を考慮する必要性が高い具体的な問題や分野において、実証分析に基づいた政策提言を行うことを目指す。

V-7)

COVID-19禍のもとでのマクロ経済: その実証的分析と復興への道程

プロジェクトリーダー: 青山 秀明 FF

プロジェクト期間: 2020年10月12日～2022年9月30日

<プロジェクト概要>

本プロジェクトはCOVID-19の影響のもと、変動するマクロ経済の現況解明を、これまで高精度データの実証的解析で本グループのメンバーが培ってきたCHPCA法やネットワーク科学の手法を動員して、2年間にわたって続ける。

状況は今もこれからも、COVID-19の拡散・(希望的には)収束状況の変化とそれに対応する政策の変更によって変化していく。それを科学的に実証データにもとづいて確実にとらえ、政策の影響を明らかにし、今後のあるべき政策の在り方を解明する。

そのためにはマクロ経済のさらなる深い理解が必要であり、そのために本プロジェクトは以下に述べる5つの研究テーマを設定して、複数の方向から課題にアプローチする。

- ① サプライチェーンデータ上のシミュレーションに基づいたCOVID-19の影響の推計と対策
- ② COVID-19とマクロ経済: 拡大と収束
- ③ 多様なデータの複合的な解析による経済指標の作成と波及効果の予測
- ④ 国際的な貿易と投資のミクロ解析と国際投資連関表の提案
- ⑤ 金融機関内の出入金データから構成される決済ネットワークのダイナミクス

<主な研究成果>

ディスカッション・ペーパー

- Money Flow Network Among Firms' Accounts in a Regional Bank of Japan (FUJIWARA, Yoshi; INOUE, Hiroyasu; YAMAGUCHI, Takayuki; AOYAMA, Hideaki; TANAKA, Takuma; KIKUCHI, Kentaro) DP 21-E-005
- Dual Labor Market and the "Phillips Curve Puzzle" (AOYAMA,

Hideaki; DI GUILMI, Corrado; FUJIWARA, Yoshi; YOSHIKAWA, Hiroshi) DP 21-E-006

V-8)

グローバル化・イノベーションと競争政策

プロジェクトリーダー: 川濱 昇 FF

プロジェクト期間: 2020年12月7日～2023年5月31日

(上記プロジェクト期間のうち、研究活動期間は 2020年12月7日～2022年11月30日とし、データ利用報告期間は 2022年12月1日～2023年5月31日とする)

<プロジェクト概要>

経済のグローバル化が新たな局面を迎え、イノベーションと経済成長における競争政策の重要性が認識されつつある中、欧米のみならず世界各国で従来見られなかった競争法の積極的運用がなされるようになってきた。わが国においても、その経済活力を維持し続けていくためには、市場競争を十分に活用することを通じたイノベーションの更なる推進を欠かすことはできない。諸外国の積極的な運用の中、国際的ハーモナイゼーションに考慮しつつ、わが国の経済の現状において必要な競争政策上の課題とそれへの対処方法を提示することが必要となっている。本プロジェクトでは、こうした諸外国の動向を踏まえつつ、グローバル化とイノベーションの重要性がますます高まる中での競争政策のあり方について、法学・経済学・実務の知見を総合的に活用することにより検討を行なう。

V-9)

ビッグデータを活用した 新指標開発と経済分析: サービス産業を中心に

プロジェクトリーダー: 小西 葉子 SF

プロジェクト期間: 2021年3月8日～2023年8月31日

(上記プロジェクト期間のうち、研究活動期間は 2021年3月8日～2023年2月28日とし、データ利用報告期間は 2023年3月1日～2023年8月31日とする)

<プロジェクト概要>

COVID-19の世界的な感染拡大という非常事態は、ビッグデータの価値とその迅速な活用が未曾有の事態への対処や政策立案に有益であることを示した。本プロジェクトでは、公的統計、行政記録、民間企業のデータを組み合わせ、政策立案・評

価に直接的に影響を与えるような社会的ニーズの高い新指標開発と経済分析を行う。コロナ禍で多くの業種で構造変化が起き、人々は新しい生活様式を余儀なくされ、私たちが知りたいこと・知らないことが明らかになってきた。食品・日用品消費の変化、観光業の今後、日本のEC化率の実態、キャッシュレス化の普及率とその経済効果分析などを対象とし、政府統計を補完するような経済指標を開発・公表することも目指す。

プログラムⅤの研究成果で2020年度の 研究プロジェクトに属さないもの(その他)

<2019年度以前の研究プロジェクトに属するもの>

人工知能のマクロ・ミクロ経済動態に 与える影響と諸課題への対応の分析

プロジェクトリーダー:馬奈木 俊介 FF

プロジェクト期間:2018年3月1日～2020年
2月29日

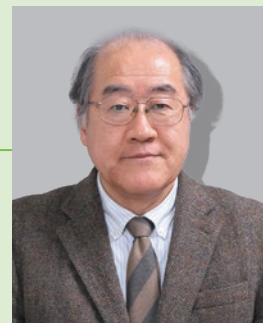
ディスカッション・ペーパー

- 医療における人工知能の受容性 (岩田 和之、森田 玉雪、鶴見 哲也、馬奈木 俊介) DP 20-J-021
- ITサービス化は日本企業の生産性を高めるか:クラウドコンピューティング、CIOと日本企業のパフォーマンス (金 榮愨、乾 友彦) DP 20-J-023
- 労働規制変化による技術利用変化と生産性に対する影響 (田中 健太、馬奈木 俊介) DP 20-J-025

出版物

『AIは社会を豊かにするのか 人工知能の経済学Ⅱ』
(馬奈木 俊介 編著)
ミネルヴァ書房、2021年3月

P.66 参照



日本は1990年代以降、人口一人当たりGDPや実質賃金率の上昇で見て、米英独など他の先進諸国に大きく後れを取った。その主因は全要素生産性(TFP)の停滞と2000年代半ば以降の無形資産や情報通信技術(IT)資本を含む、資本蓄積の著しい停滞であった。本プログラムでは、日本と中国の産業レベルの生産性と要素投入に関するデータベース(JIPデータベースおよびCIPデータベース)や都道府県別に各産業のTFPを計測するR-JIPデータベースを更新・整備し、これらデータベースや企業・事業所レベルのデータを用いた実証分析により、生産性向上と投資促進のためにはどのような政策が必要かを研究する。

研究プロジェクト紹介

VI-1)

東アジア産業生産性

プロジェクトリーダー: 深尾 京司 FF

プロジェクト期間: 2019年4月1日～2021年3月31日

<プロジェクト概要>

今日の日本では、生産年齢人口の減少や資本形成低迷によって、総需要と総供給の停滞が常態化した、低温経済とも呼ばれる状況が続いている。しかし、産業構造や労働・資本投入データに目を凝らすと、介護需要拡大や中国経済減速による輸出低迷など需要の産業間シフト、アベノミクスがもたらした円安(実質実効レートで見て、1970年代初頭以来の円安水準)下での製造業マークアップ率の回復、女性や高齢者の(主に非正規での)就業増加による労働時間の増加と「労働の質」の低下、第4次産業革命とも呼ばれる新しい情報通信技術の普及、高齢化県の所得移転受取と財・サービス移入への依存など、低成長の背後で日本経済が急速な構造変化を遂げつつあることが分かる。適切な成長戦略を設計する上でも、また経済危機のような「黒い白鳥」に備えるためにも、このような構造変化を正確に把握していく必要がある。

本プロジェクトでは、

- 1) 新SNAに対応して全面改定したJIPデータベース2018による、詳細な産業レベルでの、労働・(無形資産を含む)資本投入の変化や全要素生産性上昇の分析
- 2) 新しい中国産業生産性(CIP)データベースによる中国経済減速の分析
- 3) World KLEMS、EU KLEMS、アジアKLEMSプロジェクトやOECDとの連携による、生産性の国際比較分析

- 4) 政府統計企業・事業所データや東アジア上場企業(EALC)データベースの活用による生産性、第4次産業革命、国際競争力、二重構造等の分析
- 5) 都道府県別産業生産性(R-JIP)プロジェクトとの連携による日本の地域間生産性格差の分析等を通じて、日本と東アジア経済の構造変化を的確に把握し、エビデンスに基づく成長戦略の設計に寄与することを目指す。

<主な研究成果>

ディスカッション・ペーパー

- 日本における労働分配率の決定要因分析(羽田 翔、権 赫旭、井尻 直彦) DP 21-J-006
- AI、ロボット技術の進展と企業パフォーマンス(金 榮慤、乾 友彦) DP 21-J-009
- 第四次産業革命に関連した特許出願と雇用と生産性のダイナミクスの関係性(池内 健太) DP 21-J-011
- 外国企業によるM&Aが被買収企業のイノベーション活動に与える影響(鈴木 真也、乾 友彦、池田 雄哉) DP 21-J-012
- IT化と生産性、国内外の企業内資源配分(金 榮慤、乾 友彦) DP 21-J-013
- 設備投資の決定要因に関する『経済産業省企業活動基本調査』調査票情報による実証分析(深尾 京司、金 榮慤、権 赫旭、池内 健太) DP 21-J-014
- アベノミクス下のビジネス・ダイナミズムと生産性上昇:『経済センサス-活動調査』調査票情報による分析(深尾 京司、金 榮慤、権 赫旭、池内 健太) DP 21-J-015
- 電子商取引と企業パフォーマンス、経済のダイナミズム:『経済センサス-活動調査』調査票情報による実証分析(金 榮慤、権 赫旭、深尾 京司、池内 健太) DP 21-J-016
- サービス産業における労働生産性上昇の源泉: JIPデータベースを用いた産業レベルの実証分析、1955-2015年(深尾 京司、牧野 達治) DP 21-J-018
- The Effect of Exporting on Product Compositional Changes and a Manufacturing Plant's Average Product Characteristics in Japan (ITO, Keiko; HAHN, Chin Hee) DP 20-E-038
- Exchange Rates, International Outsourcing, and Firm Export

- Dynamics (INUI, Tomohiko; KIM, Young Gak) **DP 20-E-083**
- Why Do Real Wages Stagnate in Japan and Korea? (CHUN, Hyunbae; FUKAO, Kyoji; KWON, Hyeog Ug; PARK, Jungsoo) **DP 21-E-010**
 - Stakeholder Participation in a Company's Success and Resilience Against Shocks (OKUBO, Toshihiro; WAGNER, Alexander F.; YAMADA, Kazuo) **DP 21-E-011**
 - No Successor, No Success? The Impact of a Little Son on Business Performance (KODAMA, Naomi; MURAKAMI, Yoshiaki; TANAKA, Mari) **DP 21-E-013**
 - In Search of Lost Time: Firm Vintage and Macroeconomic Dynamics (HAMANO, Masashige; OKUBO, Toshihiro) **DP 21-E-015**
 - Regional Banking and Plant Survival in Japan (NISHIOKA, Shuichiro; OKUBO, Toshihiro; TANAKA, Mari) **DP 21-E-021**
 - Establishment Size, Workforce Composition and the College Wage Gap in Japan (IKEUCHI, Kenta; FUKAO, Kyoji; PERUGINI, Cristiano) **DP 21-E-022**
 - Foreign Direct Investment in China and Domestic Activities of Japanese Firms (OKUBO, Toshihiro) **DP 21-E-023**

VI-2)

地域別・産業別データベースの拡充と分析 ー地域間の分業と生産性

プロジェクトリーダー:徳井 丞次 FF
プロジェクト期間:2019年11月11日～2021年10月31日

<プロジェクト概要>

本プロジェクトの目的は、都道府県別産業生産性データベース(Regional-level Japan Industrial Productivity Database、以下R-JIPデータベース)の更新・拡充を行い、それに関連する分析を行うことである。今後人口減少と高齢化が急速に進む日本社会のなかにおいて地方はより厳しい現実と直面することが予想されており、地域の産業立地の特性を見据えつつ地域活性化のための適切な取組みが求められている。2008SNAに対応した新基準に準拠した新しいR-JIPデータベースの作成方法について検討し、2006年から2015年の期間について新基準のR-JIPデータベースを作成し公開する。また、都道府県別産業連関表の作成に取り組む一方で、既に作成した2005年表に基づいて都道府県間の分業構造を明らかにする分析を行う。その他に、土地サービスの投入を考慮した地域別・産業別の生産性比較分析や、地域の生産性に影響を与える要因を抽出する関連した分析を行うことによって、地域間生産性格差の背景に新たな焦点を当てることが期待できる。

<主な研究成果>

ディスカッション・ペーパー

- 新型コロナショックの経済波及効果ー地域間産業連関分析によ

る地域別・産業別分析(徳井 丞次、落合 勝昭、川崎 一泰、宮川 努) **DP 21-J-010**

VI-3)

企業成長のエンジン:因果推論による検討

プロジェクトリーダー:細野 薫 FF
プロジェクト期間:2020年4月1日～2022年3月31日

<プロジェクト概要>

「企業成長のエンジン」を研究テーマと設定した上で、因果関係の識別に配慮した実証分析を通して、政策立案や企業実務において参照可能な含意を抽出する。第一に、「日本が他国に先駆けて直面している経済事象」(例:高齢化、空洞化、事業承継、貿易摩擦、非伝統的金融政策)が企業・産業の成長メカニズムに与える影響を明らかにする。第二に、高粒度データと機械学習手法を用いた因果推論手法を用いて、企業・産業の成長メカニズムの原因と結果に関する因果関係を探索する。

<主な研究成果>

ディスカッション・ペーパー

- Firm Exit during the COVID-19 Pandemic: Evidence from Japan (MIYAKAWA, Daisuke; OIKAWA, Koki; UEDA, Kozo) **DP 20-E-065**

VI-4)

コロナ危機後の資本蓄積と生産性向上

プロジェクトリーダー:宮川 努 FF
プロジェクト期間:2021年1月12日～2023年6月30日
(上記プロジェクト期間のうち、研究活動期間は 2021年1月12日～2022年12月31日とし、データ利用報告期間は2023年1月1日～2023年6月30日とする)

<プロジェクト概要>

本プロジェクトは大きく2つに分けて実施する。ひとつは、今回のコロナ危機に際して医療と経済の側面からの制度面および実証面からの分析である。この分野では、3つの論文を想定している。ひとつは、今回のコロナ危機に際して、日本が感染症対策としてどれくらいの医療資源を有しているか、またこうした危機の際に医療機関の経営状況はどのように変化するかを考察する。2つ目は、外出の自粛要請等に基づく日本の緩やかな感染症対策が、感染者数の減少と経済活動の低下をどの程度もたらしたのか、定量的な分析を試みる。最後は、初期時点で感染拡大が見られながら、他の先進諸国に比べて経済損失を相当低く抑えた韓国の事例について考察を行う。こ

れらは、DPまたはPDPの形で公表される。1つ目のプロジェクトについては、早い段階でDP、PDPのいずれかにまとめて公表するが、新型コロナウイルス感染症の拡大が続くようであれば、3つの論文のフォローアップを行う。

2つ目は、無形資産投資の延長推計とそのデータを使った分析である。無形資産投資の延長推計に関しては、新たに調査する人材教育のデータを用いる。このデータとJIPデータベースなど他のデータを用いた分析としては、無形資産投資を、有形資産投資に付帯する投資と考えた上で、近年の設備投資の減少や生産性計測への影響を調べる分析を行う。また公共性を有する産業の有形資産投資＋無形資産投資に関しては社会的共通資本として捉え、欧米のデータとの比較や経済的影響について考察する。

<主な研究成果>

ディスカッション・ペーパー

- Epidemic and Economic Consequences of Voluntary and Request-based Lockdowns in Japan (HOSONO, Kaoru) [DP 21-E-009](#)

ポリシー・ディスカッション・ペーパー

- コロナショックと日本の医療体制：状況報告と論点整理（増原 宏明、細谷 圭） [PDP 21-P-003](#)
- 新型コロナに対する韓国社会の対応：情報、介入、社会的コスト（権 赫旭、金 榮慤） [PDP 21-P-004](#)

プログラムVIの研究成果で2020年度の 研究プロジェクトに属さないもの(その他)

<2019年度以前の研究プロジェクトに属するもの>

東アジア産業生産性

プロジェクトリーダー：深尾 京司 FF
プロジェクト期間：2017年4月24日～2019年
3月31日

ディスカッション・ペーパー

- Reassessing China's GDP Growth Performance: an Exploration of The Underestimated Price Effect (WU, Harry X.; LI, Zhan) [DP 21-E-018](#)

地域別・産業別データベースの拡充と分析 ー地域別・産業別生産性分析と地域間分業

プロジェクトリーダー：徳井 丞次 FF
プロジェクト期間：2017年7月3日～2019年
6月30日

ディスカッション・ペーパー

- 地域間生産性格差と生産要素の資源配分（川崎 一泰）
[DP 21-J-005](#)



急速な高齢化の進行による人口減少、グローバル競争の強まりに加え、ICT、AIなどの新たなテクノロジーが経済社会を更に大きく変容させることが予想される中で、資源小国である日本がその強みを活かしながら、経済活力・革新を維持・強化し、成長力を高めていくためには、人的資源の活用が大きなカギを握っている。AI時代に相応しい雇用・労働システムの再設計、AIと補完的になるような能力・スキル形成やそのために必要な教育・訓練改革、健康経営など労働者のウェルビーイング向上のための方策のあり方などに関して、独自のデータ・セットの活用も進めながら、多面的・総合的な研究を行う。

研究プロジェクト紹介

VII-1)

AI時代の雇用・教育改革

プロジェクトリーダー：鶴 光太郎 FF

プロジェクト期間：2020年8月17日～2022年7月31日

<プロジェクト概要>

ICT、AIを含めた新たなテクノロジーやデータ・エコノミーが急速に進展するAI時代においては、現下のコロナ危機を乗り越えていくという意味でも、日本経済の抜本的なデジタル・トランスフォーメーションを図っていく必要がある。こうした問題意識の下、「働き方改革×新たなテクノロジーの活用」を目標に掲げ、既成観念にとらわれない、新たな働き方(ギグ・エコノミー等を含む)・雇用システム・労働市場を再設計していくことが必要であり、そのための研究・提言を行う。特に、コロナ危機で急速に進む新たなテクノロジー(デジタル化、テレワーク、ウェブ会議など)の活用・普及・課題などにも着目する。

また、こうした大きな環境変化に適応していくためには、AI時代に求められる人的資本、なかんずく、能力・スキルは何かを見極めていくことが重要である。そのために、認知・非認知能力・スキルを始めとしてさまざまな能力・スキルが就業前教育、就業後訓練を含め全世代にわたる取り組み・経験によりどのような影響を受けるか、また、人生のアウトカム(学歴、職業パフォーマンス、健康状態など)にどのような影響を与えるかなどを包括的に分析し、求められる教育・訓練の改革を提言する。

VII-2)

人事施策の生産性効果と雇用システムの変容

プロジェクトリーダー：大湾 秀雄 FF

プロジェクト期間：2019年7月1日～2021年6月30日

<プロジェクト概要>

人事データなどの企業内業務データ、および企業内でのフィールド実験を活用し、労働経済学や行動経済学の理論的な発展に寄与すると共に、目下の政策課題に照らし合わせて、重要な研究課題の発掘と理論実証両面からの探索的研究を行う。具体的には、以下の13の研究が柱となる。

1. どのような施策や慣習が男女格差を引き起こしているか。
2. 対人スキル研修や組織間移動が生産性やイノベーションにどのような影響を与えているか。
3. 社員の性格特性がメンタルヘルスにどのような影響を与えているか。
4. 業務の可視化を通じたプロセス合理化が生産性にどのような経路でどの程度の影響を与えうるか。
5. 中間管理職はどのような経路で生産性に影響を与えるのか。
6. 継続雇用制度による高齢社員の配置が本人や同僚にどのような影響を与えているか。
7. 禁煙が労働者および同僚の生産性や満足度にどのような影響を与えるか。
8. 食事内容の改善や運動の奨励が労働者の健康と生産性にどのような影響を与えるか。
9. 酒蔵の人的資本やマネジメントとイノベーション(鑑評会結果)の間にどのような関係があるか。
10. (みずほ総合研究所との共同研究)働き方改革の実態調

査と実施効果の検証

11. 労働時間や勤務時間帯、および上司の行動特性がメンタルヘルスに与える影響
12. 社内FA制度など本人の希望に沿った異動の生産性効果
13. 多国籍企業における海外拠点の人材配置とパフォーマンスの関係

これらの研究を通じて、経営と生産性格差の違いの関係、男女格差の原因、非認知能力の労働市場における価値、職場内のピア効果について多くの知見を導くと同時に、どのような労働施策を奨励し、政策的なインセンティブを与えるべきかについても議論を進める。

<主な研究成果>

ディスカッション・ペーパー

- Peer Effects on Job Satisfaction from Exposure to Elderly Workers (KAWATA, Yuji; OWAN, Hideo) DP 20-E-084

ポリシー・ディスカッション・ペーパー

- 働き方・休み方と労働者のメンタルヘルス：一日本企業の勤怠データを用いた検証（佐藤 香織、黒田 祥子、大湾 秀雄）PDP 20-P-019

VII-3)

日本の経済成長と生産性向上のための基礎的研究

プロジェクトリーダー：西村 和雄 FF

プロジェクト期間：2019年7月22日～2021年6月30日

<プロジェクト概要>

これまでの日本の経済成長は高い人的資本を備えた人材がイノベーションを生み出すことによって支えられてきた。しかし日本人の特許出願数は2005年をピークに減少し、さらに、1人当たり国民所得や自然科学系論文発表数も2000年代後半に入ると、低下しつつある。

文部科学省『平成30年版科学技術白書』では、「我が国においては、論文数の減少や、論文の質の高さを示す指標の一つである被引用数Top10%補正論文数の国際シェアの減少など、研究力に関する国際的地位の低下の傾向がうかがえる。2017年3月にNature誌においても、科学論文の国際シェアの低下など、日本の科学研究が近年失速している旨の指摘が掲載された。」と指摘されている。

『科学技術白書』も、「ノーベル賞に繋がる研究成果のみならず、我が国においては、これまでも幅広い分野で優れた研究成果を創出してきたが、これらを支えてきたのは、言うまでもなく『人』である。新たな知識や価値を生み出し、イノベーション創出を加速する人材力は、基盤的な力の要である。」と、人的資

本の蓄積の重要性を強調している。

こうした傾向から、わが国では、教育投資が、国の競争力・経済成長を十分に押し上げていないと考えられる。

本研究は、人的資本の経済成長における役割について、理論、実証の立場から分析を行う。具体的には、経済成長と景気循環の複雑系分析を行い、人的資本が経済成長や景気循環において果たす役割を分析するとともに、教育や子育てが人的資本の蓄積に果たす役割について分析する。

VII-4)

働き方改革と健康経営に関する研究

プロジェクトリーダー：黒田 祥子 FF

プロジェクト期間：2019年8月12日～2021年7月31日

<プロジェクト概要>

労働市場や企業における働き方が労働者のメンタルヘルスや企業の健康経営とどのような関係性を持っているかを実証的に明らかにする。さらに、日本経済が直面する超高齢化社会のもとで、労働者や企業がいかに持続的に健康で効率的な人的資本形成を行い、生産性の向上に結び付けられるかも実証的に検討する。本プロジェクトでは労働経済学とともに産業保健心理学・医学・疫学などの知見を生かしながら、企業や従業員に関するさまざまなマイクロデータを用いて、学術的・政策的な知見・含意を導出する。

<主な研究成果>

ディスカッション・ペーパー

- Working from Home: Its Effects on Productivity and Mental Health (KITAGAWA, Ritsui; KURODA, Sachiko; OKUDAIRA, Hiroko; OWAN, Hideo) DP 21-E-024

VII-5)

人手不足社会における外国人雇用と技術革新に関する課題の実証研究

プロジェクトリーダー：劉 洋 F

プロジェクト期間：2020年9月1日～2023年8月31日

<プロジェクト概要>

少子化に伴う人手不足の中、Society 5.0を実現するために、「外国人材の活躍推進」や、新技術の普及などが挙げられている。本研究プロジェクトでは、人手不足の問題を解決するために、外国人受け入れの効果と課題を検証するとともに、外国人の労働供給に不確実性が生じる際に、求められる技術革新

について分析を試みる。具体的には、外国人雇用が企業、産業などに与える影響、外国人受入制度、企業内での外国籍ITエンジニアの採用・育成、海外在住者の日本での就職意向と日本企業の採用意識、外国人女性の就労、結婚、出産の選択などについて研究を行う。加えて、外国人労働者が受け入れ国の労働市場に与える影響と比較するために、労働節約型の技術革新などが雇用に与える影響も分析する。これらの分析を通じて、人手不足対策として、外国人受け入れと新技術普及の分野で、今後の政策形成に生かせるような実証的なエビデンスを提供することを目指す。

<主な研究成果>

ポリシー・ディスカッション・ペーパー

- 選択的な外国人受け入れ政策の下にある外国人住民の実態（劉 洋、萩原 里紗） PDP 21-P-008

プログラムVIIの研究成果で2020年度の 研究プロジェクトに属さないもの(その他)

<プロジェクトに属さない独立したもの>

ディスカッション・ペーパー

- Global Competition, Worker Retention, and Immigrant Employment in Manufacturing SMEs (HASHIMOTO, Yuki)
DP 20-E-071

<2019年度以前の研究プロジェクトに属するもの>

日本在住の外国人の就労、 移住と家庭に関する実証研究

プロジェクトリーダー: 劉 洋 F

プロジェクト期間: 2018年3月26日～2020年
2月29日

ポリシー・ディスカッション・ペーパー

- 誰が去り、誰が残ったのか：金融危機後に日本から帰国したブラジル人のセレクション（橋本 由紀）
PDP 20-P-013

労働市場制度改革

プロジェクトリーダー: 鶴 光太郎 FF

プロジェクト期間: 2018年4月2日～2020年
3月31日

ディスカッション・ペーパー

- 認知能力及び非認知能力が賃金に与える影響について（安井 健悟、佐野 晋平、久米 功一、鶴 光太郎）
DP 20-J-024



日本経済が抱える大きな問題に垣根の存在がある。これまで RIETI は正規労働者・非正規労働者の垣根、職場における男女の垣根など、経済におけるさまざまな垣根の問題を扱ってきた。また、学問の世界も垣根の問題に悩まされ続けてきている。文系理系の垣根、法学と経済学の垣根、マクロ経済学とミクロ経済学の垣根、理論と実証の垣根など、さまざまな垣根を壊すことが、イノベーション力を高め、組織の高度化を図る上でも不可欠だろう。融合領域プログラムでは、このような視点に立ち研究に取り組み、理系分野や法学、政治学、社会学など異分野の新しい知見を経済学・政策研究に取り込む。

研究プロジェクト紹介

VIII-1)

人々の政治行動に関する実証研究 —経済産業面での政策的課題に対する エビデンスベースの処方箋の提示を目指して

プロジェクトリーダー: 尾野 嘉邦 FF

プロジェクト期間: 2018年5月7日～2020年6月30日

<プロジェクト概要>

本研究プロジェクトでは、経済状況やリスク、脅威といった社会情勢や、政策や表情、ジェンダーといった政治家自身の発するメッセージや情報が、政策の行方を左右する有権者の行動や政治的選択にどう影響を与えているのか、ひいてはそれが政治家自身の行動をどう規定しているのかについて、テキストデータやサーベイ実験を用いて実証的に分析する。

<主な研究成果>

ディスカッション・ペーパー

- Pernicious Bias and Judicial Illegitimacy: Do Americans Perceive Diverse Judges as Inherently Biased? (ONO, Yoshikuni; ZILIS, Michael A.) [DP 20-E-028](#)
- Gender Differences in Campaigning under Alternative Voting Systems: Evidence from a Quantitative Text Analysis of Election Manifestos in Japan (ONO, Yoshikuni; MIWA, Hirofumi) [DP 20-E-034](#)
- Diplomatic Protest and Patriotism: The Effect of Foreign Voices on Japanese Public Opinion (KAGOTANI, Koji; ONO, Yoshikuni) [DP 20-E-046](#)
- Ascriptive Characteristics and Perceptions of Impropriety in the Rule of Law: Race, Gender, and Public Assessments of Whether Judges Can Be Impartial (ONO, Yoshikuni; ZILIS, Michael A.) [DP 20-E-063](#)
- Ignorance is Bliss? Age, Misinformation, and Support for

Women's Representation (BURDEN, Barry C.; ONO, Yoshikuni)

[DP 20-E-066](#)

- How Do Voters Evaluate the Age of Politicians? (McCLEAN, Charles; ONO, Yoshikuni) [DP 20-E-069](#)
- Why Beauty Matters: Candidates' Facial Appearance and Electoral Success (ONO, Yoshikuni; ASANO, Masahiko) [DP 20-E-072](#)

VIII-2)

企業統治分析のフロンティア

プロジェクトリーダー: 宮島 英昭 FF

プロジェクト期間: 2019年9月2日～2021年8月31日

<プロジェクト概要>

スチュワードシップ・コード、コーポレート・ガバナンス・コードの実施を通じて、日本企業の統治制度改革は、形式的な整備から実効性の確保という新たな段階に入った。今後、この統治制度改革を通じて、日本企業の収益力(稼ぐ力)を改善して行くためには、改革が、企業のイノベーション能力の基礎であるR&D投資、人的資本投資を促進し、また積極的なM&A、事業再組織化、過度な負債圧縮の回避などに寄与する必要がある。もっとも、これまで、所有構造の変化、取締役会の改革といった統治制度の変化が、実際にこうした企業行動にどの程度、いかなるルートを通じて影響を与えるのかについて、十分に解明されてきたとは言えない。また、株主主権をモデルとする改革が、長期関係を基礎に置く他の経済制度(雇用システム)と実際に整合的に機能するのか、さらに、こうした市場による経営の規律の促進が、近視眼的な経営を生み出すという可能性も検討される必要がある。本プロジェクトの課題は、こ

うした問題意識から、現在の日本企業の統治制度の機能を、企業のイノベーション、M&A、事業再組織化、財務政策などの企業行動に焦点をあてて解明する点にある。

<主な研究成果>

ディスカッション・ペーパー

- 日本企業のESGに対する意識調査（佐々木 隆文、花枝 英樹）
DP 21-J-004

RIETI-ECGI-WBF連続ウェビナー

「新しい企業概念(The New Concept of Corporation)」 第1回

「企業における目的(パーパス)の再定義・実現と日本の法制度・事業活動へのインプリケーション」(2021/3/16) [P.78参照](#)

VIII-3)

市場高質化による自己増殖型変化への対応の 文理融合研究

プロジェクトリーダー:古川 雄一 FF

プロジェクト期間:2020年7月20日~2022年6月30日

<プロジェクト概要>

現代の日本経済が直面している大きな問題は「垣根」という言葉で表現できる。人文科学と自然科学の間、法学と経済学の間、理論と実証の間など、社会のさまざまな部分を隔てる垣根を取り払わずに、力強く健全な発展と成長は考えられない。COVID-19の発生とIT-AIセクターの急速な技術進歩に直面して、必然的に社会は劇的な変化をとげると考えられる。このような状況において、社会的活動と科学的活動が高質な市場によってつながる新しいソシオ・エコシステムを開発することが急務である。このプロジェクトは、そのようなエコシステムの青写真を描くことを目的とする。

市場の質理論の中核には、「高質な市場が健全な開発と成長の前提条件である」、「優れた市場インフラは、高質な市場の前提条件である」という2つの命題がある。市場インフラは、経済的要素だけでなく法律や制度、さらには科学技術や文化的慣習など、市場における人々の活動を取り巻く幅広い要素を包含する概念である。この研究プロジェクトでは、急速に進化するAIとCOVID-19の感染拡大を指数関数的な自己増殖型変化としてとらえ、市場の質理論の観点から、現代社会が抱えるさまざまな問題を研究し、ソシオ・エコシステムの青写真を提示する。

<主な研究成果>

ディスカッション・ペーパー

- FCPA and Market Quality in Emerging Economies (DASTIDAR, Krishnendu Ghosh; YANO, Makoto) [DP 20-E-087](#)

VIII-4)

文理融合による 新しい生命・社会科学構築にむけた 実験的試み

プロジェクトリーダー:広田 茂FF

プロジェクト期間:2020年8月3日~2022年7月31日

<プロジェクト概要>

失われた10年と言われた時代から20年が経過し、いまだ、わが国は真の成長経路を構築できないでいる。この間に起きたさまざまな危機現象は、新しい自然科学的現象に社会や社会科学が未だ対応できないことに起因する。金融危機の背後にはマシーン・トレーディングなど金融技術の機械化があり、原子力発電所事故が大震災からの回復を大幅に遅らせ、今、また未知のウィルスによって世界中が悩まされている。特に、文理の高い垣根を温存してきた我が国では、政治、経済、社会のあらゆる側面において、本当の意味での文理融合を図らない限り、今の危機を乗り越えていくことは難しい。

こうした認識のもと、本研究参加者たちは、人文系を除外した旧来の科学技術基本法の改正を提唱し、JSTの研究会をはじめ、さまざまな機会を利用し、人文社会科学と自然科学が一体化した科学技術・イノベーション政策の重要性を訴えてきた。幸い2020年6月、科学技術基本法が科学技術・イノベーション基本法として改正され、現代科学が一体となった成長政策を作る基盤がよいよ整ったと言える。

この中で、本プロジェクトは、文理融合による新しい生命・社会科学の構築を目指し、世界にも類のない生命科学と社会科学にまたがるコホートデータの構築に貢献し、データを最大限に活用し、さまざまな最先端研究を行う。それをもって科学技術・イノベーション法の導入という新しい国家戦略牽引の一助となる。

VIII-5)

新型コロナウイルスの登場後の 医療のあり方を探求するための基礎的研究

プロジェクトリーダー: 関沢 洋一 SF

プロジェクト期間: 2020年8月3日～2022年7月31日

<プロジェクト概要>

本研究プロジェクトでは、医療や健康に関してエビデンス（因果関係の存在を示せるような証拠）を提示できるようなデータを蓄積し、蓄積したデータに基づいて医療や健康に関連する取り組みの効果についてのエビデンスを積み重ねていくことを目指している。以下のとおり研究を行う。

1. 新型コロナウイルスに巻き込まれている日本において、心身の健康状態を把握できる質問と、社会的接触・経済的状況・外出状態などを把握できる質問に同時に回答してもらうアンケート調査票を作成し、オンライン上のアンケート調査を行う調査会社のモニター約1万人を対象として、2020年10月以降、3カ月に1度の頻度で、1年間にわたって受けてもらい、パネルデータを構築する。
2. セルフヘルプによるインターネット型医療の効果検証として次の研究を行う。「慢性の痛み」を含む「医学的に説明のつかない身体症状」について、インターネット認知行動療法によって、医療機関に通院することなく、また、専門家のアドバイスなしで、症状の改善が見られるか、労働生産性の改善が見られるか、をランダム化比較試験によって検証する。同様に、バーチャル・リアリティを活用した新タイプのオンライン認知行動療法によって、うつ症状のどの程度の改善が見られるか、労働生産性の改善が見られるか、をランダム化比較試験によって検証する。

特定健康診査のデータを使って、①特定健康診査に基づく特定保健指導が循環器疾患リスクの軽減につながっているかという因果関係の検証を行う、②運動や食生活の改善が血圧やコレステロールの改善につながるかを検証する。

<プロジェクト概要>

本研究プロジェクトでは、第4次産業革命による技術革新が民主主義に与える影響について、人々の認知・判断過程におけるビジュアル・イメージやフェイク情報の影響とメカニズムを解明し、社会において合理的ではない誤った判断が下されてしまうことを防ぐための対処法について探るとともに、リスク軽減と社会的包摂のための投票技術の研究開発といった、民主主義における新技術の応用可能性について検討する。併せて、外国人労働者の受入れや女性の社会進出の推進といった経済産業面での政策的課題に対するエビデンスベースの処方箋を提示することを目指す。

プログラムⅧの研究成果で2020年度の 研究プロジェクトに属さないもの(その他)

<プロジェクトに属さない独立したもの>

公益財団法人日仏会館公開オンラインワークショップ

"The COVID-19 Outbreak and Public Health Issues: an Interdisciplinary Approach" (2020/12/16-17) [P.75参照](#)

<2019年度以前の研究プロジェクトに属するもの>

市場の質の法と経済学に関する エビデンスベースポリシー研究

プロジェクトリーダー: 古川 雄一 FF

プロジェクト期間: 2018年3月12日～2020年2月29日

ディスカッション・ペーパー

- 原子力発電所事故と日本人の価値観（広田 茂、要藤 正任、矢野 誠） [DP 20-J-029](#)
- Declining Demand and Product Quality: An Empirical Study of the Japanese PC Monitor Market (OTA, Rui; ZHANG, Lili) [DP 20-E-033](#)
- Endogenous Business Cycles with Bubbles (ASAOKA, Shintaro) [DP 20-E-041](#)
- Reserve Requirements and Bubbles (ASAOKA, Shintaro) [DP 20-E-042](#)
- Three Minds Equal Manjushari's Wisdom: An Anatomy of Informal Social Learning with Heterogenous Agents by the Hierarchical Bayesian Approach (SATO, Masahiro; OTA, Rui; ITO, Arata; YANO, Makoto) [DP 20-E-092](#)

VIII-6)

先端技術と民主主義： 技術の進展と人間社会の共生を目指して

プロジェクトリーダー: 尾野 嘉邦 FF

プロジェクト期間: 2020年11月2日～2023年4月30日

（上記プロジェクト期間のうち、研究活動期間は 2020年11月2日～2022年10月31日とし、データ利用報告期間は 2022年11月1日～2023年4月30日とする）



政策評価プログラムでは証拠に基づく政策立案(Evidence-Based Policy Making, EBPM)を加速させるため、EBPMの在り方に関する研究と個別政策の評価に関する研究を並行して進める。EBPMの在り方に関する研究については、政策担当者がどのように証拠を準備すべきか、その証拠を基にどのように政策立案を行うべきか、現実に証拠に基づく政策立案はどの程度実行されているのか、などをメタ視点より分析する。個別政策の評価に関しては、高質なマイクロデータとマイクロ実証経済学的手法を用いて、教育、労働、租税、社会保障などの分野において政策立案に資する信頼性の高い証拠を提供する。

研究プロジェクト紹介

IX-1)

日本の労働市場に関する実証研究

プロジェクトリーダー: 川口 大司 FF

プロジェクト期間: 2020年6月22日～2022年5月31日

<プロジェクト概要>

本研究プロジェクトでは、雇用の安定性、男女間の経済格差の縮小、最低賃金、新技術の導入の雇用への影響という4つの視点より日本の労働市場の分析あるいは労働市場政策の評価を行い、政府の労働市場政策の立案に際して基礎的なファクトを提供するとともに、各種の政策がどのような効果を持ったのかを検証することを通じて、エビデンスに基づく政策形成(EBPM)の推進に資することを目標とする。研究に当たっては大規模データと計量経済学的手法を用いて、信頼のける因果推論を行うことを目指す。

<主な研究成果>

ディスカッション・ペーパー

- Estimating the Effects of the Minimum Wage Using the Introduction of Indexation (KAWAGUCHI, Daiji; MORI, Yuko) DP 21-E-007
- The Effect of Public-Sponsored Job Training in Japan (HARA, Hiromi) DP 21-E-027

IX-2)

総合的EBPM研究

プロジェクトリーダー: 関沢 洋一 SF

プロジェクト期間: 2018年10月29日～2025年3月31日

<プロジェクト概要>

2018年度にRIETI内に創設されたEBPMユニットでの研究のほか、政策効果をデータに基づいて実証的に分析する研究を中心に、他の研究プロジェクトに属しないものを、本プロジェクトにおいて幅広く行う。すなわち、本プロジェクトは、RIETIにおけるEBPM研究の受け皿という位置づけのものである。

研究の過程で経済産業省などの政策実務者やRIETI内外の研究者と連携するとともに、場合によっては政策実務者をプロジェクトのメンバーに加え、EBPMに関連するスキルの涵養を図る。

<主な研究成果>

ディスカッション・ペーパー

- ものづくり補助金の効果分析：回帰不連続デザインを用いた分析 (関沢 洋一、牧岡 亮、山口 晃) DP 20-J-032

ポリシー・ディスカッション・ペーパー

- 「なでしこ銘柄」選定の株価への短期的効果 (角谷 和彦) PDP 21-P-007

IX-3)

日本におけるエビデンスに基づく 政策形成の定着

プロジェクトリーダー: 山口 一男 VF

プロジェクト期間: 2019年4月15日～2021年3月31日

<プロジェクト概要>

本研究プロジェクトに先行する「日本におけるエビデンスに基づく政策の推進」では、日本においてエビデンスに基づく政策形成(EBPM)を進めるための方策を検討してきた。また国および地方自治体においても、2017年以降EBPMが推進されて来ている。米英をはじめとした海外の先進事例の普及は国内でも進展してきたものの、①日本における既存の政策形成・評価のなかにEBPMをどう取り入れていくか、②個別事業のなかでEBPMをどのように進めていくか、③行政機関と研究者の連携をどのように進めていくか、といった課題が残されている。

そこで本プロジェクトでは、第一に、日本でEBPMを定着させるための研究を行う。具体的には、海外事例の研究を進めながら、日本でEBPMを導入するための制度設計および行政職員がEBPMを進める際の指針をとりまとめる。第二に、行政官と研究者がwin-winの関係を構築するために必要となることを整理すると共に、マッチングの機会をつくることによって、EBPMの個別事例を創出する。第三に、EBPMに対する政策立案者、研究者、行政現場および世の中への理解を深めるため、研究会を定期的に開催すると共に、研究成果をシンポジウムやBBLセミナー、コラム等の形で発信していく。

<主な研究成果>

ディスカッション・ペーパー

- The Effect of Computer Assisted Learning on Children's Cognitive and Noncognitive Skills: Evidence from a Randomized Experiment in Cambodia (NAKAMURO, Makiko; ITO, Hirotake) [DP 20-E-074](#)
- Month-of-Birth Effects on Skills and Skill Formation (YAMAGUCHI, Shintaro; ITO, Hirotake; NAKAMURO, Makiko) [DP 20-E-079](#)

ポリシー・ディスカッション・ペーパー

- 日本の地方自治体における政策ナッジの実装：横浜市行動デザインチーム (YBiT) の事例に基づく体制構築と普及戦略に関する提案 (高橋 勇太、植竹 香織、津田 広和、大山 紘平、佐々木 周作) [PDP 20-P-026](#)

RIETI EBPM シンポジウム

「エビデンスに基づく政策立案を実践するために」
(2020/12/23)

[P.4/P.76参照](#)



IX-4)

これからの法人に対する課税の方向性

プロジェクトリーダー: 佐藤 主光 FF

プロジェクト期間: 2019年6月3日～2021年11月30日

<プロジェクト概要>

わが国では、安倍政権の下、グローバル経済の中で、日本が強い競争力を持って成長していくことを掲げ、法人実効税率の引下げや租税特別措置の改正、外形標準課税の拡大などを通し、「成長志向の法人税改革」を進めてきた。他方で、グローバル化などにより、目まぐるしく経済状況は変化しており、これからの望ましい税制の在り方を模索していく必要がある。

本研究では、(1)これまでの法人税改革の効果やこれからの課税について、企業アンケート等をもとにした定量的な分析・評価を行うとともに、(2)さらに成長志向を強めていくために、これからの法人に対する課税の在り方について研究会を通し、幅広く検討を行う。

IX-5)

大規模行政データを活用した 教育政策効果のミクロ実証分析

プロジェクトリーダー: 田中 隆一 FF

プロジェクト期間: 2020年7月13日～2022年6月30日

<プロジェクト概要>

本研究では、子どもの人的資本形成過程の中でも特に初等中等教育に焦点を当て、教育制度や教育政策が人的資本形成に与える因果効果を実証的に明らかにすることを目的とする。この目的を達成するために、文部科学省の全国学力・学習状況調査の児童生徒個票や国勢調査といった大規模な政府統計ミクロデータと、既存調査および独自調査を組み合わせ

分析し、教育政策に関する様々な仮説検証を行う。

本研究の分析テーマは、人口減少局面における①最適な学校統廃合方法の検証、②学校の説明責任と裁量権強化の効果検証、③学校内での相対学力の変化が学力や問題行動に与える影響分析、④教育行政パネルデータを用いた子どものそだちに対する教育効果検証、⑤高校生の進路選択の動学分析、⑥義務教育制度の変更が人的資本形成に及ぼす長期的な影響分析、からなる。これらの教育政策及び制度変更の人口減少局面における効果を定量的に検証することで、学術的価値の高い研究成果を産出するとともに、日本において望ましい初等中等教育のあり方に対する経済学からの知見を提供する。

研究プロジェクト紹介

SP-1)

気候変動枠組条約下での 温室効果ガス削減事業を巡る国際動向調査

プロジェクトリーダー: 戒能 一成 F

プロジェクト期間: 2011年9月14日～

<プロジェクト概要>

気候変動枠組条約下で日本・EUなどが参加する京都議定書においては2008～2012年の第一約束期間内において、自国内での排出削減に加え排出権取引・JI・CDMなど「京都メカニズム」が排出削減目標の達成に利用可能とされている。このうち排出削減投資による削減分を移転するCDM・JIについては、制度のあり方について様々な問題点が指摘されており関連する制度改正が検討されているところである。

また、2010年メキシコ・カンクンでのCOP-16では、米国・中国などが参加する自主的な削減目標の提示と多国間検証を基本とした京都議定書と異なる「新たな枠組み」がカンクン合意として取りまとめられたが、当該新枠組みにおいて京都メカニズム類似の「新メカニズム」を設けることは決定したものの、その内容はなお議論中の状況にある。

本調査においては、京都議定書における「京都メカニズム」の今後の制度改正状況と、新たな枠組みにおける「新メカニズム」の検討状況を調査・分析・評価することにより、今後の効率的で実効ある温室効果ガス削減方策のあり方について国際政策提言を行うことを目的とする。

SP-2)

RIETIデータ整備・活用

プロジェクトリーダー: 関口 陽一 SF

プロジェクト期間: 2015年4月1日～

<プロジェクト概要>

RIETIが所有するデータには、通常研究機関がデフォルトとして所蔵している比較的低コストで入手可能なデータに加えて、各プロジェクトで研究遂行のために購入した大規模データや、プロジェクトの過程及び成果物として形成されたデータ等(アンケート調査の結果も含む)がある。

本プロジェクトの目的は、これらのデータセットを基礎として、利用者のより効率的なデータ使用を可能とするためのインフラ整備を行うことである。また、研究者のみならず社会的にも新たな知見を与え得るデータ等の共有可能性を視野に入れ、その手続きを検討する。併せてこれらを利用した研究成果や概括的な情報を公表することで政策現場での活発な議論を喚起することも目的としている。

SP-3)

産業政策の歴史的評価

プロジェクトリーダー: 岡崎 哲二 FF

プロジェクト期間: 2018年10月9日～2020年9月30日

<プロジェクト概要>

通商産業省および経済産業省が立案・実施してきた主要な産業政策について、経済分析と歴史研究のアプローチを統合してその定量的評価を行う。具体的なプロジェクトとしては、第一に、小規模企業を対象とした政策金融を取り上げる。長い歴史を持つ小企業向けの政策金融制度として「小規模事業者経営改善資金」(マル経融資)がある。1973年に発足したこの制度は商工会議所等の経営指導と推薦をもとに国民金融公庫

(日本政策金融公庫)が無担保・無保証で小企業等に経営改善資金を低利融資するものである。特に借入れ制約が大きいと考えられる小企業等を対象としていることから、この制度は借入れ制約を緩和することを通じて小企業との経営改善と成長に寄与する可能性を持っている。本プロジェクトではマル経融資に関するマイクロ・データを利用して、この可能性を検証する。第二に、1960年代に実施された地域開発政策を取り上げる。1962年に閣議決定された全国総合開発計画とそれに基づく新産業都市建設促進法(1962年)、工業整備特別地域整備促進法(1964年)は、産業の空間配置を政策的に変更する大規模な試みであり、政策決定にあたって地方自治体や政治家からのさまざまなインプットが行われたこともあって、産業政策研究だけでなく、経済史、空間経済学、政治経済学の視点からも興味深い対象といえる。本プロジェクトでは体系的な市町村別・産業別統計データを、歴史的情報と統合することを通じて全国総合開発計画と新産都市等、関連する政策の歴史的評価を試みる。

<主な研究成果>

ディスカッション・ペーパー

- Firm Growth, Financial Constraints, and Policy-Based Finance (DORE, Tim E.; OKAZAKI, Tetsuji; ONISHI, Ken; WAKAMORI, Naoki) DP 20-E-082

SP-4)

新技術と経済成長・産業構造に関する研究

プロジェクトリーダー: 楡井 誠 FF

プロジェクト期間: 2018年11月12日～2020年10月31日

<プロジェクト概要>

情報技術の進展に伴う経済構造の長期的変質は、マクロ経済学に新たな挑戦を投げかけている。従前のトレンドである製造業からサービス業への産業構造変化は進展の度合いを増し、就業構造のさらなる変化が予想されている。また、産業が価値を獲得するビジネスモデルは大きな転換を始めつつあり、産業・就労構造の不連続的変化が予想されている。このような新しい動きの中で望ましい政策を構想・評価するために、製造業を念頭に構成されたGDP統計や生産性指標を補完するような統計と洞察が求められている。本プロジェクトでは技術進化のトレンドを見据えながら、中長期の政策立案に資するマクロ経済モデルや指標の構築を目指す。

SP-5)

産業再生と金融の役割に関する政策史研究

プロジェクトリーダー: 武田 晴人 FF

プロジェクト期間: 2019年2月12日～2021年1月31日

<プロジェクト概要>

政策史・政策評価プログラムの趣旨に沿って、本プロジェクトでは、1990年代から2000年代にかけて展開された産業再生政策を、金融との関連にも着目しながら歴史的に回顧し、評価する。具体的には、下記のテーマに分けて検討する。

第一に、当時の日本経済をとりまく国際環境と日本経済の実態、経済政策の推移について、総括的に回顧し、メンバー間での歴史認識の共有や異同に関する議論を行う。その際には、アメリカなど海外の政策当局者に近い立場から見た見解も視点として組み込まれ、考察の対象となる。経済政策としては、経済産業政策のほか、財政・金融政策、デフレ対策などが含まれる。

第二に、上記の政策のなかでも、とくに産業再生政策に焦点をあて、政策目的、政策手段、実施内容、政策効果について、金融的な側面や金融の役割にも着目して分析する。経産省のほか、財務省、旧産業再生機構、旧産業革新機構、産業界・企業の関係者にヒアリングを行い、研究材料とする。国際比較の視点からも、日本の産業再生政策の特徴を把握する。

第三に、上記の第一、第二の研究を統合して、日本経済に関する全体的な視点から、産業再生政策の意義をとらえる。当時の日本が置かれた状況、政策の選択の幅はどのように存在し、日本は何をどのように選択していったのか、あるいはできなかったのか。また、官民のビジョンの相違、官民の役割分担、相互チェック機能やガバナンスなどの観点から分析を加える。

SP-6)

日本の政策不確実性に関する実証研究

プロジェクトリーダー: 伊藤 新 F

プロジェクト期間: 2019年7月1日～2021年6月30日

<プロジェクト概要>

この研究プロジェクトの目的は次の2つである。

1. 日本の個別政策に関する不確実性指数を作る。具体的には社会保障、年金制度、医療保険制度、介護保険制度、税制、政府の財政支出、労働市場制度、環境規制、消費者保護規制、そして金融規制に関する不確実性指数である。
2. これらの新たに作られた指数と企業レベルのデータを使い、それぞれの政策分野において政策の不確実性と企業の経営意思決定や生産性との関係について実証的に分析

する。

実証分析で得られた結果から企業の生産性に対する政策的含意を引き出す。

SP-7)

グローバル・インテリジェンス・プロジェクト (国際秩序の変容と日本の中長期的競争力に関する研究)

プロジェクトリーダー: 渡辺 哲也 副所長

プロジェクト期間: 2021年1月18日～2023年6月30日

(上記プロジェクト期間のうち、研究活動期間は 2021年1月18日～2022年12月31日とし、データ利用報告期間は 2023年1月1日～2023年6月30日とする)

<プロジェクト概要>

本プロジェクトは、今後日本経済が直面するおそれのある内外のさまざまなリスクを俯瞰するとともに、今後の新たな国際秩序像を探る。特に今後の国際秩序形成の方向を大きく左右する4点、すなわち、①米欧中国等主要国における経済安全保障と産業政策・科学技術政策の動向、様々なステークホルダーの動き、②中国経済の動向(イノベーション体制の強化とデジタル化、対外拡張、統治強化と構造改革等)について2010年代の総括と2020年台の展望)、③EUが気候変動政策の柱と位置付ける国境炭素税の日本経済・産業に与える経済影響、国際経済法の整合性等、④デジタル・イノベーション、について研究を行う。

プロジェクトの実施にあたっては経済産業省など関係省庁、国内外の政策担当者との意見交換や分野横断的な知見の共有に努める。

<主な研究成果>

RIETI公開BBLウェビナー

【グローバル・インテリジェンス・シリーズ】

「複合リスクガバナンス-新興・再興感染症に対する国際的国内的対応」(2021/2/5)

「SDGsと自主的持続可能性基準(VSS)」(2021/2/12)

「中国モバイルペイメントの応用状況と関連する政策動向-レストランのDXから中小企業向けと信判断まで」(2021/2/18)

「中国のイノベーション力の評価-特許のマクロデータにみる」(2021/2/19)

「激動する中東情勢-トルコのアプローチを手掛かりに」(2021/2/24)

その他の特別な研究成果

<プログラム・プロジェクトに属さない独立したもの>

ディスカッション・ペーパー

- 中国における行政許認可制度改革に関する一考察——集中許認可方式とリーンガバメント方式の比較分析 (孟 健軍、潘 墨涛) DP 20-J-026
- 土地利用や近接性の変化が東京都内の不動産価格に与える影響の分析 (斎澤 隆司) DP 20-J-028
- 大都市から地方への移住における社会経済的要因の影響-Elastic net回帰を用いたポアソン重力モデルによる分析- (荒川 清晟、野寄 修平) DP 20-J-033
- コロナ危機下の在宅勤務の生産性: 就労者へのサーベイによる分析 (森川 正之) DP 20-J-034
- 処置の安定性条件に問題がある場合での合成対照群を用いた処置効果評価手法の開発 (戒能 一成) DP 20-J-035
- 日本人はコロナ禍をどのように過ごしたか? : 消費ビッグデータによる購買行動分析 (小西 葉子、齋藤 敬、石川 斗志樹、金井 肇、伊藤 直哉) DP 20-J-037
- 誰が入学しているのか: 大学難易度と推薦・AO入試の役割 (小野塚 祐紀) DP 20-J-039
- 新型コロナと在宅勤務の生産性: 企業サーベイに基づく概観 (森川 正之) DP 20-J-041
- 2019年・財政検証と年金財政に関する一考察——経済前提の一つであるTFP上昇率の評価を巡って—— (小黒 一正) DP 20-J-042
- 2020年8月か9月に旅行に行った者は新型コロナウイルス感染と診断されやすかったか? (越智 小枝、関沢 洋一、宗 未来) DP 20-J-043
- 第3波直前の我が国における、コロナ禍でのうつ状態と自殺念慮に関するリスクの検討: 「新型コロナウイルス流行下における心身の健康状態に関する継続調査」第一回調査結果より (宗 未来、関沢 洋一、越智 小枝、橋本 空、傳田 健三) DP 20-J-044
- 自然実験としてのアルゴリズム: 機械学習・市場設計・公共政策への統一アプローチ (成田 悠輔、栗飯原 俊介、齋藤 優太、松谷 恵、矢田 紘平) DP 20-J-045
- 旅行と新型コロナ感染リスク: 第三波前の個票データによる分析 (中田 大悟) DP 21-J-001
- 新型コロナの影響下での在宅勤務の推進と男女の機会の不平等 (山口 一男、大沢 真知子) DP 21-J-002
- ワクチン接種意向の状況依存性: 新型コロナウイルス感染症ワクチンに対する支払意思額の特徴とその政策的含意 (佐々木 周作、齋藤 智也、大竹 文雄) DP 21-J-007
- 林業政策の経済分析 (山下 一仁) DP 21-J-008
- 中国における「ビジネス環境の最適化」の制度設計に関する考察——政策実践の学習と拡散の試行錯誤プロセスからみたガバナンス体制と仕組み (孟 健軍、潘 墨涛) DP 21-J-019
- The Credit Spread Curve Distribution and Economic Fluctuations in Japan (OKIMOTO, Tatsuyoshi; TAKAOKA, Sumiko) DP 20-E-030
- Heterogeneous Vulnerability to the COVID-19 Crisis and Implications for Inequality in Japan (KIKUCHI, Shinnosuke; KITAO, Sagiri; MIKOSHIBA, Minamo) DP 20-E-039
- Covid-19 Pandemic and Politics: The Cases of Florida and Ohio (YANO, Makoto) DP 20-E-040
- Overinvestment and Macroeconomic Uncertainty: Evidence from Renewable and Non-Renewable Resource Firms (IRAWAN, Denny; OKIMOTO, Tatsuyoshi) DP 20-E-059
- How the Coronavirus Crisis Affected Japanese Industries: Evidence from the Stock Market (THORBECKE, Willem) DP 20-E-061

- Reforming Inefficient Energy Pricing: Evidence from China (ITO, Koichiro; ZHANG, Shuang) **DP 20-E-062**
- Who Suffers from the COVID-19 Shocks? Labor Market Heterogeneity and Welfare Consequences in Japan (KIKUCHI, Shinnosuke; KITAO, Sagiri; MIKOSHIBA, Minamo) **DP 20-E-064**
- The Impact of the COVID-19 Pandemic on the U.S. Economy: Evidence from the Stock Market (THORBECKE, Willem) **DP 20-E-068**
- Productivity of Working from Home during the COVID-19 Pandemic: Evidence from an Employee Survey (MORIKAWA, Masayuki) **DP 20-E-073**
- The Relationship between Product Complexity and Exchange Rate Elasticities: Evidence from the People's Republic of China's Manufacturing Industries (THORBECKE, Willem; CHEN, Chen; SALIKE, Nimesh) **DP 20-E-075**
- Product Complexity, Exports, and Exchange Rates: Evidence from the Japanese Chemical Industry (THORBECKE, Willem; SALIKE, Nimesh; CHEN, Chen) **DP 20-E-085**
- How the Coronavirus Crisis is Affecting the Korean Economy: Evidence from the Stock Market (THORBECKE, Willem) **DP 20-E-088**
- Simulating the Impacts of Interregional Mobility Restriction on the Spatial Spread of COVID-19 in Japan (KONDO, Keisuke) **DP 20-E-089**
- Productivity of Working from Home during the COVID-19 Pandemic: Evidence from a Firm Survey (MORIKAWA, Masayuki) **DP 21-E-002**
- Covid-19 and Output in Japan (FUJII, Daisuke; NAKATA, Taisuke) **DP 21-E-004**
- Selection on Welfare Gains: Experimental Evidence from Electricity Plan Choice (ITO, Koichiro; IDA, Takanori; TANAKA, Makoto) **DP 21-E-008**
- Designing a Tourism Stimulus During the COVID-19 Pandemic in Japan (MATSUURA, Toshiyuki; SAITO, Hisamitsu) **DP 21-E-012**
- The Impact of COVID-19 on Global Production Networks: Evidence from Japanese Multinational Firms (ZHANG, Hongyong) **DP 21-E-014**
- The Exposure of French and South Korean Firms to Exchange Rates and the COVID-19 Pandemic: Evidence from the Stock Market (THORBECKE, Willem) **DP 21-E-017**
- The Global Monetary System and the Use of Local Currencies in ASEAN+3 (ITO, Hiroyuki; KAWAI, Masahiro) **DP 21-E-019**

ポリシー・ディスカッション・ペーパー

- 新型コロナ危機と経済政策 (森川 正之) **PDP 20-P-014**
- 文明としてのグローバル化とコロナ危機 (藤田 昌久、浜口 伸明) **PDP 20-P-015**
- 日本の所得格差の動向と政策対応のあり方について (井上 誠一郎) **PDP 20-P-016**
- Fiscal Responses to the COVID-19 Crisis in Japan: The First Six Months (ANDO, Michihito; FURUKAWA, Chishio; NAKATA, Daigo; SUMIYA, Kazuhiko) **PDP 20-P-018**
- 新型コロナの影響と政策対応への認識：個人サーベイに基づく観察 (森川 正之) **PDP 20-P-020**
- 温泉を療養に有効利用したヘルスツーリズム推進とエビデンスの蓄積・共有 (関口 陽一) **PDP 20-P-021**
- JOBS Actsによる米国の株式資本市場改革と周回遅れの日本 (田所 創) **PDP 20-P-022**
- Results of Survey on Standardization Activities for 2018 (State of Implementation, Advanced Technologies, and Organizational Design) (TAMURA, Suguru) **PDP 20-P-023**

- コロナ危機対策利用企業の生産性 (森川 正之) **PDP 20-P-031**
- 新型コロナウイルスのパンデミックがもたらす政治・経済への影響 (藤 和彦) **PDP 20-P-032**
- 政策評価と不連続回帰分析 (RDD) - 前提条件、適用の限界と結果解釈の留意点 - (戒能 一成) **PDP 21-P-002**
- 新型コロナ危機への財政的対応：2020年前半期の記録 (安藤 道人、古川 知志雄、中田 大悟、角谷 和彦) **PDP 21-P-005**
- Productivity of Firms Using Relief Policies During the COVID-19 Crisis (MORIKAWA, Masayuki) **PDP 21-P-006**

RIETI公開BBLウェビナー

- 「運と偶然の経済学 ― 占いからパンデミックまで ―」 (2020/4/23) **P.69参照**
- 「ポスト・コロナ世界のグローバルバリューチェーン」 (2020/5/15) **P.69参照**
- 「エビデンスに基づく政策決定―新技術と雇用を例に―」 (2020/5/22) **P.69参照**
- 「世界から見る北朝鮮―国連による北朝鮮制裁の現状と課題、そしてパンデミックがもたらす影響」 (2020/5/29) **P.69参照**
- 「世界・アジア太平洋地域経済見通し「大封鎖」―他に類を見ない危機」 (2020/6/4) **P.69参照**
- 「2020年版ものづくり白書の概要:不確実性の時代における製造業の企業変革力(ダイナミック・ケイバビリティ)」 (2020/6/12) **P.69参照**
- 「エネルギー白書2020について」 (2020/6/19) **P.69参照**
- “How the Coronavirus Crisis is Affecting Japanese Businesses: Evidence from the Stock Market” (2020/6/24) **P.69参照**
- 「次世代人材育成を考える:真のグローバルリーダー育成とは」 (2020/6/25) **P.70参照**
- 「アフターコロナのエネルギー、地球環境そしてジェンダー」 (2020/7/3) **P.70参照**
- 【DXシリーズ】「ソフトウェア時代の経営について」 (2020/7/10) **P.70参照**
- 「2020年版通商白書―コロナ危機とグローバル化―」 (2020/7/16) **P.70参照**
- 【DXシリーズ】「DXで大きく変わる世界における「働く」ということ:あなたは何のために働きますか?」 (2020/7/17) **P.70参照**
- “Macroeconomic Prospects and Policy Coordination in Asia to Overcome the Challenge of COVID-19” (2020/7/22) **P.70参照**
- 「日本の新型コロナウイルス対策とスモールビジネス―短期的、中長期的な感染症予防と経済の両立」 (2020/7/28) **P.70参照**
- “Global Catastrophes: Before, During, and After Covid” (2020/7/30) **P.71参照**
- 「教育改革はどこへ向かうのか:最強の成長戦略としての経済教育」 (2020/8/5) **P.71参照**
- “Effect of COVID-19 on Global Value Chains and Future Prospects” (2020/8/6) **P.71参照**
- “The Institutional Sources of Energy Transitions: From the oil crises to climate policy” (2020/8/26) **P.72参照**
- 【DXシリーズ】「女性エンジニアを増やす努力とその必要性―女子高女子大を経て、男女比(体感)8:2のIT業界に入った私の

経験をもとに語る」(2020/8/27) **P.72 参照**

「21世紀は「アジアの世紀」となるのか?—with コロナ時代の国際秩序の展望」(2020/9/10) **P.72 参照**

【DXシリーズ】「AI系ディープテックスタートアップの経営環境」(2020/9/14) **P.72 参照**

【グローバル・インテリジェンス・シリーズ】
「インド太平洋地域秩序の動揺と日ASEAN関係」(2020/9/30) **P.72 参照**

【グローバル・インテリジェンス・シリーズ】
“A Political Scientist's Look at the 2020 US Elections” (2020/10/7) **P.72 参照**

【グローバル・インテリジェンス・シリーズ】
「ICEFとTCFDサミット2020を振り返って—今後の気候変動の動きについて」(2020/10/12) **P.73 参照**

【グローバル・インテリジェンス・シリーズ】
“The Mood of the American Voter on the Eve of the 2020 Presidential Election” (2020/10/20) **P.73 参照**

【グローバル・インテリジェンス・シリーズ】
“Support for Restricting Liberty for Safety: Evidence during the Covid-19 pandemic from China, Israel, Japan, South Korea, Taiwan, and the United States” (2020/10/23) **P.73 参照**

【グローバル・インテリジェンス・シリーズ】
「アメリカの制裁外交」(2020/10/26) **P.73 参照**

【DXシリーズ】「with コロナ時代のオンライン教育」(2020/11/9) **P.74 参照**

「令和2年度経済財政白書について」(2020/11/11) **P.74 参照**

【グローバル・インテリジェンス・シリーズ】
「中国の経済発展における「留学帰国組」の役割と変化—グローバル人材競争における中国の成功と課題」(2020/11/12) **P.74 参照**

「現代湯治とヘルスツーリズム—温泉の力でココロとカラダと地域を元気に」(2020/11/19) **P.74 参照**

【DXシリーズ】「ディープラーニングの最前線と活用への課題」(2020/11/24) **P.74 参照**

【グローバル・インテリジェンス・シリーズ】
「米中対立の行方—揺れ動くASEAN、日ASEAN協力の将来、半導体サプライチェーンの展望」(2020/11/25) **P.74 参照**

「世界・アジア太平洋地域経済見通し—長く、不均等で、不確実な回復の道—」(2020/11/26) **P.74 参照**

【グローバル・インテリジェンス・シリーズ】
「世界を動かすイスラエル—日本はどう向き合うべきか」(2020/11/30) **P.75 参照**

【グローバル・インテリジェンス・シリーズ】
“Build Back Better? The Future of the US-China Economic Relationship” (2020/12/8) **P.75 参照**

【グローバル・インテリジェンス・シリーズ】
「相対化する知性—人工知能が世界の見方をどう変えるのか」(2020/12/10) **P.75 参照**

【グローバル・インテリジェンス・シリーズ】
“Biden's Climate Change Options in a Divided Congress” (2020/12/11) **P.75 参照**

【グローバル・インテリジェンス・シリーズ】
“Challenges and Opportunities for India-Japan Economic Partnership” (2020/12/16) **P.75 参照**

【グローバル・インテリジェンス・シリーズ】

「米国を国際通商システムへ戻す—マルチラテラリズムの視点」(2020/12/17) **P.76 参照**

【グローバル・インテリジェンス・シリーズ】
「バイデン政権の国際経済政策の課題」(2021/1/14) **P.76 参照**

「行政管理会計の基礎と実践」(2021/1/15) **P.76 参照**

【DXシリーズ】「デジタル経済に向かう欧州のAI戦略—日本はEUから何を学ぶべきか」(2021/1/20) **P.76 参照**

【DXシリーズ】“Going Digital: Implications of the COVID-19 crisis on digital transformation” (2021/1/26) **P.77 参照**

RIETI 出版記念ウェビナー

「コロナ危機の経済学:提言と分析」シリーズ:第1回コロナ危機の経済政策(2020/7/29) **P.3/P.71 参照**

「コロナ危機の経済学:提言と分析」シリーズ:第2回コロナ危機と医療・創薬(2020/8/4) **P.3/P.71 参照**

「コロナ危機の経済学:提言と分析」シリーズ:第3回コロナ危機と労働市場、セーフティネット(2020/8/7) **P.3/P.71 参照**

RIETI 国際ウェビナー

“World Economies Surviving and Thriving through COVID-19 and beyond” (2020/8/31) **P.10/P.72 参照**

東北大学-RIETI 共催オンラインシンポジウム

「人生100年時代のサバイバルツール—ニューノーマル時代における「ウルトラ高齢社会」のリスクとチャンスとは?」(2020/11/4) **P.4/P.73 参照**

2020 RIETI-KIET-TIER ワークショップ

“Industrial Policy Directions and Challenges in the Post Covid-19 Era” (2020/11/5) **P.10/P.79 参照**

一般社団法人機械振興協会 経済研究所オンラインセミナー

「半導体をめぐる米中対立と日本:Deep5G時代に築く日本のポジション」(2020/11/30) **P.74 参照**

「自動運転・運転支援・MaasとITS」(2021/2/9) **P.77 参照**

RIETI-CEPR シンポジウム

「流れを変える—グリーン成長とデジタルトランスフォーメーション」(2021/3/2) **P.4/P.78 参照**

RIETI-ANU シンポジウム

「アジア太平洋デジタルガバナンスに向けて」(2021/3/23) **P.5/P.78 参照**

出版物

“Dynamics of Japan's Trade and Industrial Policy in the Post Rapid Growth Era (1980–2000)”
(Written by Committee on the History of Japan's Trade and Industry Policy RIETI)

Springer, April 2020

P.66参照

"Blockchain and Crypto Currency"

(Edited by YANO Makoto, Chris DAI, MASUDA Kenichi,
KISHIMOTO Yoshio)

Springer, April 2020

P.66参照

『人は生まれ変わる—縄文の心でアフター・コロナを生きる』

(藤 和彦 著)

ベストブック、2020年7月

P.66参照

『コロナ危機の経済学:提言と分析』

(小林 慶一郎、森川 正之 編著)

日経BP、2020年7月

P.66参照

ディスカッション・ペーパーは、原則として内部のレビュー・プロセスを経て専門論文の形式でまとめられた研究成果です。
活発な議論を喚起するためウェブサイト上で公開しており、ダウンロードが可能です。

日本語 https://www.rieti.go.jp/jp/publications/act_dp.html

* 以下は2020年4月～2021年3月に刊行されたものです。

DP 番号	刊行年月	タイトル	筆者	研究プロジェクト 番号
20-J-019	2020年4月	不眠を対象としたインターネット認知行動療法と「3つの良いこと」 エクササイズの有効性の検証(3群ランダム化比較試験)	佐藤 大介(千葉大学) 関沢 洋一(RIETI) 須藤 千尋(千葉大学) 平野 好幸(千葉大学) 大川 翔(千葉大学) 廣瀬 素久(千葉大学) 竹村 亮(慶應義塾大学) 清水 栄司(千葉大学)	I-その他
20-J-020	2020年4月	責任共有制度のもとでの金融機関の信用保証利用態度 —地域金融機関支店長アンケートに基づく分析—	家森 信善(神戸大学)	V-5
20-J-021	2020年4月	医療における人工知能の受容性	岩田 和之(松山大学) 森田 玉雪(山梨県立大学) 鶴見 哲也(南山大学) 馬奈木 俊介(RIETI)	V-その他
20-J-022	2020年4月	中国における電子商取引分野に関する法規制 —独占禁止法、反不正競争法及び電子商取引法を中心に—	川島 富士雄(神戸大学)	II-その他
20-J-023	2020年4月	ITサービス化は日本企業の生産性を高めるか： クラウドコンピューティング、CIOと日本企業のパフォーマンス	金 榮熙(専修大学) 乾 友彦(学習院大学)	V-その他
20-J-024	2020年4月	認知能力及び非認知能力が賃金に与える影響について	安井 健悟(青山学院大学) 佐野 晋平(千葉大学) 久米 功一(東洋大学) 鶴 光太郎(RIETI)	VII-その他
20-J-025	2020年4月	労働規制変化による技術利用変化と生産性に対する影響	田中 健太(武蔵大学) 馬奈木 俊介(RIETI)	V-その他
20-J-026	2020年4月	中国における行政許可制度改革に関する一考察— —集中許可方式とリレーガバメント方式の比較分析	孟 健軍(RIETI) 潘 墨清(清華大学)	その他
20-J-027	2020年4月	インバウンド台頭期における九州の産業集積のマーケットポテンシャルが 企業活動と港湾の利活用に与える影響に関するパネルデータ分析	亀山 嘉大(佐賀大学)	III-その他
20-J-028	2020年5月	土地利用や近接性の変化が東京都内の不動産価格に与える影響の分析	沓澤 隆司(RIETI)	その他
20-J-029	2020年5月	原子力発電所事故と日本人の価値観	広田 茂(京都産業大学) 要藤 正任(国土交通省) 矢野 誠(RIETI)	VIII-その他
20-J-030	2020年5月	メタボ健診の質問票に記載された生活習慣の改善は 体重・血圧・悪玉コレステロールの数値の改善にどの程度結びついているか？	関沢 洋一(RIETI) 木村 もりよ(一般社団法人パブリックヘル ス協議会) 縄田 和満(RIETI)	I-その他
20-J-031	2020年6月	九州における旅館・ホテルの費用効率性：電子商取引もしくは個別事業との関連	後閑 利隆(日本貿易振興機構アジア経済研 究所)	III-その他
20-J-032	2020年6月	ものづくり補助金の効果分析：回帰不連続デザインを用いた分析	関沢 洋一(RIETI) 牧岡 亮(RIETI) 山口 晃(一橋大学 / 現：科学技術・学術政策研究所)	IX-2
20-J-033	2020年6月	大都市から地方への移住における社会経済的要因の影響 —Elastic net回帰を用いたポアソン重力モデルによる分析—	荒川 清晟(RIETI) 野崎 修平(東京大学)	その他
20-J-034	2020年7月	コロナ危機下の在宅勤務の生産性：就労者へのサーベイによる分析	森川 正之(RIETI)	その他
20-J-035	2020年9月	処置の安定性条件に問題がある場合での合成対照群を用いた処置効果評価手法の開発	戒能 一成(RIETI)	その他
20-J-036	2020年9月	地域の比較優位と企業の輸出行動	早川 和伸(アジア経済研究所) 松浦 寿幸(慶應義塾大学)	III-その他
20-J-037	2020年9月	日本人はコロナ禍をどのように過ごしたか？：消費ビッグデータによる購買行動分析	小西 葉子(RIETI) 齋藤 敬(RIETI) 石川 斗志樹(RIETI) 金井 肇(株式会社インテージ) 伊藤 直哉(株式会社インテージリサーチ)	その他
20-J-038	2020年9月	中国鉄鋼業における過剰能力削減政策：調整プロセスとしての評価	川端 望(東北大学) 銀 迪(東北大学)	II-3

DP 番号	刊行年月	タイトル	筆者	研究プロジェクト番号
20-J-039	2020年10月	誰が入学しているのか:大学難易度と推薦・AO入試の役割	小野塚 祐紀(RIETI)	その他
20-J-040	2020年10月	日本卸電力取引所の前日価格の低下要因に関する分析:再生エネルギー普及とコロナ禍による需要減少を中心として	池田 真介(小樽商科大学)	V-3
20-J-041	2020年10月	新型コロナと在宅勤務の生産性:企業サーベイに基づく概観	森川 正之(RIETI)	その他
20-J-042	2020年10月	2019年・財政検証と年金財政に関する一考察 — 経済前提の一つであるTFP上昇率の評価を巡って —	小黒 一正(RIETI)	その他
20-J-043	2020年12月	2020年8月か9月に旅行に行った者は新型コロナウイルス感染と診断されやすかったか?	越智 小枝(東京慈恵会医科大学) 関沢 洋一(RIETI) 宗 未来(東京歯科大学)	その他
20-J-044	2020年12月	第3波直前の我が国における、コロナ禍でのうつ状態と自殺念慮に関するリスクの検討: 「新型コロナウイルス流行下における心身の健康状態に関する継続調査」 第一回調査結果より	宗 未来(東京歯科大学) 関沢 洋一(RIETI) 越智 小枝(東京慈恵会医科大学) 橋本 空(ユナイテッドコミュニケーション株式会社) 傳田 健三(平松記念病院)	その他
20-J-045	2020年12月	自然実験としてのアルゴリズム:機械学習・市場設計・公共政策への統一アプローチ	成田 悠輔(RIETI) 栗飯原 俊介(ZOZOテクノロジーズ、半熟仮想株式会社) 齋藤 優太(東京工業大学、半熟仮想株式会社) 松谷 恵(ZOZOテクノロジーズ) 矢田 紘平(イエール大学)	その他
21-J-001	2021年1月	旅行と新型コロナ感染リスク:第三波前の個票データによる分析	中田 大悟(RIETI)	その他
21-J-002	2021年1月	新型コロナの影響下での在宅勤務の推進と男女の機会の不平等	山口 一男(RIETI) 大沢 真知子(日本女子大学)	その他
21-J-003	2021年1月	アロマセラピーは、健常高齢者の認知機能改善に効果があるか? —ランダム化比較試験による検証—	宗 未来(東京歯科大学) 小杉 良子(慶應義塾大学) 新生 暁子(順天堂大学) 小田木 友依(慶應義塾大学) 腰 みさき(慶應義塾大学) 橋本 空(ユナイテッド・ヘルスコミュニケーション株式会社) 関沢 洋一(RIETI) 斎藤 文恵(慶應義塾大学) 小西 海香(慶應義塾大学) 森 恵莉(慈恵医科大学) 船山 道隆(足利赤十字病院) 田淵 肇(慶應義塾大学) 三村 将(慶應義塾大学)	I-その他
21-J-004	2021年2月	日本企業のESGに対する意識調査	佐々木 隆文(中央大学) 花枝 英樹(一橋大学)	VIII-2
21-J-005	2021年2月	地域間生産性格差と生産要素の資源配分	川崎 一泰(中央大学)	VI-その他
21-J-006	2021年2月	日本における労働分配率の決定要因分析	羽田 翔(日本大学) 権 赫旭(RIETI) 井尻 直彦(日本大学)	VI-1
21-J-007	2021年2月	ワクチン接種意向の状況依存性:新型コロナウイルス感染症ワクチンに対する支払意思額の特徴とその政策的含意	佐々木 周作(東北学院大学) 齋藤 智也(国立感染症研究所) 大竹 文雄(大阪大学)	その他
21-J-008	2021年2月	林業政策の経済分析	山下 一仁(RIETI)	その他
21-J-009	2021年3月	AI、ロボット技術の進展と企業パフォーマンス	金 榮慈(専修大学) 乾 友彦(学習院大学)	VI-1
21-J-010	2021年3月	新型コロナショックの経済波及効果—地域間産業連関分析による地域別・産業別分析	徳井 丞次(RIETI) 落合 勝昭(日本経済研究センター) 川崎 一泰(中央大学) 宮川 努(RIETI)	VI-2
21-J-011	2021年3月	第四次産業革命に関連した特許出願と雇用と生産性のダイナミクスの関係性	池内 健太(RIETI)	VI-1
21-J-012	2021年3月	外国企業によるM&Aが被買収企業のイノベーション活動に与える影響	鈴木 真也(武蔵大学) 乾 友彦(学習院大学) 池田 雄哉(文部科学省科学技術・学術政策研究所)	VI-1
21-J-013	2021年3月	IT化と生産性、国内外の企業内資源配分	金 榮慈(専修大学) 乾 友彦(学習院大学)	VI-1

DP 番号	刊行年月	タイトル	筆者	研究プロジェクト 番号
21-J-014	2021年3月	設備投資の決定要因に関する『経済産業省企業活動基本調査』調査票情報による実証分析	深尾 京司(RIETI) 金 榮悠(専修大学) 権 赫旭(RIETI) 池内 健太(RIETI)	VI-1
21-J-015	2021年3月	アベノミクス下のビジネス・ダイナミズムと生産性上昇: 『経済センサス-活動調査』調査票情報による分析	深尾 京司(RIETI) 金 榮悠(専修大学) 権 赫旭(RIETI) 池内 健太(RIETI)	VI-1
21-J-016	2021年3月	電子商取引と企業パフォーマンス、経済のダイナミズム: 『経済センサス-活動調査』調査票情報による実証分析	金 榮悠(専修大学) 権 赫旭(RIETI) 深尾 京司(RIETI) 池内 健太(RIETI)	VI-1
21-J-017	2021年3月	企業において発生するデータの管理と活用 —質問票調査による実態把握	渡部 俊也(RIETI) 平井 祐理(文部科学省) 吉岡(小林)徹(一橋大学) 金間 大介(金沢大学) 立本 博文(筑波大学) 古谷 真帆(一般社団法人日本知的財産協会) 永沼 麻奈香(株式会社日立製作所)	IV-2
21-J-018	2021年3月	サービス産業における労働生産性上昇の源泉: JIP データベースを用いた産業レベルの実証分析、1955-2015年	深尾 京司(RIETI) 牧野 達治(RIETI)	VI-1
21-J-019	2021年3月	中国における「ビジネス環境の最適化」の制度設計に関する考察— —政策実践の学習と拡散の試行錯誤プロセスからみたガバナンス体制と仕組み	孟 健軍(RIETI) 潘 墨涛(清华大学国情研究院)	その他

英語

https://www.rieti.go.jp/jp/publications/act_dp_en.html

DP 番号	刊行年月	タイトル	筆者	研究プロジェクト 番号
20-E-028	2020年4月	Pernicious Bias and Judicial Illegitimacy: Do Americans Perceive Diverse Judges as Inherently Biased?	ONO Yoshikuni (RIETI) Michael A. ZILIS (University of Kentucky)	VIII-1
20-E-029	2020年4月	Differences in the Usage of Credit Guarantees Across Banks	Xiuwei TANG (Northeast Electric Power University) UCHIDA Hirofumi (Kobe University)	V-5
20-E-030	2020年4月	The Credit Spread Curve Distribution and Economic Fluctuations in Japan	OKIMOTO Tatsuyoshi (RIETI) TAKAOKA Sumiko (Seikei University)	その他
20-E-031	2020年4月	A Structural Estimation of the Disutility of Commuting	KONDO Keisuke (RIETI)	III-その他
20-E-032	2020年4月	Heterogenous Job Separations and the Balassa-Samuelson Effect	Noel GASTON (University of South Australia) YOSHIMI Taiyo (Chuo University)	I-3
20-E-033	2020年4月	Declining Demand and Product Quality: An Empirical Study of the Japanese PC Monitor Market	OTA Rui (Yokohama City University) ZHANG Lili (Nissan Trading China Co., Ltd)	VIII-その他
20-E-034	2020年4月	Gender Differences in Campaigning under Alternative Voting Systems: Evidence from a Quantitative Text Analysis of Election Manifestos in Japan	ONO Yoshikuni (RIETI) MIWA Hirofumi (Gakushuin University)	VIII-1
20-E-035	2020年4月	Transfer Pricing Regulation and Tax Competition	CHOI Jay Pil (Michigan State University) FURUSAWA Taiji (University of Tokyo) ISHIKAWA Jota (RIETI)	II-その他
20-E-036	2020年4月	Heterogeneous Treatment Effects of Place-based Policies: Which Cities Should be Targeted?	FUJISHIMA Shota (Hitotsubashi University) HOSHINO Tadao (Waseda University) SUGAWARA Shinya (Tokyo University of Science)	III-その他
20-E-037	2020年4月	The Propagation of Economic Impacts through Supply Chains: The Case of a Mega-city Lockdown to Prevent the Spread of COVID-19	INOUE Hiroyasu (University of Hyogo) TODO Yasuyuki (Waseda University)	V-2

DP 番号	刊行年月	タイトル	筆者	研究プロジェクト 番号
20-E-038	2020年4月	The Effect of Exporting on Product Compositional Changes and a Manufacturing Plant's Average Product Characteristics in Japan	ITO Keiko (RIETI) HAHN Chin Hee (Gachon University)	VI-1
20-E-039	2020年4月	Heterogeneous Vulnerability to the COVID-19 Crisis and Implications for Inequality in Japan	KIKUCHI Shinnosuke (Massachusetts Institute of Technology) KITAO Sagiri (RIETI) MIKOSHIBA Minamo (University of Tokyo)	その他
20-E-040	2020年5月	Covid-19 Pandemic and Politics: The Cases of Florida and Ohio	YANO Makoto (RIETI)	その他
20-E-041	2020年5月	Endogenous Business Cycles with Bubbles	ASAOKA Shintaro (Institute of Economic Research, Kyoto University)	VIII-その他
20-E-042	2020年5月	Reserve Requirements and Bubbles	ASAOKA Shintaro (Institute of Economic Research, Kyoto University)	VIII-その他
20-E-043	2020年5月	Welfare Effects of Polarization: Occupational Mobility over the Life-cycle	KIKUCHI Shinnosuke (Massachusetts Institute of Technology) KITAO Sagiri (RIETI)	I-2
20-E-044	2020年5月	Supply-Chain Network Analysis of Kyoto's Traditional Craft Industry	SATO Daisuke (Kyoto University) IKEDA Yuichi (Kyoto University) KAWAI Shuichi (Kyoto University) SCHICH Maxmilian (University of Texas at Dallas)	V-2
20-E-045	2020年5月	Technological Competitiveness of China's Internet Platforms: Comparison of Google and Baidu Using Patent Text Information	MOTOHASHI Kazuyuki (RIETI) ZHU Chen (University of Tokyo)	IV-3
20-E-046	2020年5月	Diplomatic Protest and Patriotism: The Effect of Foreign Voices on Japanese Public Opinion	KAGOTANI Koji (Osaka University of Economics) ONO Yoshikuni (RIETI)	VIII-1
20-E-047	2020年5月	Productivity of Offshore Affiliates and Distance from Headquarters: Evidence from Affiliate-Level Data of Japanese Multinationals	LU Yi (Tsinghua University) TOMIURA Eiichi (RIETI) ZHU Lianming (Osaka University)	II-その他
20-E-048	2020年5月	Characteristics of Firms Transmitting Data Across Borders: Evidence from Japanese Firm-level Data	TOMIURA Eiichi (RIETI) ITO Banri (RIETI) KANG Byeongwoo (Hitotsubashi University)	II-その他
20-E-049	2020年5月	Macroscopic Structure and Evolution in the Japanese Production Network	GOTO Hiromitsu (Nihon University) SOUMA Wataru (Nihon University)	V-2
20-E-050	2020年5月	The Revitalization of Shrinking Cities: Lessons from the Japanese Service Sector	KONDO Keisuke (RIETI) OKUBO Toshihiro (Keio University)	III-その他
20-E-051	2020年5月	Robots and Employment: Evidence from Japan, 1978-2017	ADACHI Daisuke (Yale University) KAWAGUCHI Daiji (RIETI) SAITO Yukiko Umeno (RIETI)	III-2
20-E-052	2020年5月	Heterogenous Impacts of National Research Grants on Academic Productivity	ONISHI Koichiro (Waseda University) OWAN Hideo (RIETI)	IV-その他
20-E-053	2020年5月	The Impact of Market Size on Firm Selection	KONDO Keisuke (RIETI) OKUBO Toshihiro (Keio University)	III-その他
20-E-054	2020年5月	China's Impact on Regional Employment: Propagation through Supply Chains and Co-agglomeration Pattern	SAITO Yukiko Umeno (RIETI) KAINUMA Shuhei (University of Tokyo) FABINGER Michal (University of Tokyo)	III-2
20-E-055	2020年5月	Why Do Japanese MNEs Enter and Exit Foreign Markets?	DESEATNICOV Ivan (NRU Higher School of Economics) FUJII Daisuke (RIETI) KUCHERYAVYY Konstantin (University of Tokyo) SAITO Yukiko Umeno (RIETI)	III-2
20-E-056	2020年6月	Intermediaries in Transaction Networks: Location of Wholesalers' Headquarters and Other Establishments	ITO Tadashi (Gakushuin University) OKAMOTO Chigusa (Rikkyo University) SAITO Yukiko Umeno (RIETI)	III-2

DP 番号	刊行年月	タイトル	筆者	研究プロジェクト 番号
20-E-057	2020年6月	Labor Market Flexibility and Inward Foreign Direct Investment	KAMATA Isao (University of Niigata Prefecture)	II-その他
20-E-058	2020年6月	Incentive or Disincentive for Disclosure of Research Data? A Large-Scale Empirical Analysis and Implications for Open Science Policy	KWON Seokbeom (University of Tokyo) MOTOHASHI Kazuyuki (RIETI)	IV-3
20-E-059	2020年6月	Overinvestment and Macroeconomic Uncertainty: Evidence from Renewable and Non-Renewable Resource Firms	Denny IRAWAN (Australian National University) OKIMOTO Tatsuyoshi (RIETI)	その他
20-E-060	2020年6月	Listing Advantages Around the World	UEDA Kenichi (University of Tokyo / TCER / CEPR) SHARMA Somnath (University of Tokyo / Reserve Bank of India)	V-5
20-E-061	2020年6月	How the Coronavirus Crisis Affected Japanese Industries: Evidence from the Stock Market	THORBECKE Willem (RIETI)	その他
20-E-062	2020年6月	Reforming Inefficient Energy Pricing: Evidence from China	ITO Koichiro (RIETI) ZHANG Shuang (University of Colorado, Boulder)	その他
20-E-063	2020年7月	Ascriptive Characteristics and Perceptions of Impropriety in the Rule of Law: Race, Gender, and Public Assessments of Whether Judges Can Be Impartial	ONO Yoshikuni (RIETI) ZILIS Michael A. (University of Kentucky)	VIII-1
20-E-064	2020年7月	Who Suffers from the COVID-19 Shocks? Labor Market Heterogeneity and Welfare Consequences in Japan	KIKUCHI Shinnosuke (Massachusetts Institute of Technology) KITAO Sagiri (RIETI) MIKOSHIBA Minamo (University of Tokyo)	その他
20-E-065	2020年7月	Firm Exit during the COVID-19 Pandemic: Evidence from Japan	MIYAKAWA Daisuke (Hitotsubashi University) OIKAWA Koki (Waseda University) UEDA Kozo (Waseda University)	VI-3
20-E-066	2020年7月	Ignorance is Bliss? Age, Misinformation, and Support for Women's Representation	BURDEN Barry C. (University of Wisconsin-Madison) ONO Yoshikuni (RIETI)	VIII-1
20-E-067	2020年8月	Winners, Losers, and Near-Rationality: Heterogeneity in the MPC out of a Large Stimulus Tax Rebate	LAPOINT Cameron (Yale University) UNAYAMA Takashi (RIETI)	V-4
20-E-068	2020年8月	The Impact of the COVID-19 Pandemic on the U.S. Economy: Evidence from the Stock Market	THORBECKE Willem (RIETI)	その他
20-E-069	2020年8月	How Do Voters Evaluate the Age of Politicians?	McCLEAN Charles (University of California, San Diego) ONO Yoshikuni (RIETI)	VIII-1
20-E-070	2020年8月	Constructing the Customer Journey Map of Competitive Brands: A Complex Time-series Analysis	MIZUNO Makoto (Meiji University) AOYAMA Hideaki (RIETI) FUJIWARA Yoshi (University of Hyogo)	V-2
20-E-071	2020年8月	Global Competition, Worker Retention, and Immigrant Employment in Manufacturing SMEs	HASHIMOTO Yuki (RIETI)	VII-その他
20-E-072	2020年9月	Why Beauty Matters: Candidates' Facial Appearance and Electoral Success	ONO Yoshikuni (RIETI) ASANO Masahiko (Takushoku University)	VIII-1
20-E-073	2020年9月	Productivity of Working from Home during the COVID-19 Pandemic: Evidence from an Employee Survey	MORIKAWA Masayuki (RIETI)	その他
20-E-074	2020年9月	The Effect of Computer Assisted Learning on Children's Cognitive and Noncognitive Skills: Evidence from a Randomized Experiment in Cambodia	NAKAMURO Makiko (Keio University) ITO Hirotake (Keio University)	IX-3
20-E-075	2020年9月	The Relationship between Product Complexity and Exchange Rate Elasticities: Evidence from the People's Republic of China's Manufacturing Industries	THORBECKE Willem (RIETI) CHEN Chen (Xi'an Jiaotong-Liverpool University, Suzhou) SALIK Nimesh (Xi'an Jiaotong-Liverpool University, Suzhou)	その他

DP 番号	刊行年月	タイトル	筆者	研究プロジェクト 番号
20-E-076	2020年10月	What Do People Say When They become "Future People"? - Positioning Imaginary Future Generations (IFGs) in General Rules for Good Decision Making	HIROMITSU Toshiaki (Policy Research Institute, Ministry of Finance) KITAKAJI Yoko (Hiroshima University) HARA Keishiro (RIETI) SAIJO Tatsuyoshi (Research Institute for Future Design, Kochi University of Technology / Research Institute of Humanity and Nature)	I-1
20-E-077	2020年10月	Moving Out of China? Evidence from Japanese Multinational Firms	LUO Changyuan (Fudan University) SI Chunxiao (Fudan University) ZHANG Hongyong (RIETI)	II-2
20-E-078	2020年10月	Information Acquisition and Price Setting under Uncertainty: New Survey Evidence	CHEN Cheng (Clemson University) SENGA Tatsuro (RIETI) SUN Chang (University of Hong Kong) ZHANG Hongyong (RIETI)	II-2
20-E-079	2020年10月	Month-of-Birth Effects on Skills and Skill Formation	YAMAGUCHI Shintaro (University of Tokyo) ITO Hirotake (Keio Research Institute at SFC) NAKAMURO Makiko (Keio University)	IX-3
20-E-080	2020年10月	Emissions Trading and International Trade	ISHIKAWA Jota (RIETI) KIYONO Kazuharu (Waseda University) YOMOGIDA Morihiro (Sophia University)	II-5
20-E-081	2020年10月	Measuring Business-Level Expectations and Uncertainty: Survey Evidence and the COVID-19 Pandemic	CHEN Cheng (Clemson University) SENGA Tatsuro (RIETI) ZHANG Hongyong (RIETI)	II-2
20-E-082	2020年10月	Firm Growth, Financial Constraints, and Policy-Based Finance	DORE Tim E. (Federal Reserve Board) OKAZAKI Tetsuji (RIETI) ONISHI Ken (Federal Reserve Board) WAKAMORI Naoki (University of Tokyo)	SP-3
20-E-083	2020年10月	Exchange Rates, International Outsourcing, and Firm Export Dynamics	INUI Tomohiko (Gakushuin University) KIM Young Gak (Senshu University)	VI-1
20-E-084	2020年11月	Peer Effects on Job Satisfaction from Exposure to Elderly Workers	KAWATA Yuji (Waseda University) OWAN Hideo (RIETI)	VII-2
20-E-085	2020年11月	Product Complexity, Exports, and Exchange Rates: Evidence from the Japanese Chemical Industry	THORBECKE Willem (RIETI) SALIKE Nimesh (Xi'an Jiaotong-Liverpool University, Suzhou) CHEN Chen (Xi'an Jiaotong-Liverpool University, Suzhou)	その他
20-E-086	2020年11月	Local Industry Influence on Commercialization of University Research by University Startups	KANG Byeongwoo (Hitotsubashi University) MOTOHASHI Kazuyuki (RIETI)	IV-3
20-E-087	2020年11月	FCPA and Market Quality in Emerging Economies	DASTIDAR Krishnendu Ghosh (Jawaharlal Nehru University) YANO Makoto (RIETI)	VIII-3
20-E-088	2020年12月	How the Coronavirus Crisis is Affecting the Korean Economy: Evidence from the Stock Market	THORBECKE Willem (RIETI)	その他
20-E-089	2020年12月	Simulating the Impacts of Interregional Mobility Restriction on the Spatial Spread of COVID-19 in Japan	KONDO Keisuke (RIETI)	その他
20-E-090	2020年12月	Do People Accept Different Cultures?	NAKAGAWA Mariko (University of Tokyo) SATO Yasuhiro (University of Tokyo) TABUCHI Takatoshi (RIETI) YAMAMOTO Kazuhiro (Osaka University)	III-4

DP 番号	刊行年月	タイトル	筆者	研究プロジェクト 番号
20-E-091	2020年12月	New Assessment of Economic Integration in East Asia: Application of Industry-Specific G-PPP Model	KAWASAKI Kentaro (Toyo University) SATO Kiyotaka (Yokohama National University)	I-3
20-E-092	2020年12月	Three Minds Equal Manjushari's Wisdom: An Anatomy of Informal Social Learning with Heterogenous Agents by the Hierarchical Bayesian Approach	SATO Masahiro (Tohoku University) OTA Rui (Yokohama City University) ITO Arata (RIETI) YANO Makoto (RIETI)	VIII-その他
21-E-001	2021年1月	Do Economic Effects of the Anti-COVID-19 Lockdowns in Different Regions Interact through Supply Chains?	INOUE Hiroyasu (University of Hyogo) MURASE Yohsuke (RIKEN Center for Computational Science) TODO Yasuyuki (RIETI)	II-6
21-E-002	2021年1月	Productivity of Working from Home during the COVID-19 Pandemic: Evidence from a Firm Survey	MORIKAWA Masayuki (RIETI)	その他
21-E-003	2021年1月	High-speed Rail and the Spatial Distribution of Economic Activity: Evidence from Japan's Shinkansen	HAYAKAWA Kazunobu (Institute of Developing Economies) Hans R.A. KOSTER (Vrije Universiteit Amsterdam, HSE University, Tinbergen Institute, and CEPR) TABUCHI Takatoshi (RIETI) Jacques-François THISSE (Institute of Developing Economies, HSE University, and CEPR)	III-4
21-E-004	2021年1月	Covid-19 and Output in Japan	FUJII Daisuke (RIETI) NAKATA Taisuke (University of Tokyo)	その他
21-E-005	2021年1月	Money Flow Network Among Firms' Accounts in a Regional Bank of Japan	FUJIWARA Yoshi (University of Hyogo) INOUE Hiroyasu (University of Hyogo) YAMAGUCHI Takayuki (Shiga University) AOYAMA Hideaki (RIETI) TANAKA Takuma (Shiga University) KIKUCHI Kentaro (Shiga University)	V-7
21-E-006	2021年1月	Dual Labor Market and the "Phillips Curve Puzzle"	AOYAMA Hideaki (RIETI) Corrado DI GIULMI (University of Technology Sydney) FUJIWARA Yoshi (University of Hyogo) YOSHIKAWA Hiroshi (RIETI)	V-7
21-E-007	2021年1月	Estimating the Effects of the Minimum Wage Using the Introduction of Indexation	KAWAGUCHI Daiji (RIETI) MORI Yuko (Tsuda University)	IX-1
21-E-008	2021年2月	Selection on Welfare Gains: Experimental Evidence from Electricity Plan Choice	ITO Koichiro (RIETI) IDA Takanori (Kyoto University) TANAKA Makoto (GRIPS)	その他
21-E-009	2021年2月	Epidemic and Economic Consequences of Voluntary and Request-based Lockdowns in Japan	HOSONO Kaoru (RIETI)	VI-4
21-E-010	2021年2月	Why Do Real Wages Stagnate in Japan and Korea?	Hyunbae CHUN (Sogang University) FUKAO Kyoji (RIETI) KWON Hyeog Ug (RIETI) Jungsoo PARK (Sogang University)	VI-1
21-E-011	2021年2月	Stakeholder Participation in a Company's Success and Resilience Against Shocks	OKUBO Toshihiro (Keio University) Alexander F. WAGNER (University of Zurich) YAMADA Kazuo (Ritsumeikan University)	VI-1
21-E-012	2021年2月	Designing a Tourism Stimulus During the COVID-19 Pandemic in Japan	MATSUURA Toshiyuki (Keio University) SAITO Hisamitsu (Hokkaido University)	その他

DP 番号	刊行年月	タイトル	筆者	研究プロジェクト 番号
21-E-013	2021年3月	No Successor, No Success? The Impact of a Little Son on Business Performance	KODAMA Naomi (RIETI) MURAKAMI Yoshiaki (Osaka University of Commerce) TANAKA Mari (Hitotsubashi University)	VI-1
21-E-014	2021年3月	The Impact of COVID-19 on Global Production Networks: Evidence from Japanese Multinational Firms	ZHANG Hongyong (RIETI)	その他
21-E-015	2021年3月	In Search of Lost Time: Firm Vintage and Macroeconomic Dynamics	HAMANO Masashige (Waseda University) OKUBO Toshihiro (Keio University)	VI-1
21-E-016	2021年3月	The Dollar, the Yen, or the RMB? A Survey Data Analysis of Invoicing Currencies among Japanese Overseas Subsidiaries	ITO Takatoshi (Columbia University) KOIBUCHI Satoshi (Chuo University) SATO Kiyotaka (Yokohama National University) SHIMIZU Junko (Gakushuin University) YOSHIMI Taiyo (Chuo University)	I-3
21-E-017	2021年3月	The Exposure of French and South Korean Firms to Exchange Rates and the COVID-19 Pandemic: Evidence from the Stock Market	Willem THORBECKE (RIETI)	その他
21-E-018	2021年3月	Reassessing China's GDP Growth Performance: an Exploration of The Underestimated Price Effect	Harry X. WU (National School of Development, Peking University / Institute of Economic Research, Hitotsubashi University) Zhan LI (National School of Development, Peking University)	VI-その他
21-E-019	2021年3月	The Global Monetary System and the Use of Local Currencies in ASEAN+3	ITO Hiroyuki (RIETI) KAWAI Masahiro (University of Tokyo / ERINA)	その他
21-E-020	2021年3月	Macroeconomic Effects of Global Policy and Financial Risks	OGAWA Eiji (RIETI) Pengfei LUO (Setsunan University)	I-3
21-E-021	2021年3月	Regional Banking and Plant Survival in Japan	NISHIOKA Shuichiro (West Virginia University) OKUBO Toshihiro (Keio University) TANAKA Mari (Hitotsubashi University)	VI-1
21-E-022	2021年3月	Establishment Size, Workforce Composition and the College Wage Gap in Japan	IKEUCHI Kenta (RIETI) FUKAO Kyoji (RIETI) Cristiano PERUGINI (University of Perugia / IZA)	VI-1
21-E-023	2021年3月	Foreign Direct Investment in China and Domestic Activities of Japanese Firms	OKUBO Toshihiro (Keio University)	VI-1
21-E-024	2021年3月	Working from Home: Its Effects on Productivity and Mental Health	KITAGAWA Ritsu (Waseda University) KURODA Sachiko (RIETI) OKUDAIRA Hiroko (Doshisha University) OWAN Hideo (RIETI)	VII-4
21-E-025	2021年3月	New Indicator of Science and Technology Inter-Relationship by Using Text Information of Research Articles and Patents in Japan	MOTOHASHI Kazuyuki (RIETI) KOSHIBA Hitoshi (NISTEP / AIST) IKEUCHI Kenta (RIETI)	IV-3
21-E-026	2021年3月	Chasing Two Hares at Once? Effect of Joint Institutional Change for Promoting Commercial Use of University Knowledge and Scientific Research	KWON Seokbeom (University of Tokyo) MOTOHASHI Kazuyuki (RIETI) IKEUCHI Kenta (Fellow (Policy Economist), RIETI)	IV-3
21-E-027	2021年3月	The Effect of Public-Sponsored Job Training in Japan	HARA Hiromi (Japan Women's University)	IX-1
21-E-028	2021年3月	Leveraging Standard Essential Patents for Capturing Innovation Rents: The Strategic Disclosure of License Rules	Dong HUO (Harbin Institute of Technology, Shenzhen) Jiangwei DANG (University of International Business and Economics) MOTOHASHI Kazuyuki (RIETI)	IV-3

ポリシー・ディスカッション・ペーパーは、現在直面しているさまざまな政策課題に強い関連性を持つタイムリーな論文です。
政策議論の活性化に資することを目的とし、ウェブサイトからダウンロードが可能です。

日本語 https://www.rieti.go.jp/jp/publications/act_pdp.html

英語 https://www.rieti.go.jp/jp/publications/act_pdp_en.html

* 以下は2020年4月～2021年3月に刊行されたものです。

PDP 番号	刊行年月	タイトル	筆者	研究プロジェクト 番号
20-P-012	2020年4月	戦前期日本のイノベーション活動：特許情報の電子化によるアプローチ	井上 寛康(兵庫県立大学) 岡崎 哲二(東京大学) 齊藤 有希子(RIETI) 中島 賢太郎(一橋大学)	III-2
20-P-013	2020年4月	誰が去り、誰が残ったのか：金融危機後に日本から帰国したブラジル人のセレクション	橋本 由紀(RIETI)	VII-その他
20-P-014	2020年5月	新型コロナ危機と経済政策	森川 正之(RIETI)	その他
20-P-015	2020年6月	文明としてのグローバル化とコロナ危機	藤田 昌久(京都大学経済研究所) 浜口 伸明(RIETI)	その他
20-P-016	2020年6月	日本の所得格差の動向と政策対応のあり方について	井上 誠一郎(RIETI)	その他
20-P-017	2020年7月	直接投資における参入形態とその国際比較	齊藤 有希子(RIETI) 高山 遥(バージニア大学)	III-2
20-P-018	2020年7月	Fiscal Responses to the COVID-19 Crisis in Japan: The First Six Months	ANDO Michihito(Rikkyo University) FURUKAWA Chishio(Massachusetts Institute of Technology) NAKATA Daigo(RIETI) SUMIYA Kazuhiko(RIETI)	その他
20-P-019	2020年7月	働き方・休み方と労働者のメンタルヘルス：一日本企業の勤怠データを用いた検証	佐藤 香織(国士舘大学) 黒田 祥子(RIETI) 大滝 秀雄(RIETI)	VII-2
20-P-020	2020年7月	新型コロナの影響と政策対応への認識：個人サーベイに基づく観察	森川 正之(RIETI)	その他
20-P-021	2020年9月	温泉を療養に有効利用したヘルスツーリズム推進とエビデンスの蓄積・共有	関口 陽一(RIETI)	その他
20-P-022	2020年9月	JOBS Acts による米国の株式資本市場改革と周回遅れの日本	田所 創(RIETI)	その他
20-P-023	2020年9月	Results of Survey on Standardization Activities for 2018(State of Implementation, Advanced Technologies, and Organizational Design)	TAMURA Suguru(RIETI)	その他
20-P-024	2020年10月	[WTO パネル・上級委員会報告書解説③] 中国－農業生産者に対する国内助成(DS512)－国内助成(市場価格支持)の算定方法－	関根 豪政(名古屋商科大学)	II-3
20-P-025	2020年10月	[WTO パネル・上級委員会報告書解説④] 中国－ある種の農産物に関する関税割当(DS517)－中国の加入に関する作業部会報告書の解釈および米中合意との関係－	平見 健太(早稲田大学)	II-3
20-P-026	2020年10月	日本の地方自治体における政策ナッジの実装：横浜市行動デザインチーム(YBiT)の事例に基づく体制構築と普及戦略に関する提案	高橋 勇太(横浜市行動デザインチーム (YBiT)) 植竹 香織(横浜市行動デザインチーム (YBiT)) 津田 広和(RIETI) 大山 祐平(横浜市行動デザインチーム (YBiT)) 佐々木 周作(東北学院大学)	IX-3
20-P-027	2020年10月	日本の製造業のサービス化	伊藤 恵子(中央大学) 乾 友彦(学習院大学) 鄧 希煒(香港大学 / Johns Hopkins University) 古沢 泰治(東京大学)	II-その他
20-P-028	2020年11月	混雑管理：日本の改革への欧州の経験からの示唆	八田 達夫(RIETI)	V-3
20-P-029	2020年11月	デジタルプラットフォームの進展と産業競争力への影響	元橋 一之(RIETI)	IV-3
20-P-030	2020年11月	[WTO パネル・上級委員会報告書解説⑤] 韓国－放射性核種事件(DS495)－放射能汚染を理由とした通商規制に関するSPS協定上の争点－	邵 洪範(東京大学)	II-3
20-P-031	2020年12月	コロナ危機対策利用企業の生産性	森川 正之(RIETI)	その他
20-P-032	2020年12月	新型コロナウイルスのパンデミックがもたらす政治・経済への影響	藤 和彦(RIETI)	その他
21-P-001	2021年1月	Progress of Digital Platforms and their Impact on Japan's Industrial Competitiveness	MOTOHASHI Kazuyuki(RIETI)	IV-3

PDP 番号	刊行年月	タイトル	筆者	研究プロジェクト 番号
21-P-002	2021年1月	政策評価と不連続回帰分析(RDD) - 前提条件、適用の限界と結果解釈の留意点 -	戒能 一成(RIETI)	その他
21-P-003	2021年2月	コロナショックと日本の医療体制:状況報告と論点整理	増原 宏明(信州大学) 細谷 圭(國學院大學)	VI-4
21-P-004	2021年2月	新型コロナに対する韓国社会の対応:情報、介入、社会的コスト	権 赫旭(RIETI) 金 榮慤(専修大学)	VI-4
21-P-005	2021年2月	新型コロナ危機への財政的対応:2020年前半期の記録	安藤 道人(立教大学) 古川 知志雄(横浜国立大学) 中田 大悟(RIETI) 角谷 和彦(RIETI)	その他
21-P-006	2021年2月	Productivity of Firms Using Relief Policies During the COVID-19 Crisis	MORIKAWA Masayuki(RIETI)	その他
21-P-007	2021年2月	「なでしこ銘柄」選定の株価への短期的効果	角谷 和彦(RIETI)	IX-2
21-P-008	2021年3月	選択的な外国人受け入れ政策の下にある外国人住民の実態	劉 洋(RIETI) 萩原 里紗(明海大学)	VII-5

フェローの研究成果が英文査読付学術誌などに掲載されています。掲載論文および学術誌名などの一覧です。

▶ <https://www.rieti.go.jp/jp/publications/published/>

1	Endo, Kazumi. "Corporate governance beyond the shareholder-stakeholder dichotomy: Lessons from Japanese corporations' environmental performance." <i>Business Strategy and the Environment</i> , Volume 29, Issue 4 (2020), 1625-1633. https://onlinelibrary.wiley.com/doi/full/10.1002/bse.2457 RIETI Discussion Paper, 17-J-019 https://www.rieti.go.jp/jp/publications/summary/17030045.html
2	Ara, Tomohiro. "Country size, technology, and ricardian comparative advantage." <i>Review of International Economics</i> , Volume 28, Issue 2 (2020), 303-564. https://onlinelibrary.wiley.com/doi/full/10.1111/roie.12461 RIETI Discussion Paper, 15-E-023 https://www.rieti.go.jp/jp/publications/summary/15020015.html
3	Ishikawa, Jota, Hodaka Morita, and Hiroshi Mukunoki. "Parallel imports and repair services." <i>Journal of Economic Behavior & Organization</i> , Volume 172 (2020), 137-160. https://www.sciencedirect.com/science/article/abs/pii/S0167268120300305 RIETI Discussion Paper, 15-E-060 https://www.rieti.go.jp/jp/publications/summary/15050012.html
4	Ito, Koji, Ivan Deseatnicov, and Kyoji Fukao. "Japan's participation in global value chains: Splitting the IO table into production for export and domestic sale." <i>Economic Systems Research</i> , Volume 32, Issue 2 (2020), 173-191. https://www.tandfonline.com/doi/abs/10.1080/09535314.2019.1657802?journalCode=cesr20 RIETI Discussion Paper, 17-E-117 https://www.rieti.go.jp/jp/publications/summary/17100010.html
5	Tsuruta, Daisuke. "SME Policies as a barrier to growth of SMEs." <i>Small Business Economics</i> , Volume 54(4) (2020), 1067-1106. https://doi.org/10.1007/s11187-018-0119-0 RIETI Discussion Paper, 17-E-046 https://www.rieti.go.jp/jp/publications/summary/17030058.html
6	Kitao, Sagiri, and Minamo Mikoshiba. "Females, the elderly, and also males: Demographic aging and macroeconomy in Japan." <i>Journal of the Japanese and International Economies</i> , Volume 56 (2020). https://www.sciencedirect.com/science/article/pii/S0889158320300022 RIETI Discussion Paper, 19-E-039 https://www.rieti.go.jp/jp/publications/summary/19050016.html
7	Oshio, Takashi, Satoshi Shimizutani, and Akiko S. Oishi. "Examining how elderly employment is associated with institutional disincentives in Japan." <i>Journal of the Japanese and International Economies</i> , Volume 56 (2020). https://www.sciencedirect.com/science/article/pii/S0889158320300150 RIETI Discussion Paper, 19-E-080 https://www.rieti.go.jp/jp/publications/summary/19100018.html
8	Morita, Tadashi, Yukiko Sawada, and Kazuhiro Yamamoto. "Subsidy competition and imperfect labor markets." <i>Journal of Public Economic Theory</i> , Volume 22, Issue 3 (2020), 698-728. https://onlinelibrary.wiley.com/doi/pdf/10.1111/jpet.12400 RIETI Discussion Paper, 16-E-096 https://www.rieti.go.jp/jp/publications/summary/16100010.html
9	Ibuka, Yoko, Yasumasa Matsuda, Keishi Shoji, and Tsukasa Ishigaki. "Evaluation of regional variations in healthcare utilization." <i>Japanese Journal of Statistics and Data Science</i> , Volume 3, Issue 1 (2020), 349-365. https://link.springer.com/article/10.1007/s42081-020-00082-z RIETI Discussion Paper, 17-J-036 https://www.rieti.go.jp/jp/publications/summary/17050005.html
10	Ono, Yoshikuni, and Masahiro Yamada. "Do voters prefer gender stereotypic candidates? Evidence from a conjoint survey experiment in Japan." <i>Political Science Research and Methods</i> , Volume 8, Issue 3 (2020), 477-492. https://www.cambridge.org/core/journals/political-science-research-and-methods/article/dovoters-prefer-gender-stereotypic-candidates-evidence-from-a-conjoint-survey-experiment-in-japan/52469B655EAEA141116CC00CFF2F8A64 RIETI Discussion Paper, 18-E-039 https://www.rieti.go.jp/jp/publications/summary/18060006.html
11	Morita, Tadashi, Yasuhiro Sato, and Kazuhiro Yamamoto. "Demographics and competition for capital in political economy." <i>International Tax Public Finance</i> , Volume 27, Issue 4 (2020), 865-889. https://link.springer.com/article/10.1007/s10797-019-09587-0 RIETI Discussion Paper, 16-E-091 https://www.rieti.go.jp/jp/publications/summary/16090013.html
12	Furukawa, Yuichi, Tat-Kei Lai, and Kenji Sato. "Novelty-seeking traits and applied research activities." <i>Applied Economics Letters</i> , Volume 27, Issue 11 (2020), Pages 945-950. https://www.tandfonline.com/doi/abs/10.1080/13504851.2019.1646868 RIETI Discussion Paper, 18-E-073 https://www.rieti.go.jp/jp/publications/summary/18100012.html

13	Konishi, Yoko. "Rank-size distribution and the geographical dispersion of tourist flows in Japan." <i>Thailand and the world Economy</i> , Vol.38 No.2 (2020), 41-62. https://so05.tci-thaijo.org/index.php/TER/article/view/210161 RIETI Discussion Paper, 19-J-008 https://www.rieti.go.jp/jp/publications/summary/19020008.html
14	Francesca Spinelli, Dorothée Rouzet, and Hongyong Zhang. "Networks of foreign affiliates: Evidence from Japanese micro - data." <i>The World Economy</i> , Volume 43, Issue 7 (2020), 1841-1867. https://onlinelibrary.wiley.com/doi/10.1111/twec.12963 RIETI Discussion Paper, 18-E-057 https://www.rieti.go.jp/jp/publications/summary/18090001.html
15	Konishi, Yoko, and Yoshihiko Nishiyama. "Efficiency of the retail industry: Case of inelastic supply." <i>Advances in Decision Sciences</i> , Volume24, Issue2 (2020), 134-166. http://journal.asia.edu.tw/ADS/2020/06/30/volume-24-issue-2-june-2020/ RIETI Discussion Paper, 16-E-054 https://www.rieti.go.jp/jp/publications/summary/16030071.html
16	Honjo, Yuji and Hiroki Nakamura. "The link between entrepreneurship and informal investment: An international comparison." <i>Japan and The World Economy</i> , Volume 54 (2020). https://www.sciencedirect.com/science/article/abs/pii/S092214252030013X RIETI Discussion Paper, 19-E-017 https://www.rieti.go.jp/jp/publications/summary/19030017.html
17	Morikawa, Masayuki. "Effects of outside directors on firms' investments and performance: Evidence from a quasi-natural experiment in Japan." <i>Journal of the Japanese and International Economies</i> , Volume 56, (2020). https://www.sciencedirect.com/science/article/pii/S0889158320300113 RIETI Discussion Paper, 19-E-072 https://www.rieti.go.jp/jp/publications/summary/19090008.html
18	Thorbecke, Willem, and Nimesh Salike, "Export sophistication and trade elasticities." <i>Journal of Asian Economic Integration</i> , Volume 2, Issue 1 (2020), 7-26. https://journals.sagepub.com/doi/10.1177/2631684620910276 RIETI Discussion Paper, 18-E-061 https://www.rieti.go.jp/jp/publications/summary/18090007.html
19	Onishi, Koichiro, and Sadao Nagaoka. "Graduate education and long - term inventive performance: Evidence from undergraduates' choices during recessions." <i>Journal of Economic and Management Strategy</i> , Volume 29, Issue 3 (2020), 463-464. https://onlinelibrary.wiley.com/doi/abs/10.1111/jems.12382 RIETI Discussion Paper, 18-E-016 https://www.rieti.go.jp/jp/publications/summary/18030011.html
20	土居丈朗「日本の法人税改革における法人課税の帰着－外形標準課税拡大の動学的分析－」,『日本経済研究』No.78, pp.1- 34, 2020 年. (英文: Doi, Takero, "Dynamic analysis on corporate tax reform in Japan." <i>JCER economic journal</i> , No.78 (2020), 1-34.) https://www.jcer.or.jp/publications/jer_078.html RIETI Discussion Paper, 17-J-051 https://www.rieti.go.jp/jp/publications/summary/17080014.html
21	Higuchi, Yuki, Miyuki Sasaki, and Makiko Nakamuro. "Impacts of an ICT-assisted program on attitudes and english communication abilities: An experiment in a Japanese high school." <i>Asian Development Review</i> , Volume 37, Issue 2 (2020), 100-133. https://www.mitpressjournals.org/doi/full/10.1162/adev_a_00151 RIETI Discussion Paper, 17-E-030 https://www.rieti.go.jp/jp/publications/summary/17030031.html
22	Hosono, Kaoru, Daisuke Miyakawa, Miho Takizawa, and Kenta Yamanouchi. "Complementarity and substitutability between tangible and intangible capital: Evidence from Japanese firm-level data." <i>The Singapore Economic Review</i> , Volume 65, No. 05 (2020), 1293-1321. https://www.worldscientific.com/doi/pdf/10.1142/S0217590819500735 RIETI Discussion Paper, 16-E-024 https://www.rieti.go.jp/jp/publications/summary/16030019.html
23	Kashiwagi, Yuzuka. "The heterogeneous impact of post-disaster subsidies on small and medium firms." <i>Economics of Disasters and Climate Change</i> , Volume 4, Issue 3 (2020), 601-623. https://link.springer.com/article/10.1007%2Fs41885-020-00065-0 RIETI Discussion Paper, 19-E-029 https://www.rieti.go.jp/jp/publications/summary/19040009.html
24	Ando, Michihito, Chishio Furukawa, Daigo Nakata, and Kazuhiko Sumiya. "Fiscal responses to the COVID-19 crisis in Japan: The first six months." <i>National Tax Journal</i> , Volume 73, Issue 3 (2020), 901-926. https://doi.org/10.17310/ntj.2020.3.12 RIETI Discussion Paper, 20-P-018 https://www.rieti.go.jp/jp/publications/summary/20070005.html
25	木村もりよ, 関沢洋一, 藤井聡「高齢者と非高齢者の 2 トラック型の新型コロナウイルス対策について」,『実践政策学』第 6 巻 1 号, pp.109-114, 2020 年. (英文: Kimura, Moriyo, Yoichi Sekizawa, and Satoshi Fujii. "Proposal of two-track countermeasure dividing elderly and non-elderly people against the COVID-19 pandemic." <i>Policy and Practice Studies</i> , Volume 6, Number 1 (2020), 109-114.) https://policy-practice.com/db/6_109.pdf
26	Hayakawa, Kazunobu, Jota Ishikawa, and Nori Tarui. "What goes around comes around: Export-enhancing effects of import-tariff reductions." <i>Journal of International Economics</i> , Volume 126, (2020), 103362. https://doi.org/10.1016/j.jinteco.2020.103362

27	Okada, Yoshimi, and Sadao Nagaoka. "Effects of early patent publication on knowledge dissemination: evidence from U.S. patent law reform." <i>Information Economics and Policy</i> , Volume 51 (2020), 100852. https://www.sciencedirect.com/science/article/pii/S0167624518300131?via%3Dihub
28	Onuma, Hiroki, and Toshi H. Arimura. "Climate policy in the commercial sector: A survey of commercial buildings in Japan." <i>Carbon Pricing in Japan</i> (2020), Chapter 2, 23-43. https://doi.org/10.1007/978-981-15-6964-7_2
29	Fukumura, Koichi, Kohei Nagamachi, Yasuhiro Sato, and Kazuhiro Yamamoto. "Demographics, immigration, and market size." <i>Japanese Economic Review</i> , Volume 71, Issue 4 (2020), 597-639. https://link.springer.com/article/10.1007/s42973-019-00023-w#citeas RIETI Discussion Paper, 17-E-103 https://www.rieti.go.jp/publications/summary/17070016.html
30	Ogawa, Kazuo. "Inefficiency in rice production and land use: A panel study of Japanese rice farmers." <i>The Japanese Economic Review</i> , Volume 71 (2020), 641-669. https://link.springer.com/article/10.1007/s42973-019-00015-w RIETI Discussion Paper, 17-E-020 https://www.rieti.go.jp/publications/summary/17030012.html
31	関沢洋一, 木村もりよ, 縄田和満「特定保健指導の積極的支援の対象となることはある健康保険組合の組合員の循環器疾患リスクの減少につながったか? : 回帰分断デザイン(RDD)による検証」,『医療経済研究』Vol.32, No.1, 2020 年. (英文: Sekizawa, Yoichi, Moriyo Kimura, and Kazumitsu Nawata. "Was being notified of eligibility for "aggressive health guidance" under Japan's specific health checkup system effective in reducing risk factors of cardiovascular diseases for male members of a health insurance society?: Examination using Regression Discontinuity Design." <i>Japanese Journal of Health Economics and Policy</i> , Vol.32, No.2 (2020)). https://www.ihp.jp/wp-content/uploads/2020/07/Vol.32_No.1_2020_3-2.pdf
32	Thorbecke, Willem. "The impact of the COVID-19 pandemic on the U.S. economy: Evidence from the stock market." <i>Journal of Risk and Financial Management</i> , Volume 13, Issue 10 (2020). https://www.mdpi.com/1911-8074/13/10/233 RIETI Discussion Paper, 20-E-068 https://www.rieti.go.jp/publications/summary/20080002.html
33	Hoshino, Tadao, Daichi Shimamoto, and Yasuyuki Todo. "Accounting for heterogeneity in network formation behavior: An application to Vietnamese SMEs." <i>Oxford Bulletin of Economics and Statistics</i> , Volume 82, Issue 5 (2020), 1042-1067. https://onlinelibrary.wiley.com/doi/10.1111/obes.12360 RIETI Discussion Paper, 17-E-023 https://www.rieti.go.jp/publications/summary/17030020.html
34	Konishi, Yoko, and Takashi Saito. "Total Factor Productivity Changes in Japanese Small and Medium-Sized Enterprises in 1982-2016: Suggestive Indications of an IT Revolution?" <i>Asian Economic Papers</i> , Vol. 19, No. 3 (2020), 21-37. https://www.mitpressjournals.org/doi/full/10.1162/asep_a_00781
35	Morita, Tamaki, and Shunsuke Mangai. "Autonomous vehicles: Willingness to pay and the social dilemma." <i>Transportation Research Part C: Emerging Technologies</i> , Volume 119 (2020), 102748. https://www.sciencedirect.com/science/article/pii/S0968090X20306616?via%3Dihub RIETI Discussion Paper, 18-J-004 https://www.rieti.go.jp/publications/summary/18010008.html
36	Sato, Daisuke, Yuichi Ikeda, Shuichi Kawai, and Maximilian Schich. "The sustainability and the survivability of Kyoto's traditional craft industry revealed from supplier-customer network." <i>PLOS ONE</i> , 15(11): e0240618. https://doi.org/10.1371/journal.pone.0240618 RIETI Discussion Paper, 20-E-044 https://www.rieti.go.jp/publications/summary/20050005.html
37	Choi, Jay Pil, Taiji Furusawa, and Jota Ishikawa. "Transfer pricing regulation and tax competition." <i>Journal of International Economics</i> , Volume 127 (2020), 103367. https://doi.org/10.1016/j.jinteco.2020.103367 RIETI Discussion Paper, 20-E-035 https://www.rieti.go.jp/publications/summary/20040016.html
38	Jinji, Naoto, and Ayumu Tanaka. "How does UNESCO's convention on cultural diversity affect trade in cultural goods?" <i>Journal of Cultural Economics</i> , Volume 44, Issue 4 (2020), 625-660. https://link.springer.com/article/10.1007%2Fs10824-020-09380-6 RIETI Discussion Paper, 15-E-126 https://www.rieti.go.jp/publications/summary/15110009.html
39	Aizenman, Joshua, and Hirofumi Ito. "The political-economy trilemma." <i>Open Economies Review</i> , Volume 31, Issue 5 (2020), 945-975. https://link.springer.com/article/10.1007%2Fs11079-020-09588-1 RIETI Discussion Paper, 20-E-018 https://www.rieti.go.jp/publications/summary/20030008.html
40	Onuma, Hiroki, Shigeru Matsumoto, and Toshi H. Arimura. "How much household electricity consumption is actually saved by replacement with Light-Emitting Diodes (LEDs)?" <i>Economic Analysis and Policy</i> , Volume 68 (2020), 224-238. https://www.sciencedirect.com/science/article/abs/pii/S0313592620304264
41	Miyao, Ryuzo, and Tatsuyoshi Okimoto. "The Macroeconomic effects of Japan's unconventional monetary policies." <i>The Manchester School</i> , Volume 88, Issue 6(2020), 749-772. https://onlinelibrary.wiley.com/doi/10.1111/manc.12323 RIETI Discussion Paper, 17-E-065 https://www.rieti.go.jp/publications/summary/17050001.html

42	Ara, Tomohiro, and Hongyong Zhang. "The margins of intermediate-good trade: Theory and evidence." <i>The International Economy</i> , Volume 23 (2020), 105-144. https://www.jstage.jst.go.jp/article/internationaleconomy/advpub/0/advpub_ie2020.23.06.ta/_article RIETI Discussion Paper, 19-E-109 https://www.rieti.go.jp/jp/publications/summary/19120018.html
43	Iino, Takashi, Hiroyasu Inoue, Yukiko Umeno Saito, and Yasuyuki Todo. "How does the global network of research collaboration affect the quality of innovation?" <i>Japanese Economic Review</i> , Volume 72, issue 1 (2021), 5-48. https://link.springer.com/article/10.1007/s42973-020-00042-y RIETI Discussion Paper, 18-E-070 https://www.rieti.go.jp/jp/publications/summary/18100009.html
44	Thorbecke, Willem. "How Japanese firms can weather endaka periods: Evidence from the Japanese transportation equipment industry." <i>Japan and the World Economy</i> , Volume 56 (2020), 101035. https://www.sciencedirect.com/science/article/pii/S0922142520300360 RIETI Discussion Paper, 20-E-024 https://www.rieti.go.jp/jp/publications/summary/20030016.html
45	Matsumoto, Shigeru, and Hiroki Onuma. "Measuring household ability to adopt new technology: The case of light-emitting diodes (LEDs)." <i>Journal of Cleaner Production</i> , Volume 277 (2020), 123323. https://doi.org/10.1016/j.jclepro.2020.123323
46	Inoue, Hiroyasu and Yasuyuki Todo. "The propagation of economic impacts through supply chains: The case of a mega-city lockdown to prevent the spread of COVID-19." <i>PLOS ONE</i> , 15(9): e0239251. https://doi.org/10.1371/journal.pone.0239251 RIETI Discussion Paper, 20-E-037 https://www.rieti.go.jp/jp/publications/summary/20040018.html
47	Ito, Tadashi, and Yukiko Umeno Saito. "Indirect trade and direct trade: Evidence from Japanese firm transaction data." <i>The World Economy</i> , Volume 44, Issue 2 (2021), 444-461. https://onlinelibrary.wiley.com/doi/10.1111/twec.12997 RIETI Discussion Paper, 18-E-065 https://www.rieti.go.jp/jp/publications/summary/18100002.html
48	Mizuno, Makoto, Hideaki Aoyama, and Yoshi Fujiwara. "Untangling the complexity of market competition in consumer goods - A complex Hilbert PCA analysis." <i>PLOS ONE</i> , 16(2): e0245531. https://doi.org/10.1371/journal.pone.0245531 RIETI Discussion Paper, 20-E-070 https://www.rieti.go.jp/jp/publications/summary/20080004.html
49	Dastidar, Krishnendu Ghosh, and Makoto Yano. "Corruption, market quality and entry deterrence in emerging economies." <i>International Journal of Economic Theory</i> , Vol.17, Issue 1 (2021), 101-117. https://onlinelibrary.wiley.com/doi/full/10.1111/ijet.12265117 RIETI Discussion Paper, 17-E-010 https://www.rieti.go.jp/jp/publications/summary/17020006.html
50	Honryo, Takakazu, and Makoto Yano. "Idiosyncratic information and vague communication." <i>American Political Science Review</i> , Volume 115, Issue 1 (2021), 165-178. https://www.cambridge.org/core/journals/american-political-science-review/article/idiosyncratic-information-and-vague-communication/B6071058FA36C45AC6C400C406688213
51	Sekizawa, Yoichi, and Yoko Konishi. "Are consumer confidence and asset value expectations positively associated with length of daylight?: An exploration of psychological mediators between length of daylight and seasonal asset price transitions." <i>PLOS ONE</i> , 16(1): 0245520. https://doi.org/10.1371/journal.pone.0245520 RIETI Discussion Paper, 19-J-057 https://www.rieti.go.jp/jp/publications/summary/19100017.html
52	Thorbecke, Willem. "Non-traditional monetary policy and the future of the financial industries." <i>The International Journal of Economic Policy Studies</i> , Volume 15, Issue 1 (2021), 5-21. https://link.springer.com/article/10.1007/s42495-020-00044-z#Ack1 RIETI Discussion Paper, 20-E-025 https://www.rieti.go.jp/jp/publications/summary/20030018.html
53	Ito, Banri. "Trade exposure and electoral protectionism: Evidence from Japanese politician-level data." <i>Review of World Economics</i> , Volume 157, Issue 1 (2021), 181-205. https://link.springer.com/article/10.1007/s10290-020-00392-0 RIETI Discussion Paper, 18-E-034 https://www.rieti.go.jp/jp/publications/summary/18050013.html
54	Yokoyama, Izumi, Kazuhito Higa and Daiji Kawaguchi. "Employment adjustments of regular and non-regular workers to exogenous shocks: Evidence from exchange-rate fluctuation." <i>Industrial and Labor Relations Review</i> , Volume 74, Issue 2 (2021), 470-510. https://doi.org/10.1177/0019793919887961 RIETI Discussion Paper, 15-E-139 https://www.rieti.go.jp/jp/publications/summary/15120007.html
55	Kikuchi, Shinnosuke, Sagiri Kitao, and Minamo Mikoshiba. "Who suffers from the COVID-19 shocks? Labor market heterogeneity and welfare consequences in Japan." <i>Journal of the Japanese and International Economies</i> , Volume 59 (2021), 101117. https://www.sciencedirect.com/science/article/pii/S088915832030054X RIETI Discussion Paper, 20-E-064 https://www.rieti.go.jp/jp/publications/summary/20070004.html

56	Mukunoki, Hiroshi. "Trade liberalization and incentives to implement antidumping protection." <i>International Review of Economics and Finance</i> , Volume 72 (2021), 422-437. https://www.sciencedirect.com/science/article/pii/S1059056020302835?via%3Dihub RIETI Discussion Paper, 17-E-031 https://www.rieti.go.jp/jp/publications/summary/17030032.html
57	Miyakawa, Daisuke, Koki Oikawa, and Kozo Ueda. "Firm exit during the COVID-19 pandemic: evidence from Japan." <i>Journal of the Japanese and International Economies</i> , Volume 59 (2021), 101118. https://www.sciencedirect.com/science/article/pii/S0889158320300551?via%3Dihub RIETI Discussion Paper, 20-E-065 https://www.rieti.go.jp/jp/publications/summary/20070007.html
58	Tsuruta, Daisuke. "Lack of successors, firm default, and the performance of small businesses." <i>Japan and the World Economy</i> , Volume 57 (2021), 101051. https://www.sciencedirect.com/science/article/abs/pii/S0922142520300517?via%3Dihub RIETI Discussion Paper, 19-E-047 https://www.rieti.go.jp/jp/publications/summary/19070001.html
59	Ito, Hirotake, Keiko Kasai, Hiromu Nishiuchi, and Makiko Nakamuro. "Does computer-aided instruction improve children's cognitive and non-cognitive skills?" <i>Asian Development Review</i> , Volume 38, Issue 1 (2021), 98-118. https://direct.mit.edu/adev/article/38/1/98/98308/Does-Computer-Aided-Instruction-Improve-Children-s RIETI Discussion Paper, 19-E-040 https://www.rieti.go.jp/jp/publications/summary/19050017.html
60	Kiyota, Kozo, Toshiyuki Matsuura, and Yoshio Higuchi. "Multinationals, intra - firm trade and employment volatility." <i>Canadian Journal of Economics Revue canadienne deconomique</i> , Volume 53, Issue 3 (2020), 867-1358. https://onlinelibrary.wiley.com/doi/full/10.1111/caje.12452 RIETI Discussion Paper, 16-E-087 https://www.rieti.go.jp/jp/publications/summary/16090003.html
61	Sato, Kiyotaka, Junko Shimizu, Nagendra Shrestha, and Shajuan Zhang. "New empirical assessment of export price competitiveness: Industry-specific real effective exchange rates in Asia." <i>North American Journal of Economics and Finance</i> , Volume 54 (2020), 101262. https://www.sciencedirect.com/science/article/abs/pii/S1062940820301595 RIETI Discussion Paper, 15-E-036 https://www.rieti.go.jp/jp/publications/summary/15030021.html
62	Iyetomi, Hiroshi, Hideaki Aoyama, Yoshi Fujiwara, Wataru Souma, Irena Vodenska, and Hiroshi Yoshikawa. "Relationship between macroeconomic indicators and economic cycles in U.S." <i>Scientific Reports</i> , 10 (2020), 8420. https://doi.org/10.1038/s41598-020-65002-3
63	Vodenska, Irena, Hideaki Aoyama, Alexander P. Becker, Yoshi Fujiwara, Hiroshi Iyetomi, and Eliza Lungu. "From stress testing to systemic stress testing: The importance of macroprudential regulation." <i>Journal of Financial Stability</i> , Volume 52 (2021), 100803. https://doi.org/10.1016/j.jfs.2020.100803
64	Altura, Thomas G., Yuki Hashimoto, Sanford M. Jacoby, Kaoru Kanai, and Kazuro Saguchi. "Japan meets the sharing economy: Contending frames." <i>Social Science Japan Journal</i> , Volume 24, Issue 1 (2021), 137-161. https://doi.org/10.1093/ssjj/jyaa041
65	Fujiwara, Ippei and Yuichiro Waki. "Fiscal forward guidance: A case for selective transparency." <i>Journal of Monetary Economics</i> , Volume 116 (2020), 236-248. https://www.sciencedirect.com/science/article/pii/S0304393219301916# RIETI Discussion Paper, 17-E-087 https://www.rieti.go.jp/jp/publications/summary/17060005.html
66	小橋文子「技術規制と企業の輸出活動：日本の製造業企業の実証分析」,『国際経済』No.71, pp.191-222, 2020年. (英文:Obashi, Ayako, "Technical regulations and margins of trade: Evidence from Japanese manufacturing firms." <i>KOKUSAI KEIZAI</i> , 2020 Volume 71 (2020), 191-222.) https://www.jstage.jst.go.jp/article/kokusaikeizai/71/0/71_kk2020.c05/_article/-char/ja/

発信活動

研究成果の普及

政策研究機関にとって重要な役割は、研究活動を行うとともに、その成果を広く普及し、政策論争を呼び起こすことにあります。RIETIの研究成果は、出版物、ウェブサイト、各種広報資料、シンポジウム・ワークショップ・セミナーなどを通じて普及しています。

出版物

ウェブサイト

各種広報資料

シンポジウム

ワークショップ

BBL セミナー

外国人登壇者

研究成果はさまざまな出版社から刊行されています。
これらの出版物は情報の提供という面だけでなく、情報の蓄積という面でも社会に貢献しています。

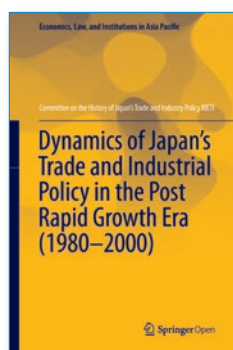
▶ <https://www.rieti.go.jp/jp/publications/>

RIETI第1～4期の出版物についても、以下URLで紹介しています。

▶ https://www.rieti.go.jp/jp/publications/act_rb.html

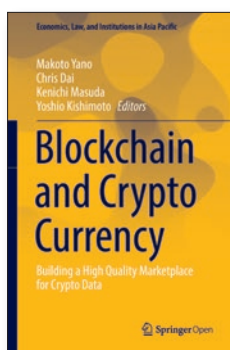
▶ https://www.rieti.go.jp/jp/publications/act_rb_en.html

第5期の出版物のご紹介(2020年～2021年)



Dynamics of Japan's Trade and Industrial Policy in the Post Rapid Growth Era (1980-2000)

- April 2020
- Written by Committee on the History of Japan's Trade and Industry Policy RIETI
- Springer



Blockchain and Crypto Currency

- April 2020
- Edited by YANO Makoto, Chris DAI, MASUDA Kenichi, KISHIMOTO Yoshio
- Springer



人は生まれ変わる 一縄文の心で アフター・コロナを生きる

- 2020年7月
- 藤和彦 著
- ベストブック



コロナ危機の 経済学： 提言と分析

- 2020年7月
- 小林 慶一郎、森川 正之 編著
- 日経BP



マクロ経済学の 再構築 ケインズとシュンペーター

- 2020年8月
- 吉川 洋 著
- 岩波書店



大規模災害リスクと 地域企業の事業継続計画 —中小企業の強靱化と 地域金融機関による支援

- 2020年9月
- 家森 信善、浜口 伸明、野田 健太郎 編著
- 中央経済社



なぜ「よそ者」とつながることが 最強なのか： 生存戦略としての ネットワーク経済学入門

- 2020年12月
- 戸堂 康之 著
- プレジデント社



AIは社会を 豊かにするのか 人工知能の経済学Ⅱ

- 2021年3月
- 馬奈木 俊介 編著
- ミネルヴァ書房

日本語・英語・中国語で運営されているウェブサイトはRIETIの広報活動における柱の1つです。フェローの研究成果である「ディスカッション・ペーパー」や、各プロジェクトの研究成果を広く世に問い、政策議論を活性化するためのひとつの手段として開催している政策シンポジウムの動画や議事録、研究員による政策提言的なコラム等をウェブ上で公開し、個別の政策 이슈を深く掘り下げて配信しています。

個別フェローや研究会独自のコンテンツにも力を入れ、
他では入手することのできない貴重なコンテンツをとりそろえています。

例えば



rietchannelでは、シンポジウム・セミナーの様態を動画で紹介しています。また各界の有識者を迎えてのインタビューや、日本が取り組むべき問題についての対談や経済・政治・社会問題等のホットトピックスに関するフェローの論点を紹介し、それらの動画も提供しています。

『コラム』のコーナーでは、フェローによる政策提言的な寄稿を掲載しています。またタイムリーなテーマについては「特別コラム」として特集し、2020年度は「新型コロナウイルス―課題と分析」と題したコラムを多数掲載しました。

<https://www.rieti.go.jp/jp/columns/>

また、様々なグローバル・ 이슈について、日米欧アジア等の有識者、シンクタンクとともに世界の情報を集約し、ポスト・コロナの新しい国際秩序像を議論、政策選択肢を提言、発信するグローバル・インテリジェンス・シリーズ(GIS)やDX(デジタル・トランスフォーメーション)の理解を深めるための特設ページを開設、『世界の視点から』のコーナーでは、米国をはじめとする世界の有力な研究者による、さまざまなテーマについての日本へのメッセージを紹介しています。

<https://www.rieti.go.jp/jp/projects/gis/index.html>

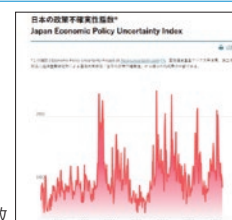
<https://www.rieti.go.jp/jp/projects/dx/index.html>

https://www.rieti.go.jp/jp/special/p_a_w/

「EBPM Report」では、エビデンスに基づく政策形成(EBPM:Evidence-Based Policy Making)に関連するレポートを掲載しています。EBPMへの関心が世界的に高まる中、学術的・政策的視点からフェローがさまざまな課題について発信しています。

「日本の政策不確実性指数 Japan Economic Policy Uncertainty Index」では、RIETIと国際通貨基金アジア太平洋局による国際共同研究「日本の政策不確実性」から得られた成果の一部である政策不確実性指数を公開しています。

<https://www.rieti.go.jp/jp/database/policyuncertainty/>



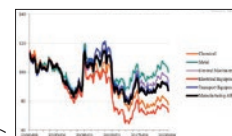
日本の政策不確実性指数

「産業・企業生産性向上」プログラムの成果の一部として、日本の経済成長と産業構造変化を分析するための基礎資料である「日本産業生産性データベース2018年版」を2019年3月より公開しています(Japan Industrial Productivity Database 2018:JIP2018)。

<https://www.rieti.go.jp/jp/database/JIP2018/>

「通貨バスケットに関する研究」プロジェクトでは、2011年6月より産業別の実質実効為替相場、実質実効為替相場、日中韓の産業別の実質実効為替相場のデータを公開し、内外の政策担当者の注目を集めています。2015年3月から、アジア9カ国の産業別実効為替レート(名目および実質)を月次データと日次データの両方で公開。2018年2月にはレート公開国は欧州・北米・オセアニアの国々を含めた25カ国になりました。

<https://www.rieti.go.jp/users/eeri/>



産業別実質実効為替レート

「くらしと健康の調査」(JSTAR:Japanese Study of Aging and Retirement)では、RIETIと一橋大学、東京大学が共同で実施している50歳以上の中高齢者を対象としたパネル調査の情報を掲載しています。

<https://www.rieti.go.jp/jp/projects/jstar/>

欧州の代表的な研究機関Centre for Economic Policy Research(CEPR)と協力関係を結び、RIETIフェローのコラムをCEPRが運営する政策ポータルサイトであるVoxEU.orgに掲載することを通じ研究成果をより国際的に発信していくとともに、VoxEU.orgのコラムをRIETIウェブサイトにも掲載して海外の主要な論調を紹介し、政策議論へ貢献しています。

<https://www.rieti.go.jp/en/columns/voxeu.html>

『フェローの連載』には、急速に拡大するInternet of Things(IoT)についてさまざまな視点で考察する「IoT、AI等デジタル化の経済学」(岩本晃一RAS)、中国の経済改革、中国経済学、中国の産業と企業、世界の中の中国、日中関係の5つの分野に焦点を当てた「中国経済新論」(関志雄CF)、Shiro Armstrong VSによる東アジア地域(日本、ASEAN、オーストラリアほか)の経済・通商に関する 이슈を考察する「East Asian Economic Strategies」(英文サイト)などがあります。

<https://www.rieti.go.jp/papers/fellow-contents.html>

研究成果を広く普及し、政策論議の活性化に寄与するため、RIETIではさまざまな広報資料を作成しています。
ここに紹介する広報資料は全てウェブサイトからもダウンロード可能です。

研究成果の紹介

RIETI Highlight(広報誌)

▶ <https://www.rieti.go.jp/jp/about/pr/archive.html>

- ・ A4判
- ・ 50頁程度
- ・ 言語:和／英(英語は特別号のみ)

特集記事、シンポジウムやセミナーの開催報告、新刊本の書評、フェローによるコラムなど、四半期ごとにRIETIの最新活動状況を紹介しています。
このほか、フェローへのインタビューや座談会も掲載しています。2020年度から、特集を2つにしています。

季刊号(日本語版)



特別号(英語版)



RIETIの紹介

ブローシャ

▶ <https://www.rieti.go.jp/jp/about/pr/brochure.html>

- ・ 言語:和／英／中

RIETIの設立目的、研究成果、成果普及活動、組織図などをコンパクトに紹介しています。



アニュアルレポート(年次報告書)

▶ https://www.rieti.go.jp/jp/about/pr/index_report.html

- ・ A4判
- ・ 80頁程度
- ・ 言語:和／英／中(中国語はPDFのみ)

研究プロジェクトと研究成果、成果普及活動、フェローの一覧など、RIETIの全活動を年度ごとに網羅的に紹介しています。



※講師等は登壇順で記載しています。
※講師等の肩書については、開催当時の名称で記載しています。

RIETI公開BBLウェビナー

運と偶然の経済学 一占いからパンデミックまで

<https://www.rieti.go.jp/jp/events/20042301/info.html>

開催日	2020年4月23日
主催	RIETI

スピーカー／パネリスト等

植村 修一(経済・ビジネス評論家)

RIETI公開BBLウェビナー

ポスト・コロナ世界のグローバル・バリューチェーン

<https://www.rieti.go.jp/jp/events/20051501/info.html>

開催日	2020年5月15日
主催	RIETI

スピーカー／パネリスト等

猪俣 哲史(日本貿易振興機構(ジェトロ)アジア経済研究所 上席主任調査研究員)

小野寺 修(METI通商政策局 通商交渉官)

RIETI公開BBLウェビナー

エビデンスに基づく政策決定—新技術と雇用を例に—

<https://www.rieti.go.jp/jp/events/20052201/info.html>

開催日	2020年5月22日
主催	RIETI
参加者数	39名

スピーカー／パネリスト等

川口 大司(RIETI PD／東京大学公共政策大学院 教授・東京大学大学院経済学研究科政策評価研究教育センター センター長)

森田 芳弘(METI製造産業局機械課ロボット政策室 調査員)

佐分利 応貴(RIETI 国際・広報ディレクター)

RIETI公開BBLウェビナー

世界から見る北朝鮮—国連による北朝鮮制裁の現状と課題、そしてパンデミックがもたらす影響

<https://www.rieti.go.jp/jp/events/20052901/info.html>

開催日	2020年5月29日
主催	RIETI
参加者数	74名

スピーカー／パネリスト等

竹内 舞子(国連安保理北朝鮮制裁委員会専門家 パネル委員)

末森 洋紀(METI貿易管理部 情報調査室長)

佐分利 応貴(RIETI 国際・広報ディレクター)

RIETI公開BBLウェビナー

世界・アジア太平洋地域経済見通し「大封鎖」—他に類を見ない危機

<https://www.rieti.go.jp/jp/events/20060401/info.html>

開催日	2020年6月4日
主催	RIETI

スピーカー／パネリスト等

鷺見 周久(国際通貨基金(IMF)アジア太平洋地域事務所 所長)

中島 厚志(RIETI CF／新潟県立大学国際経済学部 教授)

佐分利 応貴(RIETI 国際・広報ディレクター)

RIETI公開BBLウェビナー

2020年版ものづくり白書の概要:不確実性の時代における製造業の企業変革力(ダイナミック・ケイパビリティ)

<https://www.rieti.go.jp/jp/events/20061201/info.html>

開催日	2020年6月12日
主催	RIETI
参加者数	108名

スピーカー／パネリスト等

中野 剛志(METI製造産業局 参事官(デジタルトランスフォーメーション・イノベーション担当)(併)ものづくり政策審議室長)

佐分利 応貴(RIETI 国際・広報ディレクター)

RIETI公開BBLウェビナー

エネルギー白書 2020 について

<https://www.rieti.go.jp/jp/events/20061901/info.html>

開催日	2020年6月19日
主催	RIETI
参加者数	99名

スピーカー／パネリスト等

長谷川 洋(資源エネルギー庁長官官房総務課 調査広報室長)

佐分利 応貴(RIETI 国際・広報ディレクター)

RIETI公開BBLウェビナー

How the Coronavirus Crisis is Affecting Japanese Businesses: Evidence from the Stock Market

<https://www.rieti.go.jp/jp/events/20062401/info.html>

開催日	2020年6月24日
主催	RIETI

スピーカー／パネリスト等

ウィレム・ソーベック(RIETI SF)

佐分利 応貴(RIETI 国際・広報ディレクター)

次世代人材育成を考える：真のグローバルリーダー育成とは

<https://www.rieti.go.jp/jp/events/20062501/info.html>

開催日	2020年6月25日
主催	RIETI
参加者数	107名

スピーカー／パネリスト等

源田 泰之(ソフトバンク株式会社人事本部 副本部長兼公益財団法人孫正義育英財団 事務局長兼株式会社ディープコア HRアドバイザー)

木戸 冬子(RIETI CF／東京大学大学院経済学研究科 特任研究員／国立情報学研究所研究戦略室 特任助教／日本経済研究センター 特任研究員／早稲田大学大学院 客員講師)

佐分利 応貴(RIETI 国際・広報ディレクター)

アフターコロナのエネルギー、地球環境そしてジェンダー

<https://www.rieti.go.jp/jp/events/20070301/info.html>

開催日	2020年7月3日
主催	RIETI
参加者数	112名

スピーカー／パネリスト等

田中 伸男(タナカグローバル(株)代表／元国際エネルギー機関(IEA)事務局長)

平井 裕秀(METI資源エネルギー庁 次長)

佐分利 応貴(RIETI 国際・広報ディレクター)

[DXシリーズ]ソフトウェア時代の経営について

<https://www.rieti.go.jp/jp/events/20071001/info.html>

開催日	2020年7月10日
主催	RIETI
参加者数	89名

スピーカー／パネリスト等

松本 勇気(DMM.com CTO／日本CTO協会 理事)

木戸 冬子(RIETI CF／東京大学大学院経済学研究科 特任研究員／国立情報学研究所研究戦略室 特任助教／日本経済研究センター 特任研究員／早稲田大学大学院 客員講師)

佐分利 応貴(RIETI 国際・広報ディレクター)

2020年版通商白書－コロナ危機とグローバル化－

<https://www.rieti.go.jp/jp/events/20071601/info.html>

開催日	2020年7月16日
主催	RIETI
参加者数	131名

スピーカー／パネリスト等

田代 毅(METI通商政策局 企画調査室長／RIETI CF)

佐分利 応貴(RIETI 国際・広報ディレクター)

[DXシリーズ]DXで大きく変わる世界における「働く」ということ：あなたは何のために働きますか？

<https://www.rieti.go.jp/jp/events/20071701/info.html>

開催日	2020年7月17日
主催	RIETI
参加者数	118名

スピーカー／パネリスト等

田中 邦裕(さくらインターネット株式会社 代表取締役社長)

松本 理恵(METI商務情報政策局情報技術利用促進課(ITイノベーション課)課長補佐(総括)(併)デジタル高度化推進室)

木戸 冬子(RIETI CF／東京大学大学院経済学研究科 特任研究員／国立情報学研究所研究戦略室 特任助教／日本経済研究センター 特任研究員／早稲田大学大学院 客員講師)

Macroeconomic Prospects and Policy Coordination in Asia to Overcome the Challenge of COVID-19

<https://www.rieti.go.jp/jp/events/20072201/info.html>

開催日	2020年7月22日
主催	RIETI

スピーカー／パネリスト等

アイハン・コーゼ(世界銀行マクロ経済・貿易・投資グローバルプラクティス見出し局長)

木村 福成(RIETI CF／慶應義塾大学経済学部 教授／東アジア・アセアン経済研究センター(ERIA)チーフエコノミスト)

小野寺 修(METI通商政策局 通商交渉官)

日本の新型コロナウイルス対策とスモールビジネス－短期的、中長期的な感染症予防と経済の両立

<https://www.rieti.go.jp/jp/events/20072801/info.html>

開催日	2020年7月28日
主催	RIETI
参加者数	85名

スピーカー／パネリスト等

児玉 直美(日本大学経済学部 教授／RIETI RAs)

川口 康平(香港科技大学商学院経済学部 助理教授)

佐分利 応貴(RIETI 国際・広報ディレクター)

RIETI出版記念ウェビナー
「コロナ危機の経済学：提言と分析」シリーズ：第1回

コロナ危機の経済政策

<https://www.rieti.go.jp/jp/events/20072901/info.html>

開催日	2020年7月29日
主催	RIETI
参加者数	113名

プログラム

イントロダクション

講演1 「コロナ危機の経済政策—経済社会を止めないために『検査・追跡・待機』の増強を」

講演2 「経済対策の財源と新たなセーフティネット」

トークセッション

質疑応答

スピーカー／パネリスト等

森川 正之(RIETI 所長・CRO／一橋大学 教授)

小林 慶一郎(RIETI PD・FF／東京財団政策研究所 研究主幹)

佐藤 主光(RIETI FF／一橋大学国際・公共政策研究部 教授)

RIETI公開BBLウェビナー

Global Catastrophes: Before, During, and After Covid

<https://www.rieti.go.jp/jp/events/20073001/info.html>

開催日	2020年7月30日
主催	RIETI

スピーカー／パネリスト等

Robert S. PINDYCK(マサチューセッツ工科大学スローン経営大学院 東京三菱銀行教授)

矢野 誠(RIETI 理事長)

佐分利 応貴(RIETI 国際・広報ディレクター)

RIETI出版記念ウェビナー
「コロナ危機の経済学：提言と分析」シリーズ：第2回

コロナ危機と医療・創薬

<https://www.rieti.go.jp/jp/events/20080401/info.html>

開催日	2020年8月4日
主催	RIETI
参加者数	63名

プログラム

イントロダクション

講演1 「感染症のSIRモデルと新型コロナウイルスへの基本戦略」

講演2 「創薬イノベーションによる新型コロナウイルス危機の克服」

トークセッション

質疑応答

スピーカー／パネリスト等

中田 大悟(RIETI SF)

関沢 洋一(RIETI SF)

長岡 貞男(RIETI PD・FF／東京経済大学経済学部 教授／特許庁 知的財産経済アドバイザー)

RIETI公開BBLウェビナー

教育改革はどこへ向かうのか：最強の成長戦略としての経済教育

<https://www.rieti.go.jp/jp/events/20080501/info.html>

開催日	2020年8月5日
主催	RIETI
参加者数	83名

スピーカー／パネリスト等

鈴木 寛(元文部科学省 副大臣／東京大学公共政策大学院 教授／慶應義塾大学政策・メディア研究科 教授／社会創発塾 塾長)

中島 厚志(RIETI CF／新潟県立大学国際経済学部 教授)

佐分利 応貴(RIETI 国際・広報ディレクター)

RIETI公開BBLウェビナー

Effect of COVID-19 on Global Value Chains and Future Prospects

<https://www.rieti.go.jp/jp/events/20080601/info.html>

開催日	2020年8月6日
主催	RIETI

スピーカー／パネリスト等

Sebastien MIROUDOT (Senior Trade Policy Analyst, Trade in Services Division, OECD Trade and Agriculture Directorate)

木村 福成(RIETI CF／慶應義塾大学経済学部 教授／東アジア・アセアン経済研究センター(ERIA)チーフエコノミスト)

小野寺 修(METI 通商政策局 通商交渉官)

RIETI出版記念ウェビナー
「コロナ危機の経済学：提言と分析」シリーズ：第3回

コロナ危機と労働市場、セーフティネット

<https://www.rieti.go.jp/jp/events/20080701/info.html>

開催日	2020年8月7日
主催	RIETI
参加者数	80名

プログラム

イントロダクション

講演1 「新型コロナ危機による労働市場への影響と格差の拡大」

講演2 「パンデミックにも対応できるセーフティネットの構築」

トークセッション

質疑応答

スピーカー／パネリスト等

森川 正之(RIETI 所長・CRO／一橋大学 教授)

北尾 早霧(RIETI FF／東京大学大学院経済学研究科 教授)

八田 達夫(RIETI FF／アジア成長研究所 理事長)

The Institutional Sources of Energy Transitions: From the oil crises to climate policy

<https://www.rieti.go.jp/jp/events/20082601/info.html>

開催日	2020年8月26日
主催	RIETI

スピーカー／パネリスト等

Phillip LIPSCY (Associate Professor, Department of Political Science, University of Toronto / Director, Centre for the Study of Global Japan)

尾野 嘉邦(東北大学大学院法学研究科 教授)

[DXシリーズ]女性エンジニアを増やす努力とその必要性 —女子高女子大を経て、男女比(体感)8:2のIT業界に入った私の経験をもとに語る

<https://www.rieti.go.jp/jp/events/20082701/info.html>

開催日	2020年8月27日
主催	RIETI
参加者数	93名

スピーカー／パネリスト等

千代田 まどか(マイクロソフト コーポレーション クラウド デベロッパー アドボケート)

松本 理恵(METI商務情報政策局情報技術利用促進課(ITイノベーション課)課長補佐(総括)(併)デジタル高度化推進室)

木戸 冬子(RIETI CF/東京大学大学院経済学研究科 特任研究員/国立情報学研究所研究戦略室 特任助教/日本経済研究センター 特任研究員/早稲田大学大学院 客員講師)

World Economies Surviving and Thriving through COVID-19 and beyond

<https://www.rieti.go.jp/jp/events/20083101/info.html>

開催日	2020年8月31日
主催	RIETI

プログラム

開会挨拶

講演

「COVID-19パンデミックにおける社会的および自然的要因: 社会的学習、政治的リーダーシップおよび人口集中」
「Economics of the Coronavirus」
「Covid, Globotics, Development, and the Future of Work」

パネルディスカッション

スピーカー／パネリスト等

渡辺 哲也(RIETI 副所長)

矢野 誠(RIETI 理事長)

デール W. ジョルゲンソン(ハーバード大学 サミュエル・W・モリス記念講座教授)

リチャード・ボールドウィン(高等国際問題・開発研究所(ジュネーブ)教授)

森川 正之(RIETI 所長)

21世紀は「アジアの世紀」となるのか？ —with コロナ時代の国際秩序の展望

<https://www.rieti.go.jp/jp/events/20091001/info.html>

開催日	2020年9月10日
主催	RIETI
参加者数	94名

スピーカー／パネリスト等

中尾 武彦(みずほ総合研究所株式会社 理事長)

中島 厚志(RIETI CF/新潟県立大学国際経済学部 教授)

佐分利 応貴(RIETI 国際・広報ディレクター)

[DXシリーズ]AI系ディープテックスタートアップの経営環境

<https://www.rieti.go.jp/jp/events/20091401/info.html>

開催日	2020年9月14日
主催	RIETI
参加者数	97名

スピーカー／パネリスト等

栄藤 稔(大阪大学先導的学際研究機構 教授/科学技術振興機構(CREST)人工知能領域研究総括/(株)コトバデザイン 取締役会長 CEO)

松本 理恵(METI商務情報政策局情報技術利用促進課(ITイノベーション課)課長補佐(総括)(併)デジタル高度化推進室)

木戸 冬子(RIETI CF/東京大学大学院経済学研究科 特任研究員/国立情報学研究所研究戦略室 特任助教/日本経済研究センター 特任研究員/早稲田大学大学院 客員講師)

[グローバル・インテリジェンス・シリーズ] インド太平洋地域秩序の動揺と日ASEAN関係

<https://www.rieti.go.jp/jp/events/20093001/info.html>

開催日	2020年9月30日
主催	RIETI
参加者数	92名

スピーカー／パネリスト等

大庭 三枝(神奈川大学法学部・法学研究科 教授)

小野寺 修(RIETI CF/METI通商政策局 通商交渉官)

渡辺 哲也(RIETI 副所長)

[グローバル・インテリジェンス・シリーズ] A Political Scientist's Look at the 2020 US Elections

<https://www.rieti.go.jp/jp/events/20100701/info.html>

開催日	2020年10月7日
主催	RIETI

スピーカー／パネリスト等

Barry BURDEN (Professor, Department of Political Science, Director, Elections Research Center, University of Wisconsin-Madison)

尾野 嘉邦(RIETI FF/早稲田大学政治経済学術院 教授)

佐分利 応貴(RIETI 国際・広報ディレクター)

【グローバル・インテリジェンス・シリーズ】 ICEFとTCFDサミット2020を振り返って —今後の気候変動の動きについて—

<https://www.rieti.go.jp/jp/events/20101201/info.html>

開催日	2020年10月12日
主催	RIETI
参加者数	99名

スピーカー／パネリスト等

水野 弘道 (METI 参与)

田中 伸男 (笹川平和財団 顧問／元国際エネルギー機関(IEA)事務局長／タカグローバル(株)CEO)

梶川 文博 (METI産業技術環境局 環境経済室長)

【グローバル・インテリジェンス・シリーズ】 The Mood of the American Voter on the Eve of the 2020 Presidential Election

<https://www.rieti.go.jp/jp/events/20102001/info.html>

開催日	2020年10月20日
主催	RIETI

スピーカー／パネリスト等

Bruce STOKES (Non-Resident Fellow, German Marshall Fund of the United States)

佐分利 応貴 (RIETI 国際・広報ディレクター)

【グローバル・インテリジェンス・シリーズ】 Support for Restricting Liberty for Safety: Evidence during the Covid-19 pandemic from China, Israel, Japan, South Korea, Taiwan, and the United States

<https://www.rieti.go.jp/jp/events/20102301/info.html>

開催日	2020年10月23日
主催	RIETI
参加者数	60名

スピーカー／パネリスト等

Charles CRABTREE (Assistant Professor, Department of Government, Dartmouth College)

尾野 嘉邦 (RIETI FF／早稲田大学政治経済学術院 教授)

渡辺 哲也 (RIETI 副所長)

【グローバル・インテリジェンス・シリーズ】 アメリカの制裁外交

<https://www.rieti.go.jp/jp/events/20102601/info.html>

開催日	2020年10月26日
主催	RIETI
参加者数	128名

スピーカー／パネリスト等

杉田 弘毅 (共同通信社 特別編集委員)

香山 弘文 (METI貿易経済協力局 貿易管理部安全保障貿易管理政策課長兼大臣官房経済安全保障室長)

渡辺 哲也 (RIETI 副所長)

人生100年時代のサバイバル・ツール —ニューノーマル時代における「ウルトラ高齢社会」のリスクと チャンスとは？—

<https://www.rieti.go.jp/jp/events/20110401/info.html>

開催日	2020年11月4日
主催	東北大学、RIETI
参加者数	211名

プログラム

開会挨拶

基調講演

「高齢化社会における人材育成・教育政策と社会(雇用・少子化対策・男女共同参画)政策—ライフサイクル・デフィシットの観点から見た持続可能な社会について—」

講演

「超高齢社会下でのニューノーマル社会—新型コロナウイルス禍の経済社会的総括—」

「リカレント教育の可能性—ニューノーマル時代の人材育成—」

「人とのつながりが力になる—ソーシャル・キャピタルを蓄えよう—」

「高齢者の財産の行方—日本法の特異性—」

パネルディスカッション

閉会挨拶

スピーカー／パネリスト等

大野 英男 (東北大学 総長)

山口 一男 (RIETI VF／シカゴ大学 ラルフ・ルイス記念特別社会学教授)

吉田 浩 (東北大学大学院経済学研究科 教授)

高橋 満 (東北大学 名誉教授／仙台白百合女子大学 特任教授)

佐藤 嘉倫 (東北大学大学院文学研究科 教授／京都先端科学大学人文学部 学部長・教授)

水野 紀子 (東北大学 名誉教授／白鴎大学法学部 教授)

佐藤 朋保 (東洋経済新報社 出版局編集第3部 部長・編集長)

佐分利 応貴 (RIETI 国際・広報ディレクター)

矢野 誠 (RIETI 理事長／京都大学経済研究所 特任教授／上智大学 特任教授)



[DXシリーズ]with コロナ時代のオンライン教育<https://www.rieti.go.jp/jp/events/20110901/info.html>

開催日	2020年11月9日
主催	RIETI
参加者数	103名

スピーカー／パネリスト等

水野 雄介(ライフイズテック株式会社 代表取締役 CEO)

浅野 大介(METI 商務・サービスグループ サービス政策課長(兼)教育産業室長)

木戸 冬子(RIETI CF/東京大学大学院経済学研究科 特任研究員/国立情報学研究所研究戦略室 特任助教/日本経済研究センター 特任研究員/早稲田大学大学院 客員講師)

令和2年度経済財政白書について<https://www.rieti.go.jp/jp/events/20111101/info.html>

開催日	2020年11月11日
主催	RIETI

スピーカー／パネリスト等

堤 雅彦(内閣府 政策統括官(経済財政分析担当)付参事官(総括担当))

佐分利 応貴(RIETI 国際・広報ディレクター)

**【グローバル・インテリジェンス・シリーズ】
中国の経済発展における「留学帰国組」の役割と変化
ーグローバル人材競争における中国の成功と課題**<https://www.rieti.go.jp/jp/events/20111201/info.html>

開催日	2020年11月12日
主催	RIETI
参加者数	95名

スピーカー／パネリスト等

戴 二彪(公益財団法人アジア成長研究所 教授・副所長兼研究部長)

小林 浩史(METI通商政策局 北東アジア課長)

佐分利 応貴(RIETI 国際・広報ディレクター)

**現代湯治とヘルスツーリズム
ー温泉の力でココロとカラダと地域を元気に**<https://www.rieti.go.jp/jp/events/20111901/info.html>

開催日	2020年11月19日
主催	RIETI
参加者数	96名

スピーカー／パネリスト等

早坂 信哉(東京都市大学人間科学部 教授)

星 宗兵(栃尾又温泉自在館 若旦那)

仁賀 建夫(METI商務情報政策局 商務・サービスグループ ヘルスケア産業研究官)

関口 陽一(RIETI SF兼研究コーディネーター(研究調整担当))

[DXシリーズ]ディープラーニングの最前線と活用への課題<https://www.rieti.go.jp/jp/events/20112401/info.html>

開催日	2020年11月24日
主催	RIETI
参加者数	140名

スピーカー／パネリスト等

井崎 武士(エヌメディア合同会社エンタープライズ事業本部 事業本部長)

高野 了成(METI商務情報政策局情報産業課 課長補佐)

木戸 冬子(RIETI CF/東京大学大学院経済学研究科 特任研究員/国立情報学研究所研究戦略室 特任助教/日本経済研究センター 特任研究員/早稲田大学大学院 客員講師)

**【グローバル・インテリジェンス・シリーズ】
米中対立の行方ー揺れ動くASEAN、日ASEAN協力の将来、
半導体サプライチェーンの展望**<https://www.rieti.go.jp/jp/events/20112501/info.html>

開催日	2020年11月25日
主催	RIETI
参加者数	119名

スピーカー／パネリスト等

ピラハリ・カウシカン(シンガポール国立大学 中東研究所長/元シンガポール 外務次官)

太田 泰彦(日本経済新聞 編集委員兼論説委員)

渡辺 哲也(RIETI 副所長)

**世界・アジア太平洋地域経済見通し
ー長く、不均等で、不確実な回復の道ー**<https://www.rieti.go.jp/jp/events/20112601/info.html>

開催日	2020年11月26日
主催	RIETI

スピーカー／パネリスト等

鷺見 周久(国際通貨基金(IMF)アジア太平洋地域事務所 所長)

松本 加代(METI通商政策局 企画調査室長)

佐分利 応貴(RIETI 国際・広報ディレクター)

**半導体をめぐる米中対立と日本:
Deep5G時代に築く日本のポジション**<https://www.rieti.go.jp/jp/events/20113001/info.html>

開催日	2020年11月30日
主催	一般社団法人機械振興協会 経済研究所
共催	RIETI
参加者数	121名

スピーカー／パネリスト等

井上 弘基(機械振興協会 経済研究所 首席研究員)

安藤 晴彦(独立行政法人経済産業研究所 理事)

【グローバル・インテリジェンス・シリーズ】 世界を動かすイスラエル—日本はどう向き合うべきか

<https://www.rieti.go.jp/jp/events/20113002/info.html>

開催日	2020年11月30日
主催	RIETI
参加者数	122名

スピーカー／パネリスト等

澤畑 剛(NHK長崎放送局 放送部総括副部長 ニュースデスク)

田村 亮平(METI通商政策局中東アフリカ課 課長)

渡辺 哲也(RIETI 副所長)

【グローバル・インテリジェンス・シリーズ】 Build Back Better? The Future of the US-China Economic Relationship

<https://www.rieti.go.jp/jp/events/20120801/info.html>

開催日	2020年12月8日
主催	RIETI

スピーカー／パネリスト等

Wei Shang-Jin (Professor of Finance and Economics, Professor of International Affairs, and N.T. Wang Professor of Chinese Business and Economy, Columbia University/Formal Chief Economist of Asian Development Bank)

佐分利 応貴(RIETI 国際・広報ディレクター)

【グローバル・インテリジェンス・シリーズ】 相対化する知性—人工知能が世界の見方をどう変えるのか

<https://www.rieti.go.jp/jp/events/20121001/info.html>

開催日	2020年12月10日
主催	RIETI
参加者数	205名

スピーカー／パネリスト等

松尾 豊(東京大学大学院工学系研究科 人工物工学研究センター・技術経営戦略学専攻 教授)

西山 圭太(東京大学未来ビジョン研究センター 客員教授／前・METI 商務情報政策局長)

渡辺 哲也(RIETI 副所長)

【グローバル・インテリジェンス・シリーズ】 Biden's Climate Change Options in a Divided Congress

<https://www.rieti.go.jp/jp/events/20121101/info.html>

開催日	2020年12月11日
主催	RIETI

スピーカー／パネリスト等

Randolph BELL (Director and Richard Morningstar Chair for Global Energy Security, Atlantic Council)

武田 伸二郎(日本貿易振興機構(JETRO)ニューヨーク産業調査部 ディレクター)

川口 征洋(METI 産業技術環境局環境政策課 地球環境対策室長)

渡辺 哲也(RIETI 副所長)

【グローバル・インテリジェンス・シリーズ】 Challenges and Opportunities for India-Japan Economic Partnership

<https://www.rieti.go.jp/jp/events/20121601/info.html>

開催日	2020年12月16日
主催	RIETI
参加者数	72名

スピーカー／パネリスト等

Amb. Sujan R. CHINYOY (Director General, Manohar Parrikar Institute for Defence Studies and Analyses (Manohar Parrikar IDSA), India/Formal India's Ambassador to Japan)

Saroj Kumar MOHANTY (Professor, Research and Information System for Developing Countries (RIS), India)

福岡 功慶(RIETI CF/METI 通商政策局 南西アジア室長)

渡辺 哲也(RIETI 副所長)

The COVID-19 Outbreak and Public Health Issues: an Interdisciplinary Approach

<https://www.rieti.go.jp/jp/events/20121602/info.html>

開催日	2020/12/16-17
主催	日仏会館・フランス国立日本研究所(FRIJ-MFJ)
共催	パスツール研究所(Pasteur Institute)、RIETI
参加者数	130名

プログラム:12/16

Presentation of the workshop

"COVID-19 Pandemic and Politics: The Case of Florida and Ohio"

"Mobility in the time of COVID: what impact on the spread of disease"

"Mapping COVID-19 in Japan and Greater Tokyo area, socio-spatial and political analysis of the epidemic"

"The influence of civic hacking on the development of anti-COVID apps in Japan"

General discussion

プログラム:12/17

Presentation of the workshop

"Socio-Life Scientific Survey on COVID-19"

"Socio-economic factors of Sars-Cov-2 spread in Japan and in France"

"(Re)thinking the infodemic: Social media and offline engagement in the COVID-19 pandemic"

"Socio-life science and the role of large-scale genome cohort study"

General discussion

スピーカー／パネリスト等

Anavaj SAKUNTABHAI (Pasteur Institute)

Bernard THOMANN (FRIJ-MFJ)

Makoto YANO (RIETI)

Richard PAUL (Pasteur Institute)

Olivier TELLE (Pasteur Institute)

Adrienne SALA (FRIJ-MFJ)

Rémi SCOCCIMARRO (Toulouse University-FRIJ-MFJ)

Sophie BUHNIK (FRIJ-MFJ)

Shigeru HIROTA (RIETI/Kyoto-University)

Guillaume LADMIRAL (FRIJ-MFJ)

Tamara GILES-VERNICK (Pasteur Institute)

Fumihiko MATSUDA (Kyoto University)

【グローバル・インテリジェンス・シリーズ】 米国を国際通商システムへ戻す—マルチテラリズムの視点

<https://www.rieti.go.jp/jp/events/20121701/info.html>

開催日	2020年12月17日
主催	RIETI
参加者数	85名

スピーカー／パネリスト等

リチャード・ポールドウィン(高等国際問題・開発研究所(ジュネーブ)教授／RIETI外部諮問委員)

アンドレ・サピール(ソルベイ・ブリュッセル経済経営学院教授／ブリュッセル研究所上席研究員)

渡辺 哲也(RIETI 副所長)

RIETI EBPMシンポジウム

エビデンスに基づく政策立案を実践するために

<https://www.rieti.go.jp/jp/events/20122301/info.html>

開催日	2020年12月23日
主催	RIETI
参加者数	266名

プログラム

開会挨拶

来賓挨拶

イントロダクション

セッション1: 社会・経済政策とEBPM

効果的な少子化対策に向けて

エビデンスに基づく電力システム改革

Q&A

セッション2: EBPMの展望

教育にエビデンスが必要な5つの理由

なぜ「合理的」な政策決定がなされないのか

Q&A

セッション3: 新型コロナ対策とEBPM

EBPMの生と死—新型コロナ対策についての素人の雑感

新型コロナ感染症の行動経済学

Q&A

セッション4: パネルディスカッション

総括

スピーカー／パネリスト等

矢野 誠(RIETI 理事長／京都大学経済研究所 特任教授／上智大学 特任教授)

佐藤 啓(経済産業大臣 政務官兼内閣府大臣 政務官兼復興大臣 政務官)

山口 一男(RIETI VF／シカゴ大学 ラルフ・ルイス記念特別社会学教授)

山口 慎太郎(東京大学経済学研究科 教授)

伊藤 公一朗(RIETI VF／シカゴ大学公共政策大学院 准教授／全米経済研究所(NBER)研究員)

小林 庸平(RIETI CF／三菱UFJリサーチ&コンサルティング 経済政策部主任研究員)

中室 牧子(慶應義塾大学総合政策学部 教授)

内山 融(東京大学大学院総合文化研究科 教授)

関沢 洋一(RIETI SF・研究コーディネーター(EBPM担当))

成田 悠輔(RIETI VF／半熟仮想株式会社 代表取締役／イエール大学 助教授)

大竹 文雄(大阪大学大学院経済学研究科 教授)

森川 正之(RIETI 所長・CRO／一橋大学経済研究所 教授)



RIETI公開BBLウェビナー

【グローバル・インテリジェンス・シリーズ】バイデン政権の国際経済政策の課題

<https://www.rieti.go.jp/jp/events/21011401/info.html>

開催日	2021年1月14日
主催	RIETI
参加者数	198名

スピーカー／パネリスト等

アダム・S・ポーゼン(ピーターソン国際経済研究所(PIIE)所長)

渡辺 哲也(RIETI 副所長)

RIETI公開BBLウェビナー

行政管理会計の基礎と実践

<https://www.rieti.go.jp/jp/events/21011501/info.html>

開催日	2021年1月15日
主催	RIETI
参加者数	65名

スピーカー／パネリスト等

大西 淳也(財務省財務総合政策研究所 客員研究員／専修大学大学院商学研究科 客員教授)

大立目 克哉(有限責任 あずさ監査法人 東京パブリックセクター部／パートナー／公認会計士)

柏木 恵(キャノングローバル戦略研究所 研究主幹)

藤野 雅史(日本大学経済学部 教授)

佐分利 応貴(RIETI 国際・広報ディレクター)

RIETI公開BBLウェビナー

【DXシリーズ】デジタル経済に向かう欧州のAI戦略—日本はEUから何を学ぶべきか

<https://www.rieti.go.jp/jp/events/21012001/info.html>

開催日	2021年1月20日
主催	RIETI

スピーカー／パネリスト等

マルティン・シュルツ(富士通株式会社戦略企画部 チーフポリシーエコノミスト)

中島 厚志(RIETI CF／新潟県立大学国際経済学部 教授)

佐分利 応貴(RIETI 国際・広報ディレクター／METI 大臣官房参事)

【DXシリーズ】Going Digital: Implications of the COVID-19 crisis on digital transformation

<https://www.rieti.go.jp/jp/events/21012601/info.html>

開催日	2021年1月26日
主催	RIETI

スピーカー／パネリスト等

Dirk PILAT (Deputy Director, Directorate for Science, Technology and Innovation, OECD)

松本 理恵 (RIETI CF／METI 商務情報政策局 情報技術利用促進課 課長補佐(総括))

佐分利 応貴 (RIETI 国際・広報ディレクター／METI 大臣官房 参事)

【グローバル・インテリジェンス・シリーズ】 複合リスクガバナンス —新興・再興感染症に対する国際的国内的対応—

<https://www.rieti.go.jp/jp/events/21020501/info.html>

開催日	2021年2月5日
主催	RIETI
参加者数	113名

スピーカー／パネリスト等

城山 英明 (東京大学公共政策大学院／大学院法学政治学研究科／未来ビジョン研究センター 教授)

福永 佳史 (RIETI CF／METI 通商政策局 経済連携課長)

渡辺 哲也 (RIETI 副所長)

自動運転・運転支援・MaasとITS

<https://www.rieti.go.jp/jp/events/21020901/info.html>

開催日	2021年2月9日
主催	一般社団法人機械振興協会 経済研究所
共催	RIETI
参加者数	119名

スピーカー／パネリスト等

岩田 悟志 (一般財団法人機械振興協会経済研究所 特任研究員／株式会社デンソーテン 前会長)

安藤 晴彦 (RIETI 理事)

【グローバル・インテリジェンス・シリーズ】 SDGsと自主的持続可能性基準(VSS)

<https://www.rieti.go.jp/jp/events/21021201/info.html>

開催日	2021年2月12日
主催	RIETI
参加者数	140名

スピーカー／パネリスト等

中川 淳司 (RIETI CF／中央学院大学現代教養学部 教授／中央学院大学 社会システム研究所長)

田村 暁彦 (RIETI CF／METI 大臣官房審議官(通商政策局担当)／政策研究大学院大学 客員研究員)

佐分利 応貴 (RIETI 国際・広報ディレクター／METI 大臣官房 参事)

【グローバル・インテリジェンス・シリーズ】 中国モバイルペイメントの応用状況と関連する政策動向 —レストランのDXから中小企業向け与信判断まで—

<https://www.rieti.go.jp/jp/events/21021801/info.html>

開催日	2021年2月18日
主催	RIETI
参加者数	115名

スピーカー／パネリスト等

大川 龍郎 (RIETI CF)

西村 友作 (中国対外経済貿易大学 教授)

渡辺 哲也 (RIETI 副所長)

【グローバル・インテリジェンス・シリーズ】 中国のイノベーション力の評価 —特許のマクロデータにみる—

<https://www.rieti.go.jp/jp/events/21021901/info.html>

開催日	2021年2月19日
主催	RIETI
参加者数	135名

スピーカー／パネリスト等

佐々木 信夫 (株式会社特許戦略設計研究所 代表取締役)

西垣 淳子 (RIETI CF／METI 特許庁 審査業務部長(兼)中小企業知財戦略支援総合調整官 CDO補佐官(デザイン経営プロジェクト))

渡辺 哲也 (RIETI 副所長)

【グローバル・インテリジェンス・シリーズ】 激動する中東情勢—トルコのアプローチを手掛かりに—

<https://www.rieti.go.jp/jp/events/21022401/info.html>

開催日	2021年2月24日
主催	RIETI
参加者数	96名

スピーカー／パネリスト等

今井 宏平 (アジア経済研究所 研究員)

田村 亮平 (METI 通商政策局中東アフリカ課 課長)

渡辺 哲也 (RIETI 副所長)

流れを変える ーグリーン成長とデジタルトランスフォーメーション

<https://www.rieti.go.jp/jp/events/21030201/info.html>

開催日	2021年3月2日
主催	RIETI、英国経済政策研究センター(CEPR)
参加者数	162名

プログラム

開会挨拶

セッション1: グリーン成長

講演

パネルディスカッション

Q&A

セッション2: デジタルトランスフォーメーション

講演

パネルディスカッション

Q&A

総括コメント

スピーカー／パネリスト等

矢野 誠 (RIETI 理事長／京都大学経済研究所 特任教授／上智大学 特任教授)

Christoph M. SCHMIDT (ライプニッツ経済研究所(RWI)所長／CEPR リサーチ・フェロー)

有村 俊秀 (RIETI FF／早稲田大学政治経済学術院 教授、同・環境経済経営研究所 所長)

Jean-Luc di PAOLA-GALLONI (ヴァレオ サステナビリティ・渉外部門 副社長)

David POPP (シラキュース大学 教授)

渡辺 哲也 (RIETI 副所長)

Richard BALDWIN (高等国際問題・開発研究所(ジュネーブ)教授)

Susan AARONSON (ジョージワシントン大学 教授)

Georgios PETROPOULOS (ブリュッセル リサーチフェロー)

田中 和哉 (東京大学大学院 工学系研究科(松尾研究室)職員／政策研究大学院大学 政策研究院 リサーチ・フェロー／scheme verge株式会社 CTO&CSO)

戸堂 康之 (RIETI FF／早稲田大学政治経済学術院経済学研究科 教授)



RIETI特別BBLウェビナー:RIETI-ECGI-WBF連続ウェビナー
「新しい企業概念(A New Concept of the Corporation)」第1回

企業における目的(パーパス)の再定義・実現と日本の法制度・事業活動へのインプリケーション

<https://www.rieti.go.jp/jp/events/21031601/info.html>

開催日	2021年3月16日
主催	RIETI、ヨーロッパ・コーポレート・ガバナンス協会(ESGI)、早稲田大学ビジネス・ファイナンス研究センター(WBF)
参加者数	274名

スピーカー／パネリスト等

コリン・メイヤー(オックスフォード大学サイド経営大学院 教授)

田中 恒(東京大学社会科学研究所 教授)

ソフィー・レリアス(LeaderXXchange 代表)

宮島 英昭(RIETI FF／早稲田大学商学学術院 教授／早稲田大学 常任理事／早稲田大学高等研究所 顧問)

RIETI-ANUシンポジウム

アジア太平洋デジタルガバナンスに向けて

<https://www.rieti.go.jp/jp/events/21032301/info.html>

開催日	2021年3月23日
主催	RIETI、オーストラリア国立大学(ANU)
参加者数	129名

プログラム

開会挨拶

パネルディスカッション1:「グローバルガバナンスとデジタル経済」

パネルディスカッション2:「アジア太平洋地域のデジタルガバナンス」

クローージングセッション

スピーカー／パネリスト等

矢野 誠 (RIETI 理事長)

ウェンディ・カトラー(アジア・ソサエティ政策研究所(ASPI)ワシントンDC事務所 ヴァイスプレジデント兼マネージングディレクター)

黄益平(北京大学国家発展研究院 教授／デジタルファイナンス研究センター長)

ピラハリ・カウシカン(シンガポール国立大学 中東研究所長／元シンガポール 外務次官)

渡辺 哲也 (RIETI 副所長)

デボラ・エルムズ(アジア貿易センター 創設者兼エグゼクティブディレクター)

レベッカ・ファティマ・サンタマリア(APEC事務局 局長)

ジョシュア・ポール・メルツァー(ブルッキングス研究所 シニアフェロー)

ピーター・ラブロック(TRPC社 ディレクター)

シロー・アームストロング(RIETI VS／オーストラリア国立大学クロフォード公共政策大学院准教授／豪日研究センター長／東アジア経済研究所長)



※講師等は登壇順で記載しています。
※講師等の肩書については、開催当時の名称で記載しています。

2020 RIETI-KIET-TIER ワークショップ

Industrial Policy Directions and Challenges in the Post Covid-19 Era

<https://www.rieti.go.jp/en/events/20110501/info.html>

開催日	2020/11/5
主催	RIETI; Taiwan Institute of Economic Research (TIER); Korea Institute for Industrial Economics and Trade (KIET)

プログラム

Opening Remarks

Session 1: TIER Session chaired by YANO Makoto (Chairman, RIETI)

Presentation 1: "COVID-19 and Beyond: Charting a Resilient Path Forward for Taiwan's Industrial Policies"

Q&A

Session 2: RIETI Session chaired by Ji-Sang CHANG (President, KIET)

Presentation 2: "Government responses to COVID-19 and perspectives on industrial policy"

Q&A

Session 3: KIET session chaired by Chien-Yi CHANG (President, TIER)

Presentation 3: "The Next Normal and New Industrial Policy"

Q&A

Closing Remarks

スピーカー / パネリスト等

Ji-Sang CHANG (President, KIET)

YANO Makoto (Chairman, RIETI)

Chien-Yi CHANG (President, TIER)

Grace CHUNG (TIER)

SABURI Masataka (RIETI)

Dongsoo KIM (KIET)

WATANABE Tetsuya (RIETI)

Danbee SONG (KIET)

Ko-Hsiung LIEN (TIER)

Jaehan CHO (KIET)

HATTORI Takashi (RIETI)

RIETI-IWEP-CESSA Joint-Workshop (Online)

Exchange Rate and International Currency

開催日	2020/12/6
主催	独立行政法人経済産業研究所 (RIETI)、中国社会科学院世界経済・政治研究所 (CASS, IWEP)、横浜国立大学アジア経済社会研究センター (CESSA)

プログラム

Opening Remarks

Session 1

Paper 1: Export Experience and the Choice of Invoice Currency: Evidence from Questionnaire Survey for Japanese SMEs

Paper 2: Vietnam as China's No.4 Oversea Export Partner: A Beneficiary of China-US Trade Conflicts, a Receiver of Industrial Transfer, or a Collaborator in Regional Value Chain?

Session 2

Paper 3: Tracking Exchange Rate Determinants amid the Pandemic

Paper 4: The International People Movement and Exchange Rate Volatility

Session 3

Paper 5: The Dollar, the Yen, or the RMB? The Survey Data Analysis of Invoicing Currencies among Japanese Overseas Subsidiaries

Paper 6: An Exchange Rate Pass-through into Export and Import Prices in China

Closing Remarks

スピーカー / パネリスト等

Yuyan ZHANG (IWEP, CASS)

Jie SUN (IWEP, CASS)

Taiyo YOSHIMI (RIETI Project Member / Chuo University)

Mi DAI (Beijing Normal University)

Panpan YANG (IWEP, CASS)

Hayato NAKATA (RIETI Project Member / Meisei University)

Etsuro SHIOJI (RIETI Project Member / Hitotsubashi University)

Yuki MASUJIMA (RIETI Project Member / Bloomberg L.P.)

Qiyuan XU (IWEP, CASS)

Jianwei XU (Beijing Normal University)

Pengfei LUO (RIETI Project Member / Setsunan University)

Junko SHIMIZU (RIETI Project Member / Chuo University)

Xiaomin CUI (IWEP, CASS)

Shuhui NI (IWEP, CASS)

Kiyotaka SATO (RIETI Project Member / Yokohama National University)

Eiji OGAWA (RIETI Faculty Fellow / Tokyo Keizai University)

Weijia DONG (IWEP, CASS)

Risheng MAO (IWEP, CASS)

Zhuo ZHOU (Shanghai Academy of Social Sciences)

昼休みに開かれるBBL(Brown Bag Lunch)セミナーは2020年度は63回開催され、この20年では1,265回を数えます。
国内外の有識者を講師として招き、さまざまな政策について産官学の垣根を越えてフランクな議論が行われています。

▶<https://www.rieti.go.jp/jp/events/bbl/>

※講師等の肩書きについては、開催当時の名称で記載しています。
※以下は2020年4月～2021年3月に開催されたものです。

2020/4/23	運と偶然の経済学 ―占いからパンデミックまで―*	スピーカー 植村 修一(経済・ビジネス評論家)
2020/5/15	ポスト・コロナ世界のグローバル・バリューチェーン*	スピーカー 猪俣 哲史(日本貿易振興機構(ジェトロ)アジア経済研究所 上席主任調査研究員) モデレータ 小野寺 修(METI通商政策局 通商交渉官)
2020/5/22	エビデンスに基づく政策決定 ―新技術と雇用を例に―	スピーカー 川口 大司(RIETI PD/東京大学公共政策大学院 教授・東京大学大学院経済学研究科政策評価 研究教育センター センター長) コメンテータ 森田 芳弘(METI製造産業局機械課ロボット政策室 調査員) モデレータ 佐分利 応貴(RIETI 国際・広報ディレクター)
2020/5/29	世界から見る北朝鮮―国連による北朝鮮制裁の現状 と課題、そしてパンデミックがもたらす影響	スピーカー 竹内 舞子(国連安保理北朝鮮制裁委員会専門家 パネル委員) コメンテータ 末森 洋紀(METI貿易管理部 情報調査室長) モデレータ 佐分利 応貴(RIETI 国際・広報ディレクター)
2020/6/4	世界・アジア太平洋地域経済見通し「大封鎖」 -他に類を見ない危機*	スピーカー 鷲見 周久(国際通貨基金(IMF)アジア太平洋地域事務所 所長) コメンテータ 中島 厚志(RIETI CF/新潟県立大学国際経済学部 教授) モデレータ 佐分利 応貴(RIETI 国際・広報ディレクター)
2020/6/5	2020年版中小企業白書・小規模企業白書:「価値」を 生み出す中小企業・小規模事業者	スピーカー 関口 訓央(RIETI CF/中小企業庁事業環境部 調査室長) コメンテータ 宮川 大介(一橋大学大学院経営管理研究科 准教授) モデレータ 佐分利 応貴(RIETI 国際・広報ディレクター)
2020/6/10	パンデミック下のグローバル経済の見通し ―実体経済と金融市場の乖離はどう収束するのか?*	スピーカー 河野 龍太郎(BNPパリバ証券 経済調査本部長・チーフエコノミスト) コメンテータ 中島 厚志(RIETI CF/新潟県立大学国際経済学部 教授) モデレータ 佐分利 応貴(RIETI 国際・広報ディレクター)
2020/6/12	2020年版ものづくり白書の概要:不確実性の時代 における製造業の企業変革力(ダイナミック・ケイバ リティ)	スピーカー 中野 剛志(METI製造産業局 参事官(デジタルトランスフォーメーション・イノベーション担 当)(併)ものづくり政策審議室長) モデレータ 佐分利 応貴(RIETI 国際・広報ディレクター)
2020/6/19	エネルギー白書2020について	スピーカー 長谷川 洋(資源エネルギー庁長官官房総務課 調査広報室長) モデレータ 佐分利 応貴(RIETI 国際・広報ディレクター)
2020/6/24	How the Coronavirus Crisis is Affecting Japanese Businesses: Evidence from the Stock Market*	スピーカー ウィレム・ソーベック(RIETI上席研究員) モデレータ 佐分利 応貴(RIETI 国際・広報ディレクター)
2020/6/25	次世代人材育成を考える:真のグローバルリーダー育 成とは	スピーカー 源田 泰之(ソフトバンク株式会社人事本部 副本部長 兼 公益財団法人孫正義育英財団 事務局 長 兼 株式会社ディー・ブコア HRアドバイザー) コメンテータ 木戸 冬子(RIETI CF/東京大学大学院経済学研究科 特任研究員/国立情報学研究所研究戦 略室 特任助教/日本経済研究センター 特任研究員/早稲田大学研究院 客員講師) モデレータ 佐分利 応貴(RIETI 国際・広報ディレクター)
2020/6/29	第三者委員会について考える ―「『第三者委員会』の欺瞞」での論点を中心に	スピーカー 八田 進二(RIETI監事/青山学院大学 名誉教授/大原大学院大学会計研究科教授) モデレータ 佐分利 応貴(RIETI 国際・広報ディレクター)
2020/7/3	アフターコロナのエネルギー、地球環境そしてジェ ンダー	スピーカー 田中 伸男(タナカグローバル(株)代表/元国際エネルギー機関(IEA)事務局長) コメンテータ 平井 裕秀(METI資源エネルギー庁 次長) モデレータ 佐分利 応貴(RIETI 国際・広報ディレクター)
2020/7/10	【DXシリーズ】ソフトウェア時代の経営について**	スピーカー 松本 勇気(DMM.com CTO/日本CTO協会 理事) コメンテータ 木戸 冬子(RIETI CF/東京大学大学院経済学研究科 特任研究員/国立情報学研究所研究戦 略室 特任助教/日本経済研究センター 特任研究員/早稲田大学研究院 客員講師) モデレータ 佐分利 応貴(RIETI 国際・広報ディレクター)
2020/7/16	2020年版通商白書 ―コロナ危機とグローバルリゼーション―	スピーカー 田代 毅(METI通商政策局 企画調査室長/RIETI CF) モデレータ 佐分利 応貴(RIETI 国際・広報ディレクター)
2020/7/17	【DXシリーズ】 DXで大きく変わる世界における「働く」ということ: あなたは何のために働きますか? **	スピーカー 田中 邦裕(さくらインターネット株式会社 代表取締役社長) コメンテータ 松本 理恵(METI商務情報政策局情報技術利用促進課(ITイノベーション課)課長補佐(総括) (併)デジタル高度化推進室) モデレータ 木戸 冬子(RIETI CF/東京大学大学院経済学研究科 特任研究員/国立情報学研究所研究戦 略室 特任助教/日本経済研究センター 特任研究員/早稲田大学研究院 客員講師)
2020/7/20	【DXシリーズ】 Withコロナ時代に向けてLINEが果たす役割**	スピーカー 江口 清貴(LINE株式会社 執行役員 公共政策・CSR担当) コメンテータ 和泉 憲明(METI商務情報政策局アーキテクチャ戦略企画室長) モデレータ 木戸 冬子(RIETI CF/東京大学大学院経済学研究科 特任研究員/国立情報学研究所研究戦 略室 特任助教/日本経済研究センター 特任研究員/早稲田大学研究院 客員講師)

2020/7/22	Macroeconomic Prospects and Policy Coordination in Asia to Overcome the Challenge of COVID-19	スピーカー アイハ・コーゼ(世界銀行 マクロ経済・貿易・投資グローバルプラクティス見直し局長) コメンテーター 木村 福成(RIETI CF/慶應義塾大学経済学部教授/東アジア・アセアン経済研究センター(ERIA)チーフエコノミスト) モデレーター 小野寺 修(METI通商政策局 通商交渉官)
2020/7/28	日本の新型コロナウイルス対策とスモールビジネス—短期的、中長期的な感染症予防と経済の両立	スピーカー 児玉 直美(日本大学経済学部 教授/RIETI RAs) スピーカー 川口 康平(香港科技大学商学院経済学部 助理教授) モデレーター 佐分利 応貴(RIETI 国際・広報ディレクター)
2020/7/30	【DXシリーズ】 日本の知られざる側面を明らかにする、名刺データの価値**	スピーカー 常楽 諭(Sansan株式会社 取締役CISO 兼 DSOC センター長) コメンテーター 和泉 憲明(METI 商務情報政策局 アーキテクチャ戦略企画室長(併)デジタル高度化推進室(DX推進室)) モデレーター 木戸 冬子(RIETI CF/東京大学大学院経済学研究科 特任研究員/国立情報学研究所研究戦略室 特任助教/日本経済研究センター 特任研究員/早稲田大学大学院 客員講師)
2020/7/30	Global Catastrophes: Before, During, and After Covid	スピーカー Robert S. PINDYCK(マサチューセッツ工科大学スローン経営大学院 東京三菱銀行教授) コメンテーター 矢野 誠(RIETI 理事長) モデレーター 佐分利 応貴(RIETI 国際・広報ディレクター)
2020/8/5	教育改革はどこへ向かうのか:最強の成長戦略としての経済教育	スピーカー 鈴木 寛(元文部科学省 副大臣/東京大学公共政策大学院 教授/慶應義塾大学政策・メディア研究科 教授/社会創発塾 塾長) スピーカー 中島 厚志(RIETI CF/新潟県立大学国際経済学部 教授) モデレーター 佐分利 応貴(RIETI 国際・広報ディレクター)
2020/8/6	Effect of COVID-19 on Global Value Chains and Future Prospects	スピーカー Sébastien MIROUDOT(Senior Trade Policy Analyst, Trade in Services Division, OECD Trade and Agriculture Directorate) スピーカー 木村 福成(RIETI CF/慶應義塾大学経済学部 教授/東アジア・アセアン経済研究センター(ERIA)チーフエコノミスト) モデレーター 小野寺 修(METI通商政策局 通商交渉官)
2020/8/26	The Institutional Sources of Energy Transitions: From the oil crises to climate policy	スピーカー Phillip LIPSCY(Associate Professor, Department of Political Science, University of Toronto/Director, Centre for the Study of Global Japan) モデレーター 尾野 嘉邦(東北大学大学院法学研究科 教授)
2020/8/27	【DXシリーズ】 女性エンジニアを増やす努力とその必要性—女子高女子大を経て、男女比(体感)8:2のIT業界に入った私の経験をもとに語る**	スピーカー 千代田 まどか(マイクロソフト コーポレーション クラウド デベロッパー アドボケート) コメンテーター 松本 理恵(METI商務情報政策局情報技術利用促進課(ITイノベーション課)課長補佐(総括)(併)デジタル高度化推進室) モデレーター 木戸 冬子(RIETI CF/東京大学大学院経済学研究科 特任研究員/国立情報学研究所研究戦略室 特任助教/日本経済研究センター 特任研究員/早稲田大学大学院 客員講師)
2020/9/4	【DXシリーズ】 循環型社会の構築とメルカリネイティブ**	スピーカー 山本 真人(株式会社メルペイ 執行役員CBO) コメンテーター 和泉 憲明(METI 商務情報政策局 アーキテクチャ戦略企画室長(併)デジタル高度化推進室(DX推進室)) モデレーター 木戸 冬子(RIETI CF/東京大学大学院経済学研究科 特任研究員/国立情報学研究所研究戦略室 特任助教/日本経済研究センター 特任研究員/早稲田大学大学院 客員講師)
2020/9/10	21世紀は「アジアの世紀」となるのか?—with コロナ時代の国際秩序の展望	スピーカー 中尾 武彦(みずほ総合研究所株式会社 理事長) コメンテーター 中島 厚志(RIETI CF/新潟県立大学国際経済学部 教授) モデレーター 佐分利 応貴(RIETI 国際・広報ディレクター)
2020/9/14	【DXシリーズ】 AI系ディープテックスタートアップの経営環境**	スピーカー 栄藤 稔(大阪大学先導的学際研究機構 教授/科学技術振興機構(CREST)人工知能領域研究総括/(株)コトバデザイン 取締役会長CEO) コメンテーター 松本 理恵(METI商務情報政策局情報技術利用促進課(ITイノベーション課)課長補佐(総括)(併)デジタル高度化推進室) モデレーター 木戸 冬子(RIETI CF/東京大学大学院経済学研究科 特任研究員/国立情報学研究所研究戦略室 特任助教/日本経済研究センター 特任研究員/早稲田大学大学院 客員講師)
2020/9/30	【グローバル・インテリジェンス・シリーズ】 インド太平洋地域秩序の動揺と日ASEAN関係	スピーカー 大庭 三枝(神奈川大学法学部・法学研究科 教授) コメンテーター 小野寺 修(RIETI CF/METI通商政策局 通商交渉官) モデレーター 渡辺 哲也(RIETI 副所長)
2020/10/1	【グローバル・インテリジェンス・シリーズ】 平常への復帰—大統領選挙と米外交の行方	スピーカー 久保 文明(東京大学大学院法学政治学研究科 教授) コメンテーター 畑田 浩之(METI通商政策局米州課 課長) モデレーター 渡辺 哲也(RIETI 副所長)
2020/10/7	【グローバル・インテリジェンス・シリーズ】 A Political Scientist's Look at the 2020 US Elections	スピーカー Barry BURDEN(Professor, Department of Political Science, Director, Elections Research Center, University of Wisconsin-Madison) コメンテーター 尾野 嘉邦(RIETI FF/早稲田大学政治経済学術院 教授) モデレーター 佐分利 応貴(RIETI 国際・広報ディレクター)
2020/10/12	【グローバル・インテリジェンス・シリーズ】 ICEFとTCFDサミット2020を振り返って—今後の気候変動の動きについて	スピーカー 水野 弘道(METI 参事) スピーカー 田中 伸男(笹川平和財団顧問/元国際エネルギー機関(IEA)事務局長/タナカグローバル(株)CEO) モデレーター 梶川 文博(METI産業技術環境局 環境経済室長)
2020/10/20	【グローバル・インテリジェンス・シリーズ】 The Mood of the American Voter on the Eve of the 2020 Presidential Election	スピーカー Bruce STOKES(Non-Resident Fellow, German Marshall Fund of the United States) モデレーター 佐分利 応貴(RIETI 国際・広報ディレクター)

2020/10/23	【グローバル・インテリジェンス・シリーズ】 Support for Restricting Liberty for Safety: Evidence during the Covid-19 pandemic from China, Israel, Japan, South Korea, Taiwan, and the United States	スピーカー チャールズ・クラブツリー(ダートマス大学 Department of Government 准教授) コメンテータ 尾野 嘉邦(RIETI FF/早稲田大学政治経済学術院 教授) モデレータ 渡辺 哲也(RIETI 副所長)
2020/10/26	【グローバル・インテリジェンス・シリーズ】 アメリカの制裁外交	スピーカー 杉田 弘毅(共同通信社 特別編集委員) コメンテータ 香山 弘文(METI貿易経済協力局 貿易管理部安全保障貿易管理政策課長 兼 大臣官房 経済安全 保障室長) モデレータ 渡辺 哲也(RIETI 副所長)
2020/11/9	【DXシリーズ】with コロナ時代のオンライン教育**	スピーカー 水野 雄介(ライフイズテック株式会社 代表取締役CEO) コメンテータ 浅野 大介(METI 商務・サービスグループ サービス政策課長(兼)教育産業室長) モデレータ 木戸 冬子(RIETI CF/東京大学大学院経済学研究科 特任研究員/国立情報学研究所研究戦 略室 特任助教/日本経済研究センター 特任研究員/早稲田大学研究院 客員講師)
2020/11/11	令和2年度経済財政白書について	スピーカー 堤 雅彦(内閣府政策統括官(経済財政分析担当)付 参事官(総括担当)) モデレータ 佐分利 応貴(RIETI 国際・広報ディレクター)
2020/11/12	【グローバル・インテリジェンス・シリーズ】 中国の経済発展における「留学帰国組」の役割と変化 ーグローバル人材競争における中国の成功と課題	スピーカー 戴 二彪(公益財団法人アジア成長研究所 教授・副所長 兼 研究部長) コメンテータ 小林 浩史(METI通商政策局 北東アジア課長) モデレータ 佐分利 応貴(RIETI 国際・広報ディレクター)
2020/11/17	地域密着型介護のプラットフォームとしての位置づ け-RE:Care この先の在り方を考える	スピーカー 加藤 忠相(株式会社あおいけあ代表取締役) コメンテータ 仁賀 建夫(METI商務情報政策局 商務・サービスグループ ヘルスケア産業研究官) モデレータ 佐分利 応貴(RIETI 国際・広報ディレクター)
2020/11/19	現代湯治とヘルスツーリズムー温泉の力でココロと カラダと地域を元気に	スピーカー 早坂 信哉(東京都市大学人間科学部 教授) スピーカー 星 宗兵(栃尾又温泉白在館 若旦那) コメンテータ 仁賀 建夫(METI商務情報政策局 商務・サービスグループ ヘルスケア産業研究官) モデレータ 関口 陽一(RIETI上席研究員 兼 研究コーディネーター(研究調整担当))
2020/11/24	【DXシリーズ】 ディープラーニングの最前線と活用への課題**	スピーカー 井崎 武士(エヌビディア合同会社エンタープライズ事業本部 事業本部長) コメンテータ 高野 了成(METI商務情報政策局情報産業課 課長補佐) モデレータ 木戸 冬子(RIETI CF/東京大学大学院経済学研究科 特任研究員/国立情報学研究所研究戦 略室 特任助教/日本経済研究センター 特任研究員/早稲田大学研究院 客員講師)
2020/11/25	【グローバル・インテリジェンス・シリーズ】 米中対立の行方ー揺れ動く ASEAN、日ASEAN協力の 将来、半導体サプライチェーンの展望	スピーカー ビラハリ・カウシカン(シンガポール国立大学 中東研究所長/元シンガポール 外務次官) コメンテータ 太田 泰彦(日本経済新聞 編集委員 兼 論説委員) モデレータ 渡辺 哲也(RIETI 副所長)
2020/11/26	世界・アジア太平洋地域経済見通しー長く、不均等 で、不確実な回復の道ー	スピーカー 鷲見 周久(国際通貨基金(IMF)アジア太平洋地域事務所 所長) コメンテータ 松本 加代(METI通商政策局 企画調査室長) モデレータ 佐分利 応貴(RIETI 国際・広報ディレクター)
2020/11/30	【グローバル・インテリジェンス・シリーズ】 世界を動かすイスラエルー日本はどう向き合うべき か	スピーカー 澤畑 剛(NHK長崎放送局放送部 総括副部長 ニュースデスク) コメンテータ 田村 亮平(METI通商政策局中東アフリカ課 課長) モデレータ 渡辺 哲也(RIETI 副所長)
2020/12/8	【グローバル・インテリジェンス・シリーズ】 Build Back Better? The Future of the US- China Economic Relationship	スピーカー WEI Shang-Jin (Professor of Finance and Economics, Professor of International Affairs, and N.T. Wang Professor of Chinese Business and Economy, Columbia University/Former Chief Economist of Asian Development Bank) モデレータ 佐分利 応貴(RIETI 国際・広報ディレクター)
2020/12/10	【グローバル・インテリジェンス・シリーズ】 相対化する知性ー人工知能が世界の見方をどう変え るのか	スピーカー 松尾 豊(東京大学大学院工学系研究科 人工工学研究センター・技術経営戦略学専攻 教授) スピーカー 西山 圭太(東京大学未来ビジョン研究センター 客員教授/前・METI 商務情報政策局長) モデレータ 渡辺 哲也(RIETI 副所長)
2020/12/11	【グローバル・インテリジェンス・シリーズ】 Biden's Climate Change Options in a Divided Congress	スピーカー Randolph BELL (Director and Richard Morningstar Chair for Global Energy Security, Atlantic Council) コメンテータ 武田 伸二郎(日本貿易振興機構(JETRO)ニューヨーク産業調査部 ディレクター) コメンテータ 川口 征洋(METI 産業技術環境局環境政策課 地球環境対策室長) モデレータ 渡辺 哲也(RIETI 副所長)
2020/12/16	【グローバル・インテリジェンス・シリーズ】 Challenges and Opportunities for India-Japan Economic Partnership	スピーカー Amb. Sujan R. CHINYOY (Director General, Manohar Parrikar Institute for Defence Studies and Analyses (Manohar Parrikar IDSA), India/Former India's Ambassador to Japan) スピーカー Saroj Kumar MOHANTY (Professor, Research and Information System for Developing Countries (RIS), India) コメンテータ 福岡 功慶(RIETI CF/METI 通商政策局 南西アジア室長) モデレータ 渡辺 哲也(RIETI 副所長)
2020/12/17	【グローバル・インテリジェンス・シリーズ】 米国を国際通商システムへ戻す ーマルチラテラリズムの視点	パネリスト リチャード・ボールドウィン(高等国際問題・開発研究所(ジュネーブ)教授/RIETI 外部諮問 委員) パネリスト アンドレ・サビール(ソルベイ・ブリュッセル経済経営学院 教授/ブリュッセル研究所 上席研 究員) モデレータ 渡辺 哲也(RIETI 副所長)

2021/1/14	【グローバル・インテリジェンス・シリーズ】 バイデン政権の国際経済政策の課題	スピーカー アダム・S・ポーゼン(ピーターソン国際経済研究所(PIIE)所長) モデレータ 渡辺 哲也(RIETI 副所長)
2021/1/15	行政管理会計の基礎と実践	スピーカー 大西 淳也(財務省財務総合政策研究所 客員研究員/専修大学大学院商学研究科 客員教授) スピーカー 大立目 克哉(有限責任 あすさ監査法人 東京パブリックセクター部/パートナー/公認会計士) スピーカー 柏木 恵(キャノングローバル戦略研究所 研究主幹) スピーカー 藤野 雅史(日本大学経済学部 教授) モデレータ 佐分利 応貴(RIETI 国際・広報ディレクター)
2021/1/20	【DXシリーズ】デジタル経済に向かう欧州のAI戦略— 日本はEUから何を学ぶべきか**	スピーカー マルティン・シュルツ(富士通株式会社戦略企画部 チーフポリシーエコノミスト) コメンテータ 中島 厚志(RIETI CF/新潟県立大学国際経済学部 教授) モデレータ 佐分利 応貴(RIETI 国際・広報ディレクター/METI大臣官房 参事)
2021/1/26	【DXシリーズ】Going Digital: Implications of the COVID-19 crisis on digital transformation**	スピーカー Dirk PILAT (Deputy Director, Directorate for Science, Technology and Innovation, OECD) コメンテータ 松本 理恵(RIETI CF/METI 商務情報政策局 情報技術利用促進課 課長補佐(総括)) モデレータ 佐分利 応貴(RIETI 国際・広報ディレクター/METI大臣官房 参事)
2021/1/27	【グローバル・インテリジェンス・シリーズ】 Considerations on How Japan Can Unlock Its Full Potential in a Rapidly Evolving World	スピーカー アンドレ・アンドニアン(マッキンゼー・アンド・カンパニー シニアパートナー、日本支社 会長) コメンテータ 中神 康議(RIETI CF/みさき投資株式会社 代表取締役社長) モデレータ 渡辺 哲也(RIETI 副所長)
2021/2/4	【グローバル・インテリジェンス・シリーズ】 日本経済再生への道 —生産性の改善には何が必要なのか	スピーカー デービッド・アトキンソン(株式会社小西美術工藝社 代表取締役社長) コメンテータ 森川 正之(RIETI所長・CRO/一橋大学経済研究所 教授) モデレータ 佐分利 応貴(RIETI 国際・広報ディレクター/METI大臣官房 参事)
2021/2/5	【グローバル・インテリジェンス・シリーズ】 複合リスクガバナンス —新興・再興感染症に対する国際的国内的対応	スピーカー 城山 英明(東京大学公共政策大学院/大学院法学政治学研究所/未来ビジョン研究センター 教授) コメンテータ 福永 佳史(RIETI CF/METI 通商政策局 経済連携課長) モデレータ 渡辺 哲也(RIETI 副所長)
2021/2/10	【グローバル・インテリジェンス・シリーズ】 欧州グリーン・リカバリー戦略と産業界の対応	スピーカー Heidi HILTUNEN (First Counsellor (Climate change, energy and transport), Delegation of the European Union to Japan) スピーカー Nikolaus BOLTZE (thyssenkrupp Group Representative (Japan), Representative Director & President, thyssenkrupp Japan K.K.) コメンテータ 川口 征洋(METI 産業技術環境局環境政策課 地球環境対策室長) モデレータ 渡辺 哲也(RIETI 副所長)
2021/2/12	【グローバル・インテリジェンス・シリーズ】 SDGsと自主的持続可能性基準(VSS)	スピーカー 中川 淳司(RIETI CF/中央学院大学現代教養学部 教授/中央学院大学 社会システム研究所 所長) コメンテータ 田村 暁彦(RIETI CF/METI大臣官房 審議官(通商政策局担当)/政策研究大学院大学 客員研究員) モデレータ 佐分利 応貴(RIETI 国際・広報ディレクター/METI大臣官房 参事)
2021/2/18	【グローバル・インテリジェンス・シリーズ】 中国モバイルペイメントの応用状況と関連する政策 動向—レストランのDXから中小企業向けと信判断 まで	スピーカー 大川 龍郎(RIETI CF) コメンテータ 西村 友作(中国対外経済貿易大学 教授) モデレータ 渡辺 哲也(RIETI 副所長)
2021/2/19	【グローバル・インテリジェンス・シリーズ】 中国のイノベーション力の評価 —特許のマクロデータにみる—	スピーカー 佐々木 信夫(株式会社特許戦略設計研究所 代表取締役) コメンテータ 西垣 淳子(RIETI CF/METI 特許庁 審査業務部長(兼)中小企業知財戦略支援総合調整官 CDO補佐官(デザイン経営プロジェクト)) モデレータ 渡辺 哲也(RIETI 副所長)
2021/2/24	【グローバル・インテリジェンス・シリーズ】 激動する中東情勢 —トルコのアプローチを手掛かりに—	スピーカー 今井 宏平(アジア経済研究所 研究員) コメンテータ 田村 亮平(METI 通商政策局中東アフリカ課 課長) モデレータ 渡辺 哲也(RIETI 副所長)
2021/3/16	RIETI-ECGI-WBF連続ウェビナー 「新しい企業概念(The New Concept of Corporation)」第1回 企業における目的(パーパス)の再定義・実現と日本の 法制度・事業活動へのインプリケーション	スピーカー コリン・メイヤー(オックスフォード大学サイード経営大学院 教授) コメンテータ 田中 亘(東京大学社会科学研究所 教授) コメンテータ ソフィー・レリアス(LeaderXXchange 代表) モデレータ 宮島 英昭(RIETI FF/早稲田大学商学学術院 教授/早稲田大学 常任理事/早稲田大学高等 研究所 顧問)
2021/3/24	【グローバル・インテリジェンス・シリーズ】 中国経済の中長期展望 —公平性と効率性の両立を目指して	スピーカー 孟 健軍(RIETI VF/清華大学公共管理学院産業発展・環境ガバナンス研究センター(CIDEG) シニアフェロー) コメンテータ 関 志雄(RIETI CF/株式会社野村資本市場研究所 シニアフェロー) モデレータ 佐分利 応貴(RIETI 国際・広報ディレクター/METI大臣官房 参事)

*:新型コロナウイルス感染症拡大を受け、収録で開催いたしました。

**:METI デジタル高度化推進室(DX推進室)連携企画。

開催日	種別	タイトル	外国人登壇者
2020/6/24	BBL セミナー	How the Coronavirus Crisis Affected Japanese Industries: Evidence from the Stock Market	ウィレム・ソーベック (RIETI SF)
2020/7/22	BBL セミナー	Macroeconomic Prospects and Policy Coordination in Asia to Overcome the Challenge of COVID-19	アイハン・コーゼ (世界銀行マクロ経済・貿易・投資グローバルプラクティス見通し局長)
2020/7/30	BBL セミナー	Global Catastrophes: Before, During, and After Covid	Robert S. PINDYCK (マサチューセッツ工科大学スローン経営大学院東京三菱銀行教授)
2020/8/6	BBL セミナー	Effect of COVID-19 on Global Value Chains and Future Prospects	Sebastien MIROUDOT (Senior Trade Policy Analyst, Trade in Services Division, OECD Trade and Agriculture Directorate)
2020/8/26	BBL セミナー	The Institutional Sources of Energy Transitions: From the oil crises to climate policy	Phillip LIPSCY (Associate Professor, Department of Political Science, University of Toronto / Director, Centre for the Study of Global Japan)
2020/8/31	RIETI国際ウェビナー	World Economies Surviving and Thriving through COVID-19 and beyond	デール W. ジョルゲンソン (ハーバード大学サミュエル・W・モリス記念講座教授) チャード・ボールドウィン (高等国際問題・開発研究所 (ジュネーブ) 教授)
2020/10/7	BBL セミナー	【グローバル・インテリジェンス・シリーズ】 A Political Scientist's Look at the 2020 US Elections	Barry BURDEN (Professor, Department of Political Science, Director, Elections Research Center, University of Wisconsin-Madison)
2020/10/20	BBL セミナー	【グローバル・インテリジェンス・シリーズ】 The Mood of the American Voter on the Eve of the 2020 Presidential Election	Bruce STOKES (Non-Resident Fellow, German Marshall Fund of the United States)
2020/10/23	BBL セミナー	【グローバル・インテリジェンス・シリーズ】 Support for Restricting Liberty for Safety: Evidence during the Covid-19 pandemic from China, Israel, Japan, South Korea, Taiwan, and the United States	Charles CRABTREE (Assistant Professor, Department of Government, Dartmouth College)
2020/11/5	KIET-TIER-RIETI ワークショップ	Industrial Policy Directions and Challenges in the Post Covid-19 Era	Ji-Sang CHANG (President, KIET) Chien-Yi CHANG (President, TIER) Grace CHUNG (TIER) Dongsoo KIM (KIET) Danbee SONG (KIET) Ko-Hsiung LIEN (TIER) Jaehan CHO (KIET)
2020/11/12	BBL セミナー	【グローバル・インテリジェンス・シリーズ】 中国の経済発展における「留学帰国組」の役割と変化—グローバル人材競争における中国の成功と課題	戴 二彪 (公益財団法人アジア成長研究所教授・副所長兼研究部長)
2020/11/25	BBL セミナー	【グローバル・インテリジェンス・シリーズ】 米中対立の行方—揺れ動く ASEAN、日ASEAN協力の将来、半導体サプライチェーンの展望	ピラハリ・カウシカン (シンガポール国立大学中東研究所長 / 元シンガポール外務次官)
2020/12/8	BBL セミナー	【グローバル・インテリジェンス・シリーズ】 Build Back Better? The Future of the US-China Economic Relationship	WEI Shang-Jin (Professor of Finance and Economics, Professor of International Affairs, and N.T. Wang Professor of Chinese Business and Economy, Columbia University / Former Chief Economist of Asian Development Bank)
2020/12/11	BBL セミナー	【グローバル・インテリジェンス・シリーズ】 Biden's Climate Change Options in a Divided Congress	Randolph BELL (Director and Richard Morningstar Chair for Global Energy Security, Atlantic Council)
2020/12/16	BBL セミナー	【グローバル・インテリジェンス・シリーズ】 Challenges and Opportunities for India-Japan Economic Partnership	Amb. Sujan R. CHINOY (Director General, Manohar Parrikar Institute for Defence Studies and Analyses (Manohar Parrikar IDSA), India / Former India's Ambassador to Japan) Saroj Kumar MOHANTY (Professor, Research and Information System for Developing Countries (RIS), India)

2020/12/16-17	公益財団法人日仏会館 公開オンラインワーク ショップ	The COVID-19 Outbreak and Public Health Issues: an Interdisciplinary Approach	Anavaj SAKUNTABHAI (Pasteur Institute) Bernard THOMANN (FRIJ-MFJ) Makoto YANO (RIETI) Richard PAUL (Pasteur Institute) Olivier TELLE (Pasteur Institute) Adrienne SALA (FRIJ-MFJ) Rémi SCOCCIMARRO (Toulouse University-FRIJ-MFJ) Sophie BUHNIK (FRIJ-MFJ) Shigeru HIROTA (RIETI/Kyoto-University) Guillaume LADMIRAL (FRIJ-MFJ) Tamara GILES-VERNICK (Pasteur Institute) Fumihiko MATSUDA (Kyoto University)
2020/12/17	BBL セミナー	【グローバル・インテリジェンス・シリーズ】 米国を国際通商システムへ戻す—マルチラテラリズムの視点	リチャード・ポールドウィン (高等国際問題・開発研究所(ジュネーブ) 教授/RIETI 外部諮問委員) アンドレ・サビール (ソルベ・ブリュッセル経済経営学院教授/ブ リュッセル研究所上席研究員)
2021/1/14	BBL セミナー	【グローバル・インテリジェンス・シリーズ】 バイデン政権の国際経済政策の課題	アダム・S・ポーゼン (ピーターソン国際経済研究所 (PIIE) 所長)
2021/1/20	BBL セミナー	【DX シリーズ】 デジタル経済に向かう欧州のAI戦略—日本はEUから何を学 ぶべきか	マルティン・シュルツ (富士通株式会社 チーフポリシーエコノミスト)
2021/1/26	BBL セミナー	【DX シリーズ】 Going Digital: Implications of the COVID-19 crisis on digital transformation	Dirk PILAT (Deputy Director, Directorate for Science, Technology and Innovation, OECD)
2021/1/27	BBL セミナー	【グローバル・インテリジェンス・シリーズ】 Considerations on How Japan Can Unlock Its Full Potential in a Rapidly Evolving World	アンドレ・アンドニアン (マッキンゼー・アンド・カンパニー シニア パートナー、日本支社 会長)
2021/2/4	BBL セミナー	【グローバル・インテリジェンス・シリーズ】 日本経済再生への道—生産性の改善には何が必要なのか	デービッド・アトキンソン (株式会社小西美術工芸社代表取締役社長)
2021/2/10	BBL セミナー	【グローバル・インテリジェンス・シリーズ】 欧州グリーン・リカバリー戦略と産業界の対応	Heidi HILTUNEN (First Counsellor (Climate change, energy and transport), Delegation of the European Union to Japan) Nikolaus BOLTZE (thyssenkrupp Group Representative (Japan), Representative Director & President, thyssenkrupp Japan K.K.)
2021/3/2	RIETI-CEPR シンポジウム	流れを変える — グリーン成長とデジタルトランスフォー メーション	Christoph M. SCHMIDT (ライプニッツ経済研究所 (RWI) 所長/ CEPR リサーチ・フェロー) Jean-Luc di PAOLA-GALLONI (ヴァレオ サステナビリティ・渉 外部門 副社長) David POPP (シラキュース大学 教授) Richard BALDWIN (高等国際問題・開発研究所 (ジュネーブ) 教授) Susan AARONSON (ジョージワシントン大学 教授) Georgios PETROPOULOS (ブリュッセル リサーチフェロー)
2021/3/16	BBL セミナー	RIETI-ECGI-WBF 連続ウェビナー「新しい企業の概念 (A New Concept of the Corporation)」第1回 企業における目的(パーパス)の再定義・実現と日本の法制度・ 事業活動へのインプリケーション	コリン・メイヤー (オックスフォード大学サイード経営大学院教授)
2021/3/23	RIETI-ANU シンポジウム	アジア太平洋デジタルガバナンスに向けて	ウェンディ・カトラー (アジア・ソサエティ政策研究所 (ASPI) ワシント ンDC事務所ヴァイスプレジデント兼マネージングディレクター) 黄益平 (北京大学国家発展研究院教授/デジタルファイナンス研究セ ンター長) ピラハリ・カウシカン (シンガポール国立大学中東研究所長/元シンガ ポール外務次官) デボラ・エルムズ (アジア貿易センター創設者兼エグゼクティブディレ クター) レベッカ・ファティマ・スタマリア (APEC 事務局局長) ジョシュア・ポール・メルツァー (ブルッキングス研究所シニアフェ ロー) ピーター・ラブロック (TRPC 社ディレクター) シロー・アームストロング (RIETI ヴィジティングスカラー/オースト ラリア国立大学クロフォード公共政策大学院准教授/豪日研究セン ター長/東アジア経済研究所長)
2021/3/24	BBL セミナー	【グローバル・インテリジェンス・シリーズ】 中国経済の中長期展望—公平性と効率性の両立を目指して	孟 健軍 (RIETI VF/清華大学公共管理学院産業発展・環境ガバナンス 研究センター (CIDE) シニアフェロー) 関 志雄 (RIETI CF/株式会社野村資本市場研究所シニアフェロー)

フェローリスト

(名字アルファベット順、2020年4月～2021年3月)

氏名		関心分野
理事長		
矢野 誠		経済動学、法と経済学、市場組織学
所長・CRO		
森川 正之		経済政策、産業構造、生産性、労働市場、不確実性
シニアリサーチアドバイザー(SRA)		
武田 晴人	(併)ファカルティフェロー	日本経済史
プログラムディレクター(PD)(担当研究プログラム順)		
小林 慶一郎	(併)ファカルティフェロー	内生的経済成長理論、一般均衡理論、景気循環論、不良債権問題、国債管理・財政再建問題、政治経済システムの経済学的分析 等
富浦 英一	(併)ファカルティフェロー	国際経済学(特に貿易関連の計量実証分析)
浜口 伸明	(併)ファカルティフェロー	空間経済学とブラジル地域研究
長岡 貞男	(併)ファカルティフェロー	イノベーション、産業組織
大橋 弘	(併)ファカルティフェロー	産業組織論、貿易政策
深尾 京司	(併)ファカルティフェロー	国際経済学、マクロ経済学、アジアにおける貿易・直接投資、イノベーションと全要素生産性・産業・企業レベルデータによる分析、生産性の国際比較等
鶴 光太郎	(併)ファカルティフェロー	比較制度分析、組織と制度の経済学、労働市場制度
川口 大司	(併)ファカルティフェロー	労働経済学、応用計量経済学
副所長(VP)		
渡辺 哲也		地政学、経済安全保障、通商政策、エネルギー・環境政策、デジタル/イノベーション政策
上席研究員(SF)		
藤 和彦		グローバル・インテリジェンス
五十里 寛	(特任)	開発金融、設備投資、年金
井上 誠一郎	(併)研究コーディネーター	景気動向、経済政策、財政・金融
近藤 恵介		空間経済学、開発経済学、労働経済学、応用計量経済学(ミクロ計量経済学、空間計量経済学、ベイズ計量経済学)
小西 葉子		計量経済学
中田 大悟		マクロ経済学、内生的経済成長論、社会保障の経済分析、シミュレーション分析、わが国における持続可能な賦課方式年金制度の構築方法、男女共同参画社会
中田 啓之	(特任)	ミクロ経済学理論、金融経済学
齊藤 有希子	(特任)	空間経済学、ネットワーク分析、産業組織
関口 陽一	(併)研究コーディネーター (研究調整担当)	地域経済
関沢 洋一	(併)研究コーディネーター (EBPM担当)	感情が経済態度に及ぼす影響、メンタルヘルス
田村 傑		科学技術・イノベーション政策研究
THORBECKE, Willem		金融経済学、財政経済学、国際経済学
山下 一仁	(特任)	食料・農業政策、中山間地域問題、WTO農業交渉、貿易と環境、貿易と食品の安全性
張 紅詠		国際経済学、開発経済学、中国経済
研究員(F)		
荒木 祥太		労働経済学、応用ミクロ計量経済学
荒田 禎之		マクロ経済学、企業ダイナミクス、確率過程
橋本 由紀		労働経済学、外国人の雇用、職域分離、プラットフォーム・ビジネスと雇用
池内 健太		研究開発・イノベーション・生産性の実証分析

伊藤 新	マクロ経済学、経済統計
戒能 一成	制度設計工学、計量経済学、空間経済学、定量的政策評価、経済活動の持続可能性評価
劉 洋	労働経済学、移民とマクロ経済、賃金、人的資本、労働市場
牧岡 亮	応用ミクロ経済学、国際経済学
小野塚 祐紀	労働経済学、教育経済学、応用ミクロ計量経済学
尾沼 広基	環境経済学、気候変動、省エネルギー、防災
千賀 達朗 (特任)	マクロ経済学(マクロファイナンス、企業動学、不確実性)
角谷 和彦	労働経済学、公共経済学、ミクロ計量経済学
殷 婷	マクロ経済、家計経済、中国経済、労働経済

リサーチアソシエイト(RAs)

藤井 大輔	国際貿易、企業ダイナミクスとマクロ経済、サプライチェーンと企業ネットワーク、都市経済学
後藤 康雄	産業組織論、中小企業研究、金融
伊藤 万里	国際経済学、R&D・イノベーション
岩本 晃一	①洋上風力に関する研究。現在、北九州市響灘洋上風力プロジェクトのアドバイザー的役割。 ②ドイツの「隠れたチャンピオン(Hidden Champion)」及び地域経済・中小企業に関する研究。 ③「独り勝ち」と言われるほど高いドイツの生産性に関する研究。 ④第4次産業革命時代のIoT、AI等のデジタル技術を用いたデジタルビジネス・デジタルエコノミーに関する社会科学的研究(経済学、経営学、社会学、商学、ビジネスマネジメント、テクノロジーマネジメント)。デジタル経済学。
加藤 篤行	経済成長、生産性分析、貿易と経済発展
河村 徳士	日本経済史、小運送業史、産業保安
清田 耕造	国際経済学、開発経済学、産業組織論
児玉 直美	経済成長論、労働経済学
小田 圭一郎	銀行理論
田中 鮎夢	国際貿易、文化経済学
友原 章典	国際経済学、労働経済学、公共経済学
塚田 尚稔	イノベーションの経済分析、産業組織論
若林 緑	社会保障論、福祉経済
山内 勇	イノベーション、研究開発マネジメント、知的財産制度
横尾 英史	環境経済学
湯田 道生	医療経済学、社会保障論、応用計量経済学

ファカルティフェロー(FF)

青山 秀明	素粒子論、物理学一般、数理言語学、経済物理学
有村 俊秀	環境経済学、エネルギー経済学
藤原 一平	マクロ経済学、金融経済学、国際金融
古川 雄一	マクロ経済学、金融経済学、知的財産権とイノベーション、市場の質の経済学
八田 達夫	—
広田 茂	健康と経済、地域経済学
本庄 裕司	アントレプレナーシップ・中小企業論、企業経済学
細野 薫	金融システム、金融政策、企業動学
石川 城太	国際貿易理論
伊藤 亜聖	マクロ経済学、国際経済学、国際金融論、金融計量経済学、計量経済学
神事 直人	国際経済学、環境・自然資源経済学、産業組織論
川濱 昇	独占禁止法・競争政策、金融・資本市場規制、法と経済学、競争政策と知財政策のインターフェイス、消費者保護規制
川瀬 剛志	国際経済法、通商政策
北尾 早霧	マクロ経済学、財政・社会保障政策

黒田 祥子	研究分野:労働経済学、応用ミクロ経済学 関心領域:労働時間、時間配分、働き方と健康、メンタルヘルス、健康経営、賃金、失業
権 赫旭	生産性分析、産業組織論
馬奈木 俊介	経済学、都市計画、環境経済学、資源経済学
宮川 努	設備投資を中心とした企業行動、産業構造の分析、アジア経済の動向
宮島 英昭	日本経済史研究、企業金融、コーポレート・ガバナンス、日本経済論
森 知也	都市・地域経済学、空間経済学
元橋 一之	応用ミクロ経済学、経済統計、計量経済学、生産性国際比較、情報技術の経済分析、技術革新と経済成長、イノベーションシステム論、産業連関分析
中島 賢太郎	空間経済学・都市経済学
中村 良平	都市経済学、地域経済学、公共政策
楡井 誠	経済学、複雑系
西村 和雄	非線形経済動学、教育経済学、神経経済学
小川 英治	国際通貨・国際金融
岡崎 哲二	経済史、経済発展論、比較制度分析
尾野 嘉邦	政治学、現代政治分析、政治過程論、投票行動、ジェンダー、移民
大湾 秀雄	労働経済学、組織経済学、産業組織論
佐橋 亮	国際政治学、とくに東アジアの国際関係、米中関係、国際秩序論
佐藤 主光	—
城山 英明	行政学、国際行政論、科学技術と公共政策
田淵 隆俊	都市経済学、空間経済学
武田 晴人	日本経済史
田中 隆一	労働経済学・教育経済学
戸堂 康之	国際経済学、開発経済学、日本経済論、応用ミクロ計量経済学
徳井 丞次	マクロ経済学、国際金融、日本経済の実証分析
植杉 威一郎	企業金融、中小企業、日本経済、金融市場(特に短期金融市場)
宇南山 卓	家計行動、応用計量経済学、指数理論
浦田 秀次郎	国際経済学、開発経済学
渡部 俊也	技術経営
家森 信善	金融システム、地域金融、中小企業金融
吉川 洋	ケインズ経済学的マクロ経済理論、日本経済(1990年代以降の日本経済の現状分析)、急速な少子・高齢化と人口減少の下での日本経済の潜在成長率、財政再建と社会保障制度の持続可能性、マクロ経済学への統計力学的アプローチ

コンサルティングフェロー(CF)

阿部 尚行	サービス政策、マクロ経済政策、地域経済政策、イノベーション政策
赤星 康	国際貿易・投資、経済成長論(イノベーション等)、国際エネルギー情勢等
安橋 正人	応用ミクロ経済学、産業経済、産業政策、イノベーション、経済発展(特にアジア経済)
青木 幹夫	産業組織論、経済成長論、ヘルスケア等
荒川 清晟	地域マーケティング、計量経済学、人口学
有馬 純	エネルギー気候変動問題
筑紫 正宏	エネルギー政策、原子力政策、競争法、租税法
遠藤 憲子	組織論(非営利組織、ベンチャー企業、組織変化・継続、認知に関するもの)、ネットワーク、コミュニティ研究、地域政策、地域再生
櫻本 俊一	生産デジタル化に伴う企業生産システム及び企業間関係の変化、鉄鋼・化学のプロセス制御のデジタル化と工場内通信ネットワーク標準化、国際水平分業、産業クラスター等企業エコ・システムの形成・発展・解体、中国・アジア等の新興国企業の成長戦略とグローバル化等
江藤 学	イノベーション、技術移転、技術マネジメント、知財と標準化
藤 和彦	グローバル・インテリジェンス

藤井 敏彦	企業の社会的責任、WTO体制、通商ルールを含むルール全般、政策形成論、ロビイング
藤原 ゆか	経済成長論、労働、イノベーション活性化政策
福永 開	マクロ経済、産業構造、企業行動、労働市場、社会保障、デジタル経済
福永 佳史	東アジア経済統合、アセアン経済統合、国際経済法
福岡 功慶	産業政策、医療政策、エネルギー政策、スタートアップ政策
福山 光博	グローバリゼーション、国際政治経済学、通商問題、米中関係、地域統合、貧困問題
濱 賢太郎	政策評価、因果推論
原 圭史郎	フューチャー・デザイン、技術イノベーション・技術政策、環境・エネルギー政策、製造産業競争力
橋本 賢二	労働市場、教育・人材育成、人的資本、生産性、人工知能
秦 茂則	マクロ経済、研究開発、技術・イノベーション政策、技術評価、自動車産業、気候変動、地域経済、事業再生、復興
服部 崇	国際関係、通商政策、気候変動・エネルギー政策
早藤 昌浩	貿易政策、国際経済学、国際経済法、経済史、環境経済学
日引 聡	環境経済学、法経済学(特に、事故の損害賠償問題)、気候変動の経済影響分析、大気汚染の健康影響、自然災害の経済分析
引地 悠太	航空宇宙産業政策、経済安全保障政策、インド産業政策、技術マネジメント
菱沼 剛	知的財産制度、各国比較制度、国際機構、国際経済法
堀 達也	労働経済学、無形資産、生産性、文化経済学
出光 啓祐	労働市場、教育・人材育成、人的資本、生産性、データ利活用
池田 陽子	イノベーション政策、ルール形成、グローバルガバナンス
犬飼 真也	マクロ経済政策 等
入野 泰一	中小企業政策論(含むスタートアップ・ベンチャー企業論)、国際貿易投資関係、ソーシャルキャピタル・ヒューマンキャピタル論
石田 裕之	エネルギー・環境、経済産業政策
石井 芳明	ベンチャー企業政策、中小企業政策、産業組織論、イノベーション政策
石川 斗志樹	統計行政、ビッグデータを活用した新指標開発、データビジュアライゼーション
伊藤 公二	貿易・対外直接投資、企業の国際活動、中小企業、国際金融
亀井 泰道	マクロ経済、税・財政・社会保障 等
川崎 研一	経済モデル分析(応用一般均衡モデル、マクロ計量モデル)、貿易・投資の自由化・円滑化、マクロ経済政策
川嶋 雄作	組織パフォーマンスと人材の関係、開発経済学
木戸 冬子	デジタルトランスフォーメーション(DX)、情報通信技術と行政、情報通信技術とSDGs、産官学連携、男女共同参画社会
木村 福成	国際貿易論、開発経済学、ASEAN・東アジア経済論
木村 拓也	貿易投資政策、国際ルール形成、組織運営
北村 健太	エネルギー政策、産業政策
小林 大和	アジア政治経済、イノベーション、組織学習
小林 庸平	公共経済学、応用計量経済学、税・財政・社会保障、エビデンスに基づく政策形成、子どもの貧困、ナッジの政策活用
小池 孝英	財政金融政策、人口減少下の政策効果、財政リスク管理、将来の不確実性と景気変動、エビデンスに基づく政策
米谷 三以	通商法、投資法、国際金融法その他国際経済法、国際行政法、競争法
熊澤 伸悟	経済成長論、情報産業政策、新産業ライフサイクル論、ソーシャル・キャピタル
沓澤 隆司	都市経済学、住宅・不動産価格分析、MBS・REIT分析、地域経済論
関 志雄	中国経済全般、特に景気動向、金融・為替政策、米中貿易摩擦
松本 理恵	企業DXとデジタル人材育成、イスラエルのイノベーションエコシステム 等
三浦 聡	商品市場論、産業組織政策、米国政治経済、EBPM
三善 由幸	財政学、都市・地域経済学、マクロ経済学、住宅政策、インフラ政策
水野 遼太	事業者団体、協同組織金融、産地産業、独占禁止法

武藤 祥郎	都市経済学、交通経済学、住宅・不動産経済
鍋島 学	電力政策、EBPM
永井 寛之	マクロ経済学、国際経済学、日本経済
長町 大輔	社会資本整備、マクロ経済理論、経済成長論
中舘 尚人	マクロ経済と少子高齢化、イノベーション、人的資本
中神 康議	コーポレートガバナンス論、企業戦略、企業金融
中川 淳司	国際経済法、通商政策、地域経済論
中島 厚志	マクロ経済金融分析と国際金融
中村 吉明	産業政策、産業技術政策、イノベーション、自動車産業、電機産業
中西 佑	開発経済、経営、イノベーション、貿易・投資と格差
中富 道隆	通商法・通商政策、国際経済、産業政策、デジタル経済、知的財産・国際標準 等
奈須野 太	雇用・人材政策、企業法制、地球温暖化問題
西田 明生	マクロ経済学、財政学、計量経済学、経営学
西垣 淳子	統治機構論、IoT、知的財産政策、デザイン政策、WLB 政策 等
西岡 隆	社会保障（年金財政の考え方、医療費の動向分析、地域包括ケア 等）
西立野 修平	国際経済学、交通経済学、環境／資源経済学、日本経済
西山 圭太	人工知能の発展が社会、特に人間の世界認識の枠組みをどう影響するか
野原 諭	財政の持続可能性、マクロ経済運営、ナッジ
小滝 一彦	人的資本と生産性、不動産と金融
小黒 一正	政治経済学、公共経済学（財政・社会保障）、経済成長論
及川 景太	マクロ経済学、国際マクロ経済学、国際貿易、ファイナンス、計量経済学、時系列分析
岡田 陽	マクロ経済学、国際経済学、国際金融論、金融計量経済学、計量経済学
岡室 博之	イノベーション、スタートアップ、中小企業、地域振興、産学官連携
大川 龍郎	中国におけるベンチャー・イノベーション、産業政策
岡崎 康平	エビデンスに基づく政策形成、行動経済学、日本経済論、公的統計
小野寺 修	通商政策、経済安全保障政策、イノベーション政策
長部 喜幸	特許・論文等の書誌情報分析、知的財産政策、科学技術政策
佐伯 耕三	国際経済、国際政治
齋藤 敬	統計行政、ビッグデータを活用した新指標開発
齊藤 瑞希	メディア、デジタル技術・デジタルガバナンス、気候変動、国際関係
佐藤 大	中国外交、中国辺境問題、日中経済関係
佐藤 克宏	産業および企業の競争戦略、コーポレートファイナンス、M&A
関口 訓央	地域経済分析、中小企業分析、サプライチェーン分析
清村 和貴	中小企業の成長要因及び取引間ネットワーク、中小企業の資本政策及び企業統治、中小企業金融（直接金融）、中小企業の事業システム及び経営戦略
庄野 嘉恒	マクロ経済学、計量経済学、公共経済学、政策評価、経済格差
末政 憲司	経済成長、社会保障、医療経済 等
須賀 千鶴	途上国支援、気候変動、クール・ジャパン戦略、コーポレートガバナンス、FinTech、ベンチャー政策、教育・社会保障制度
菅井 郁	マクロ経済学、家計消費、金融市場
杉山 晴治	地域産業振興、企業の生産性向上、情報産業政策、企業立地政策
鈴木 賢一	オペレーションズ・リサーチ（プロジェクト・マネジメント、ネットワーク分析）
田所 創	ファイナンス、金融・資本市場、中小企業経営
田尻 雄裕	イノベーション、物価
高橋 拓磨	マクロ経済、貿易投資、地域経済、イノベーション

竹上 嗣郎	産業技術行政(産学連携、医工連携、医療イノベーション、研究開発マネジメント、ベンチャー支援、技術戦略)、安全保障貿易管理行政(輸出管理、技術情報管理、機微技術、デュアルユース)、地域経済産業行政(地域産業振興、企業立地、海外展開)
田村 暁彦	インターナショナル・ポリティカル・エコノミー、グローバル・ガバナンス、国際経済法、EU統合、東アジア統合、企業の社会的責任、中国政治経済
田辺 靖雄	貿易政策、エネルギー政策、国際関係・国際ガバナンス
谷 みどり	消費者政策、環境政策、エネルギー政策、男女共同参画
谷澤 厚志	通商政策、交渉学
田代 毅	日本経済、財政危機、金融危機
友澤 孝規	経済成長、イノベーション、エネルギー・環境、モビリティ、デジタル、制度設計
津田 広和	EBPM、行動経済学(ナッジ)、サービス・デザイン
鶴田 仁	関税政策、国際貿易法、国際貿易論
植木 貴之	社会保障政策、ヘルスケア産業政策、公共経済学、Fintech、ソーシャルファイナンス、イノベーションマネジメント
上田 圭一郎	社会保障政策、人的資本論、経済成長論、コーポレート・ガバナンス論
上田 悠紀子	スタートアップエコシステム、ビジネス環境整備、イノベーション、企業誘致 等
上野 透	中小企業政策、地域活性化政策、観光政策、起業家教育 等
宇野 雄哉	公共経済学
山田 圭吾	文化遺産、文化資本、文化経済学、人材育成論、情報産業政策、経営戦略論、気候変動対策、エネルギー環境経済学
山田 正人	少子化、男女共同参画、雇用、知財制度、消費者政策、地域経済、中小企業政策
山家 洋志	マクロ経済学、国際経済学、計量経済学
吉田 亮平	マクロ経済学、日本経済、金融政策、社会保障政策
吉田 泰彦	通商政策、インフラ輸出、政治経済学、製造業、中小企業・entrepreneurship
吉屋 拓之	国際経済(金融・通貨安定、経済開発、国際経済秩序)、経済成長、社会保障(格差・分配政策、医療)、人材・働き方・雇用制度
客員研究員(VF)	
伊藤 宏之	国際マクロ経済学、国際金融、金融政策
伊藤 公一朗	環境・エネルギー経済学
亀井 憲樹	実験経済学、行動経済学、実験政治経済学、公共経済学
孟 健軍 (MENG Jianjun)	開発経済、産業開発、環境政策
成田 悠輔	教育・医療・労働政策の設計・評価・予測
沖本 竜義	金融計量経済学、実証ファイナンス、応用マクロ経済学、計量経済学
山口 一男	量的データの分析方法論(イベントヒストリー分析、カテゴリカルデータ分析)、家族と就業、ワーク・ライフ・バランス、合理的・意図的社会的行為の理論、ライフコースと職業キャリア、社会階層化と社会的な不平等、現代日本社会、社会的ネットワーク・社会交換・社会伝播、薬物乱用の疫病学
ヴィジティングスカラー(VS)	
足立 大輔	国際経済学、労働経済学
ARMSTRONG, Shiro	International Trade and International Economic Policy, Foreign Direct Investment, East Asian Economy, Japanese Economy, Chinese Economy, Cross Straits Economic Relation, South Asian-East Asian Economic Integration, Australia-Japan Relations

プログラムディレクター

9つの研究プログラムそれぞれにプログラムディレクター(PD)を置き、それぞれの研究分野における研究指導の徹底、政策形成への貢献、研究プログラム間の連携などにより、全体として効率的で実質的な研究活動を実施しています。

プログラムディレクター		研究プログラム
小林 慶一郎	キャノングローバル戦略研究所 研究主幹 公益財団法人東京財団政策研究所 研究主幹	マクロ経済と少子高齢化
富浦 英一	一橋大学大学院経済学研究科 教授	貿易投資
浜口 伸明	神戸大学経済経営研究所 教授	地域経済
長岡 貞男	東京経済大学経済学部 教授	イノベーション
大橋 弘	東京大学大学院経済学研究科 / 公共政策大学院 教授	産業フロンティア
深尾 京司	一橋大学経済研究所 名誉教授	産業・企業生産性向上
鶴 光太郎	慶應義塾大学大学院商学研究科 教授	人的資本
矢野 誠(代行)	RIETI 理事長	融合領域
川口 大司	東京大学大学院経済学研究科 / 公共政策大学院 教授	政策評価

(敬称略、2021年3月末時点)

シニアリサーチアドバイザー

シニアリサーチアドバイザー(SRA)は、研究所運営並びに研究活動に対して横断的、包括的な助言を与えています。

シニアリサーチアドバイザー	
武田 晴人	東京大学 名誉教授

(敬称略、2021年3月末時点)

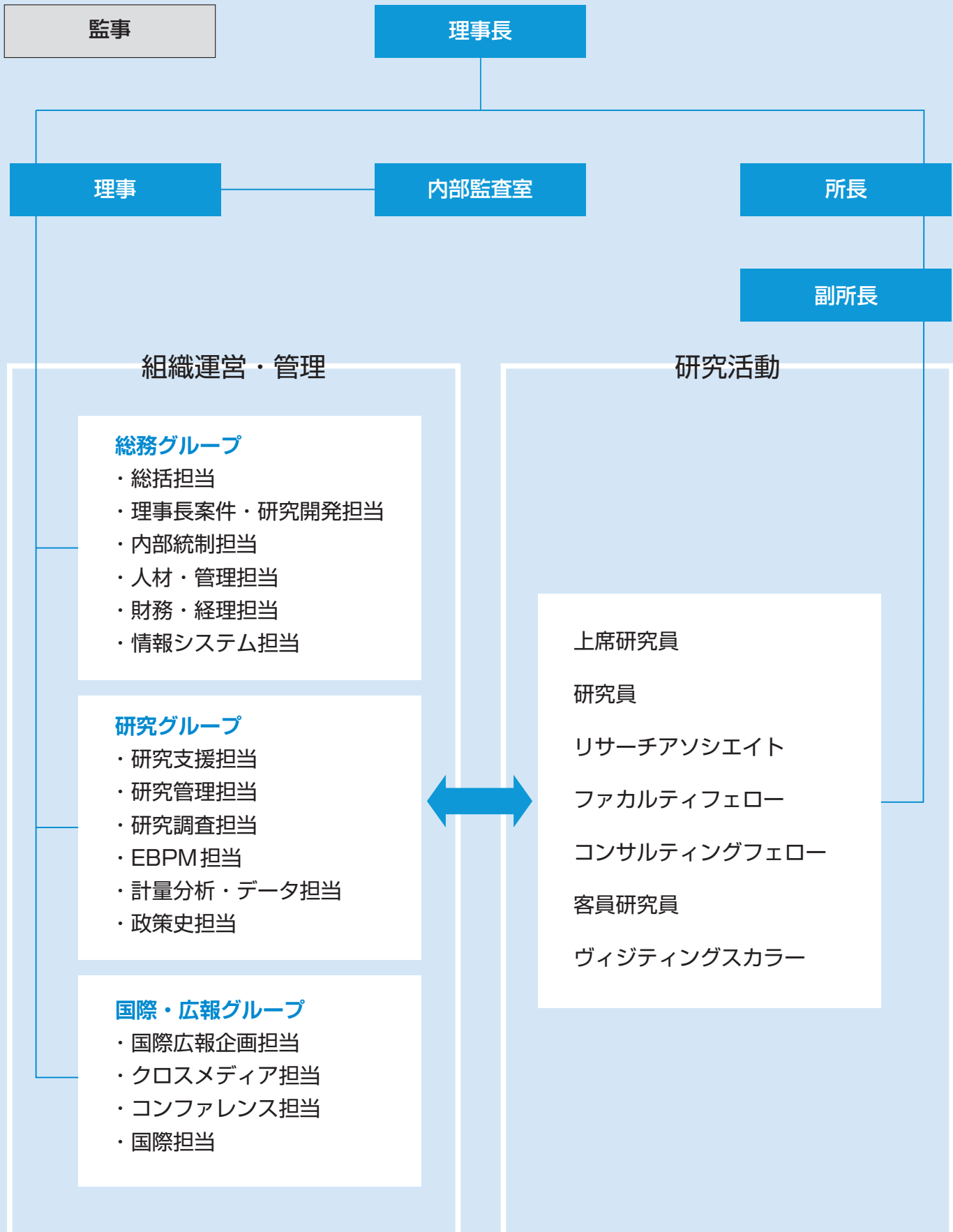
外部諮問委員

本委員は、大学、産業界等の外部の専門家からなり、RIETIの研究活動の充実を図るため、その適切性や進捗状況、成果の検証などについて助言を行います。

デール W. ジョルゲンソン	ハーバード大学 サミュエル・W・モリス記念講座教授
リチャード・ボールドウィン	高等国際問題・開発研究所(ジュネーブ)教授

(50音順 敬称略、2021年3月末時点)

組織図



(2021年3月末時点)



独立行政法人経済産業研究所

〒100-8901 東京都千代田区霞が関1丁目3番1号
経済産業省別館11階

TEL: 03-3501-1363(代表)

FAX: 03-3501-8577(代表)

Email: info@rieti.go.jp

URL: <https://www.rieti.go.jp/>

 @Japan.RIETI

 @RIETIjp



この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。

